

**第6次桜井市総合計画のための
市民アンケート調査報告書（案）**

令和7年1月23日

桜井市

目次

1 調査の概要.....	1-1
1.1 調査の目的.....	1-1
1.2 調査の概要.....	1-1
1.3 配布・回収結果.....	1-1
1.4 アンケート集計における地域の分類.....	1-2
1.5 留意点.....	1-2
2 アンケートの調査結果.....	2-1
2.1 回答者自身について.....	2-1
2.2 現在のお住まいの地域について.....	2-10
2.3 まちのイメージについて.....	2-18
2.4 本市における生活の状態(生活像)について.....	2-27
2.5 これからのまちづくりについて.....	2-38
2.6 総合計画に基づく取組みについて.....	2-50
2.7 情報の伝達手段や利活用について.....	2-54
2.8 自由意見について.....	2-60
3 【参考資料】調査票.....	3-1

1 調査の概要

1.1 調査の目的

令和8年度よりスタートする第6次桜井市総合計画（後期基本計画）の策定に向け、市民の市政に対する意向（これまでの取組みの達成度、今後の取組みに対する重要度など）を把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

1.2 調査の概要

調査の概要は以下のとおりです。

調査地域	桜井市全域
調査対象	市内に居住する16歳以上の男女
抽出方法	住民基本台帳から3,000人を無作為抽出
配布対象数	3,000人
調査方法	郵送配布、郵送回収 二次元コード・URLから、パソコン・スマートフォンでの回答も可能
調査時期	令和6年9月に実施（投函期限は9月23日）

1.3 配布・回収結果

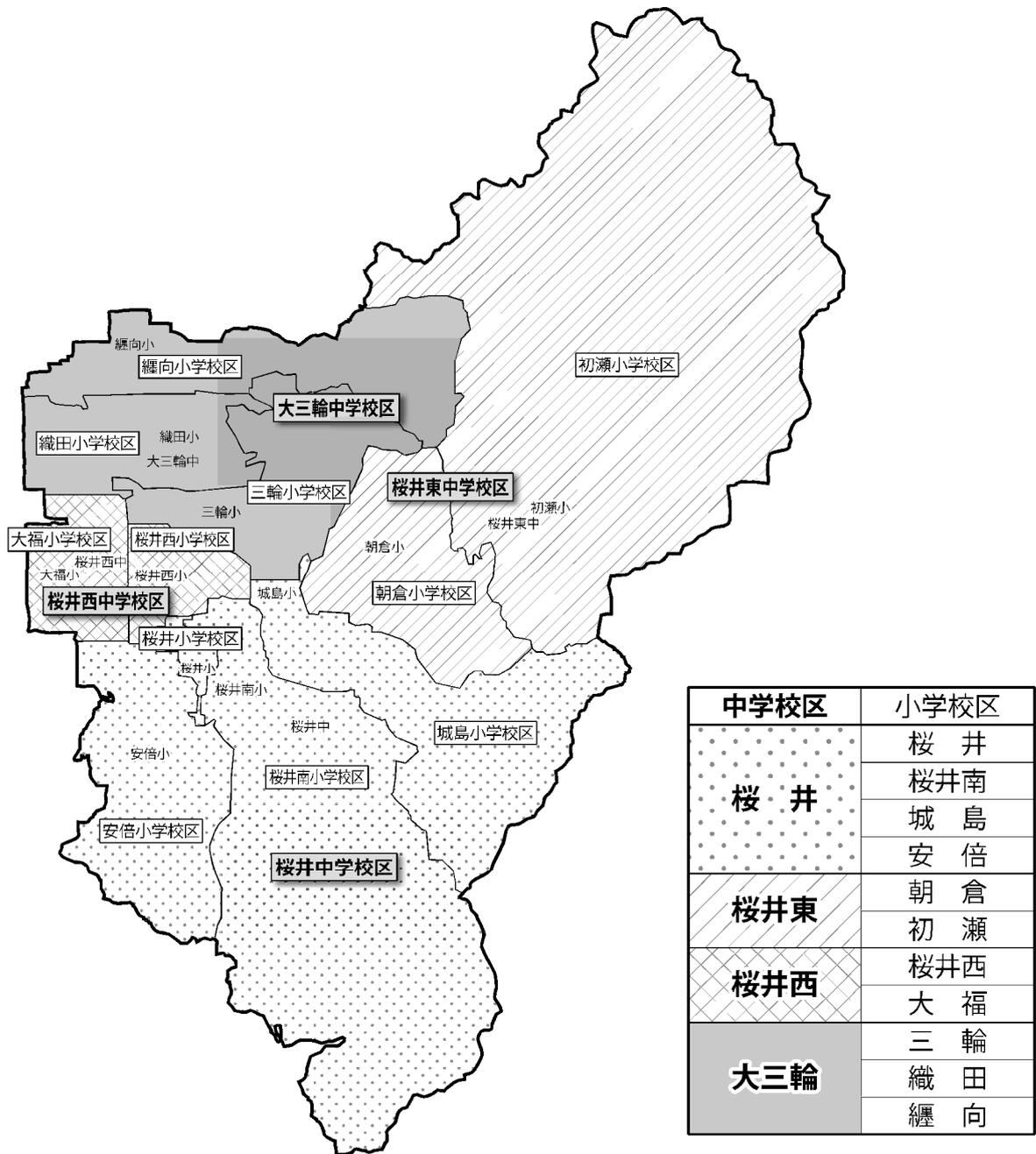
今回のアンケートの配布数は3,000、回収数は1,085であり、アンケート票の回収率は、36.2%でした。

地区別の回収率は以下のとおりです。

中学校区	小学校区	回収数	回収率
桜井	桜井	148	15.4%
	桜井南	97	
	城島	105	
	安倍	112	
桜井東	朝倉	92	5.0%
	初瀬	58	
桜井西	桜井西	121	7.6%
	大福	106	
大三輪	三輪	82	7.9%
	織田	84	
	纏向	70	
その他		1	0.0%
無回答		9	0.3%
合計		1,085	36.2%

1.4 アンケート集計における地域の分類

本報告書では、アンケート票の問1(3)居住地区の選択肢(小学校区の11地区)を基に、以下の4つの中学校区に再統合し、集計を行っています。



1.5 留意点

図表中の構成比は、全てパーセントで表し、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しています。そのため、各項目を足し合わせた合計が100.0%にならない場合があります。(小数第2位まで表示している図表は小数第3位を四捨五入しています。)

2 アンケートの調査結果

2.1 回答者自身について

問1 はじめに、あなた自身のことについてお聞きします。

各設問について、選択肢の中からあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

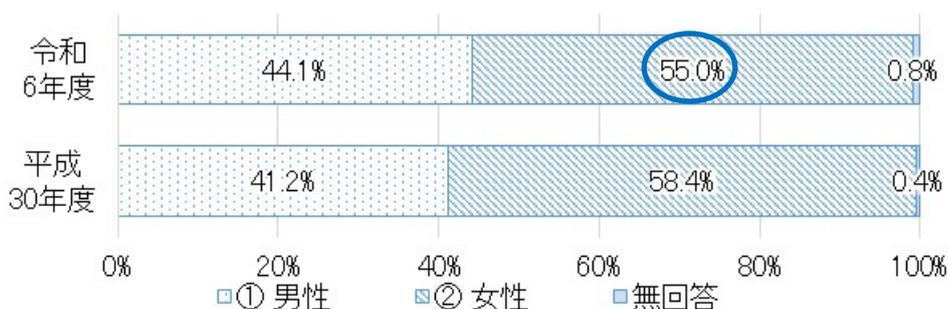
(9月1日現在でお答えください。)

(1) あなたの性別はどちらですか。

(1) 全体

回答者の性別構成比は、「男性」が44.1%、「女性」が55.0%、「不明」が0.8%となっており、「女性」の割合が高くなっています。

また、平成30年度調査の「女性」の構成比58.4%と比べて「女性」の構成比が3.4%低く、「男性」の構成比41.2%と比べて「男性」の構成比が2.9%高くなっています。



(2) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「男性」の構成比が1.8%高い45.9%となっています。

桜井東：全体に比べ、「女性」の構成比が3.0%高い58.0%となっています。

桜井西：全体に比べ、大きな差異は見られません。

大三輪：全体に比べ、「女性」の構成比が1.8%高い56.8%となっています。

	調査数	男性	女性	その他	無回答
桜井	462	212	249	0	1
	100.0%	45.9%	53.9%	0.0%	0.2%
桜井東	150	63	87	0	0
	100.0%	42.0%	58.0%	0.0%	0.0%
桜井西	227	102	123	0	2
	100.0%	44.9%	54.2%	0.0%	0.9%
大三輪	236	101	134	0	1
	100.0%	42.8%	56.8%	0.0%	0.4%
その他	1	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
無回答	9	1	3	0	5
	100.0%	11.1%	33.3%	0.0%	55.6%
合計	1,085	479	597	0	9
	100.0%	44.1%	55.0%	0.0%	0.8%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

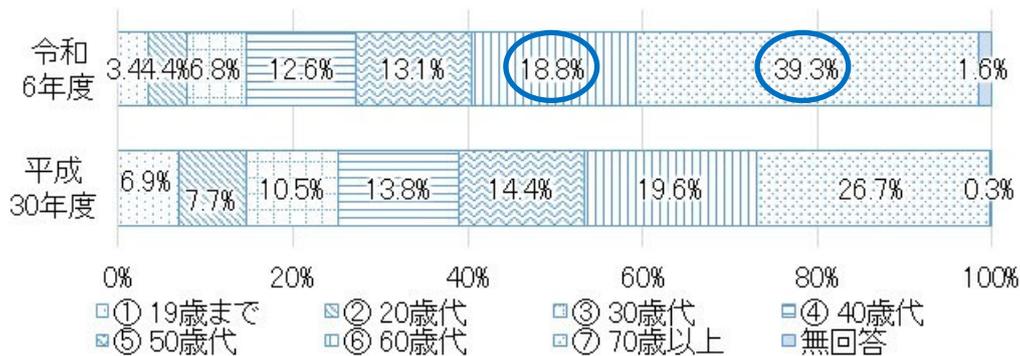
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(2) あなたの年齢は次のどれですか。

(1) 全体

回答者の年齢構成比は、「60歳代」が18.8%、「70歳以上」が39.3%となっており、回答者のおよそ6割が60歳以上となっています。

また、平成30年度調査と比べ「30歳代」の構成比が3.7%、「19歳まで」の構成比が3.5%。「20歳代」の構成比が3.3%減少しており、「70歳以上」の構成比が12.6%増加しています。



(2) 中学校区別

桜井：全体に比べ、大きな差異は見られません。

桜井東：全体に比べ、「70歳以上」の構成比が13.4%高い52.7%となっています。

桜井西：全体に比べ、大きな差異は見られません。

大三輪：全体に比べ、「60歳代」の構成比が4.5%高い23.3%となっています。

	調査数	① 19歳まで	② 20歳代	③ 30歳代	④ 40歳代	⑤ 50歳代	⑥ 60歳代	⑦ 70歳以上	無回答
桜井	462	17 3.7%	21 4.5%	37 8.0%	61 13.2%	66 14.3%	84 18.2%	173 37.4%	3 0.6%
桜井東	150	2 1.3%	3 2.0%	5 3.3%	12 8.0%	20 13.3%	27 18.0%	79 52.7%	2 1.3%
桜井西	227	8 3.5%	17 7.5%	17 7.5%	31 13.7%	31 13.7%	37 16.3%	85 37.4%	1 0.4%
大三輪	236	9 3.8%	7 3.0%	15 6.4%	33 14.0%	25 10.6%	51 23.3%	87 36.9%	5 2.1%
その他	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	6 66.7%
合計	1,085	37 3.4%	48 4.4%	74 6.8%	137 12.6%	142 13.1%	204 18.8%	426 39.3%	17 1.6%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

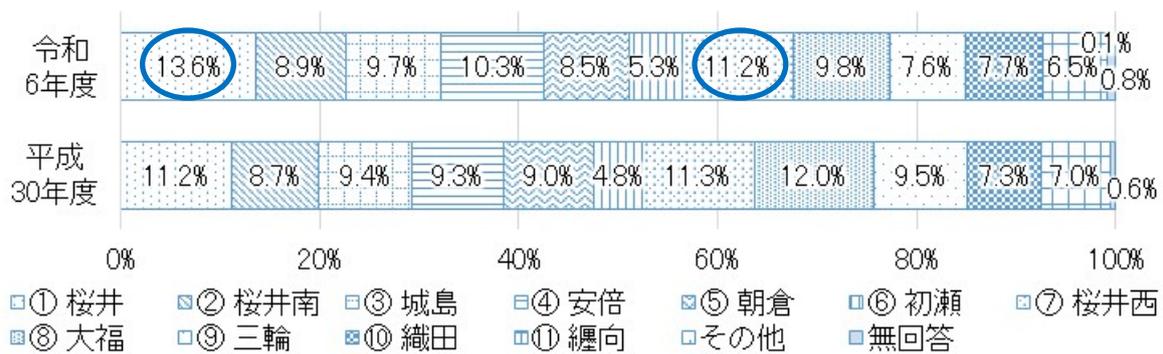
○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) お住まいの地区はどこですか（小学校区でお答えください。分からない場合は、お住まいの大字をご記入ください）。

(1) 小学校区別

回答者の小学校区の構成比は、「桜井」が最も高く 13.6%、続いて「桜井西」が 11.2%、「阿倍」が 10.3%と高くなっています。

また、平成 30 年度調査と比べ、「桜井」が 2.4%増加しており、「大福」が 2.2%、「三輪」が 1.9%減少しています。



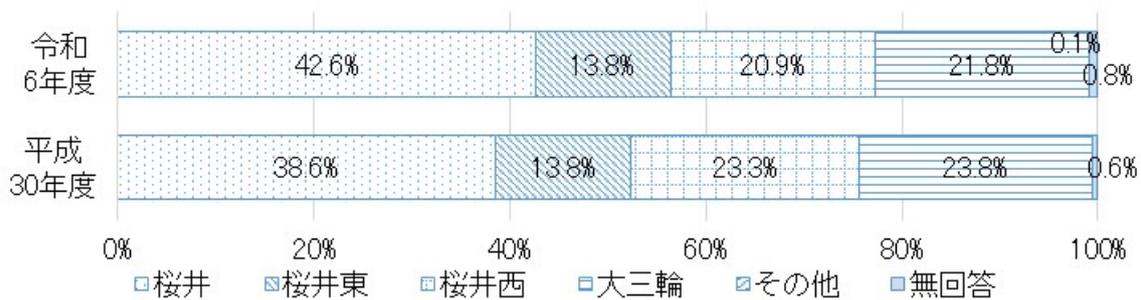
(2) 中学校区別

桜井：平成 30 年度調査と比べ、4.0%増加しています。

桜井東：平成 30 年度調査と比べ、大きな差異は見られません。

桜井西：平成 30 年度調査と比べ、2.4%減少しています。

大三輪：平成 30 年度調査と比べ、2.0%減書しています。

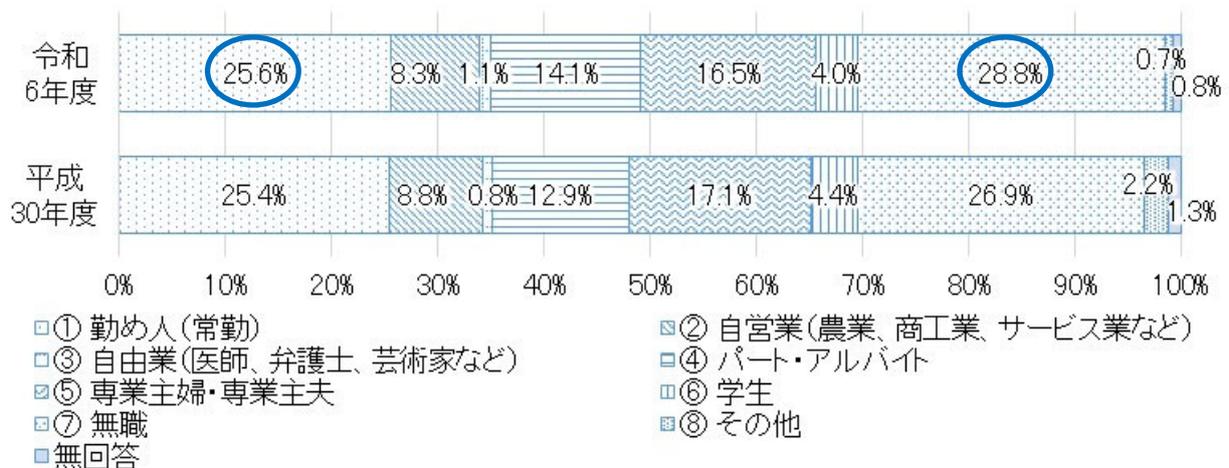


(4) あなたの主な職業は何ですか。

(1) 全体

回答者の職業構成比は、「無職」が最も高く 28.8%、続いて「勤め人（常勤）」が 25.6%と高くなっています。一方、「自由業（医師、弁護士、芸術家など）」が 1.1%、「学生」が 4.0%と低くなっています。

また、平成 30 年度調査と比べ、「無職」が 1.9%、「パート・アルバイト」は 1.2%増加しており、「専業主婦・専業主夫」が 0.6%減少しています。



(2) 中学校区別

桜井：全体に比べ、大きな差異は見られません。

桜井東：全体に比べ、「無職」の構成比が 6.5%高い 35.3%、「専業主婦・専業主夫」の構成比が 4.8%高い 21.3%となっています。

桜井西：全体に比べ、「勤め人（常勤）」の構成比が 2.6%高い 28.2%、「パート・アルバイト」の構成比が 2.6%高い 16.7%となっています。

大三輪：全体に比べ、「自営業（農業、商工業、サービス業など）」の構成比が 3.6%高い 11.9%となっています。

	調査数	① 勤め人(常勤)	② 自営業(農業、商工業、サービス業など)	③ 自由業(医師、弁護士、芸術家など)	④ パート・アルバイト	⑤ 専業主婦・専業主夫	⑥ 学生	⑦ 無職	⑧ その他	無回答
桜井	462	126	32	8	65	68	20	138	3	2
	100.0%	27.3%	6.9%	1.7%	14.1%	14.7%	4.3%	29.9%	0.6%	0.4%
桜井東	150	32	11	0	18	32	3	53	0	1
	100.0%	21.3%	7.3%	0.0%	12.0%	21.3%	2.0%	35.3%	0.0%	0.7%
桜井西	227	64	18	2	38	35	10	58	2	0
	100.0%	28.2%	7.9%	0.9%	16.7%	15.4%	4.4%	25.6%	0.9%	0.0%
大三輪	236	55	28	2	32	42	9	64	3	1
	100.0%	23.3%	11.9%	0.8%	13.6%	17.8%	3.8%	27.1%	1.3%	0.4%
その他	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9	1	1	0	0	2	0	0	0	5
	100.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%
合計	1,085	278	90	12	153	179	43	313	8	9
	100.0%	25.6%	8.3%	1.1%	14.1%	16.5%	4.0%	28.8%	0.7%	0.8%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

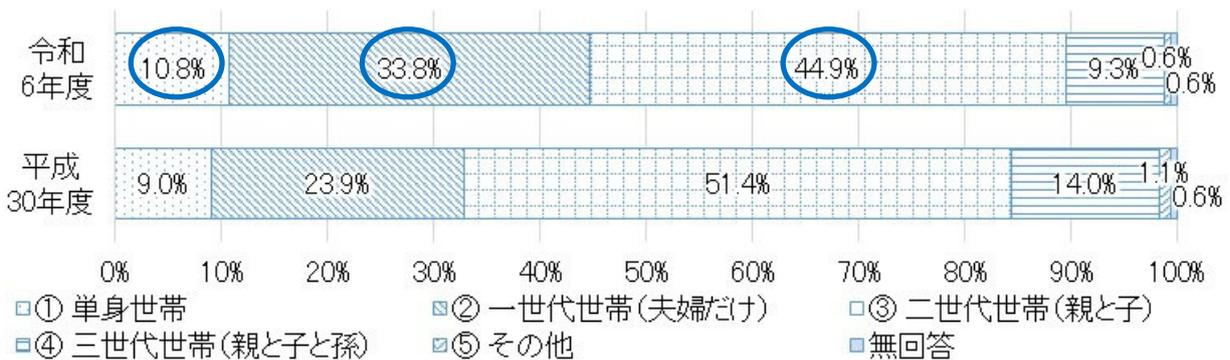
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(6) ご家族構成は次のどれですか。

(1) 全体

回答者の家族構成の構成比は、「二世世代世帯（親と子）」が44.9%と最も高く、続いて「一世世代世帯（夫婦だけ）」が33.8%、「単身世帯」が10.8%となっています。

また、平成30年度調査と比べ、「一世世代世帯（夫婦だけ）」が9.9%増加しており、子や孫と同居していない世帯（単身、夫婦だけ）全体では44.6%と10.9%増加しています。



(2) 年齢別

19歳まで：全体に比べ、「二世世代世帯（親と子）」の構成比が33.5%高い78.4%となっています。

20歳代：全体に比べ、「二世世代世帯（親と子）」の構成比が21.8%高い66.7%となっています。

30歳代：全体に比べ、「二世世代世帯（親と子）」の構成比が34.8%高い79.7%、「一世世代世帯（夫婦だけ）」の構成比が16.3%低い17.6%となっています。

40歳代：全体に比べ、「二世世代世帯（親と子）」の構成比が21.5%高い66.4%、「一世世代世帯（夫婦だけ）」の構成比が20.7%低い13.1%となっています。

50歳代：全体に比べ、「二世世代世帯（親と子）」の構成比が10.7%高い55.6%、「一世世代世帯（夫婦だけ）」の構成比が9.9%低い23.9%となっています。

60歳代：全体に比べ、「一世世代世帯（夫婦だけ）」の構成比が7.4%高い41.2%、「二世世代世帯（親と子）」の構成比が8.1%低い36.8%となっています。

70歳以上：全体に比べ、「一世世代世帯（夫婦だけ）」の構成比が14.8%高い48.6%、「二世世代世帯（親と子）」の構成比が17%低い27.9%となっています。

	調査数	① 単身世帯	② 一世代世帯(夫婦だけ)	③ 二世世代世帯(親と子)	④ 三世世代世帯(親と子と孫)	⑤ その他	無回答
① 19歳まで	37 100.0%	0 0.0%	3 8.1%	29 78.4%	5 13.5%	0 0.0%	0 0.0%
② 20歳代	48 100.0%	4 8.3%	4 8.3%	32 66.7%	7 14.6%	1 2.1%	0 0.0%
③ 30歳代	74 100.0%	1 1.4%	13 17.6%	59 79.7%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%
④ 40歳代	137 100.0%	14 10.2%	18 13.1%	91 66.4%	13 9.5%	1 0.7%	0 0.0%
⑤ 50歳代	142 100.0%	15 10.6%	34 23.9%	79 55.6%	13 9.2%	1 0.7%	0 0.0%
⑥ 60歳代	204 100.0%	24 11.8%	84 41.2%	75 36.8%	19 9.3%	2 1.0%	0 0.0%
⑦ 70歳以上	426 100.0%	59 13.8%	207 48.6%	119 27.9%	39 9.2%	2 0.5%	0 0.0%
無回答	17 100.0%	0 0.0%	4 23.5%	3 17.6%	4 23.5%	0 0.0%	6 35.3%
合計	1,085 100.0%	117 10.8%	367 33.8%	487 44.9%	101 9.3%	7 0.6%	6 0.6%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、大きな差異は見られません。

桜井東：全体に比べ、「一世代世帯(夫婦だけ)」の構成比が10.2%高い44.0%、「二世世代世帯(親と子)」の構成比が8.9%低い36.0%となっています。

桜井西：全体に比べ、「二世世代世帯(親と子)」の構成比が3.1%高い48.0%、「三世世代世帯(親と子と孫)」の構成比が3.6%低い5.7%となっています。

大三輪：全体に比べ、「三世世代世帯(親と子と孫)」の構成比が4.3%高い13.6%、「一世代世帯(夫婦だけ)」の構成比が6.3%低い27.5%となっています。

	調査数	① 単身世帯	② 一世代世帯(夫婦だけ)	③ 二世世代世帯(親と子)	④ 三世世代世帯(親と子と孫)	⑤ その他	無回答
桜井	462 100.0%	48 10.4%	157 34.0%	209 45.2%	46 10.0%	2 0.4%	0 0.0%
桜井東	150 100.0%	18 12.0%	66 44.0%	54 36.0%	10 6.7%	2 1.3%	0 0.0%
桜井西	227 100.0%	29 12.8%	76 33.5%	109 48.0%	13 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
大三輪	236 100.0%	22 9.3%	65 27.5%	113 47.9%	32 13.6%	3 1.3%	1 0.4%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	5 55.6%
合計	1,085 100.0%	117 10.8%	367 33.8%	487 44.9%	101 9.3%	7 0.6%	6 0.6%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

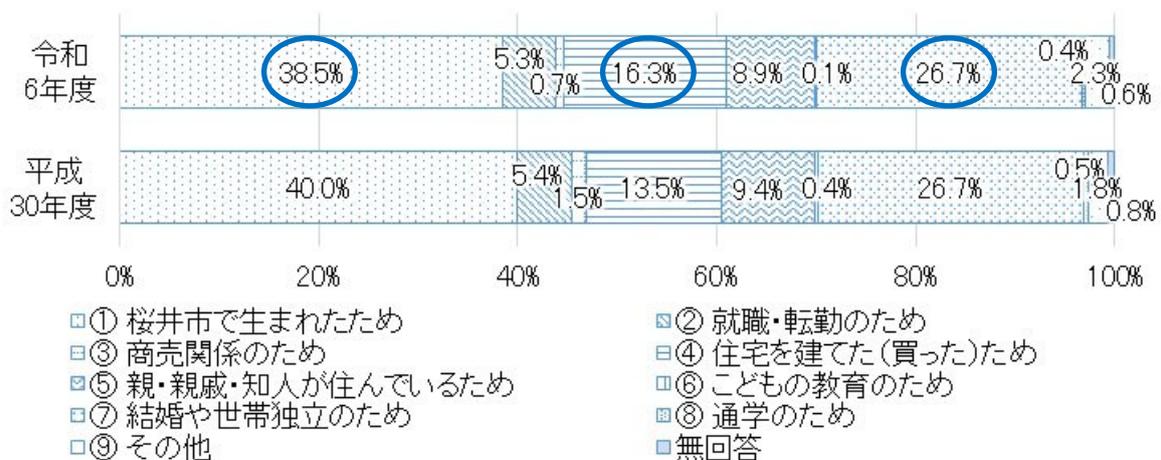
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(7) あなたはどのようなきっかけで桜井市にお住まいになりましたか。最も大きな理由を1つ選んでください。

(1) 全体

本市へ居住したきっかけの構成比は、「桜井市で生まれたため」が最も高く 38.5%となっています。続いて「結婚や世帯独立のため」が 26.7%、「住宅を建てた(買った)ため」が 16.3%となっています。

また、平成 30 年度調査と比べ、「住宅を建てた(買った)ため」が 2.8%増加しており、「桜井市で生まれたため」が 1.5%減少しています。



(2) 年齢別

19歳まで：全体に比べ、「桜井市で生まれたため」の構成比が 37.2%高い 75.7%となっています。

20歳代：全体に比べ、「桜井市で生まれたため」の構成比が 28.1%高い 66.7%となっています。

30歳代：全体に比べ、「親・親戚・知人が住んでいるため」の構成比 4.6%高い 13.5%、「結婚や世帯独立のため」の構成比が 3.8%低い 23.0%となっています。

40歳代：全体に比べ、「桜井市で生まれたため」の構成比が 3.8%高い 42.3%、「住宅を建てた(買った)ため」の構成比が 2.4%低い 13.9%となっています。

50歳代：全体に比べ、「結婚や世帯独立のため」の構成比が 3.6%高い 30.3%、「桜井市で生まれたため」の構成比が 4.7%低い 23.8%となっています。

60歳代：全体に比べ、「結婚や世帯独立のため」の構成比 3.2%高いが 29.9%となっています。

70歳以上：全体に比べ、「住宅を建てた(買った)ため」の構成比が 3.4%高い 19.7%、「桜井市で生まれたため」の構成比が 4.3%低い 34.3%となっています。

	調査数	① 桜井市で生まれたため	② 就職・転勤のため	③ 商売関係のため	④ 住宅を建てた(買った)ため	⑤ 親・親戚・知人が住んでいるため	⑥ こどもの教育のため	⑦ 結婚や世帯独立のため	⑧ 通学のため	⑨ その他	無回答
① 19歳まで	37	28	0	0	2	7	0	0	0	0	0
	100.0%	75.7%	0.0%	0.0%	5.4%	18.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
② 20歳代	48	32	0	0	1	4	0	9	1	1	0
	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	2.1%	8.3%	0.0%	18.8%	2.1%	2.1%	0.0%
③ 30歳代	74	30	3	0	12	10	0	17	0	1	1
	100.0%	40.5%	4.1%	0.0%	16.2%	13.5%	0.0%	23.0%	0.0%	1.4%	1.4%
④ 40歳代	137	58	12	0	19	9	0	37	1	1	0
	100.0%	42.3%	8.8%	0.0%	13.9%	6.6%	0.0%	27.0%	0.7%	0.7%	0.0%
⑤ 50歳代	142	48	10	2	20	15	0	43	0	4	0
	100.0%	33.8%	7.0%	1.4%	14.1%	10.6%	0.0%	30.3%	0.0%	2.8%	0.0%
⑥ 60歳代	204	75	7	1	38	16	0	61	1	5	0
	100.0%	36.8%	3.4%	0.5%	18.6%	7.8%	0.0%	29.9%	0.5%	2.5%	0.0%
⑦ 70歳以上	426	146	26	5	84	35	1	115	1	12	1
	100.0%	34.3%	6.1%	1.2%	19.7%	8.2%	0.2%	27.0%	0.2%	2.8%	0.2%
無回答	17	1	0	0	1	1	0	8	0	1	5
	100.0%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	0.0%	47.1%	0.0%	5.9%	29.4%
合計	1,085	418	58	8	177	97	1	290	4	25	7
	100.0%	38.5%	5.3%	0.7%	16.3%	8.9%	0.1%	26.7%	0.4%	2.3%	0.6%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「結婚や世帯独立のため」の構成比が2.5%高い29.2%、「桜井市で生まれたため」の構成比が2.4%低い36.1%となっています。

桜井東：全体に比べ、「住宅を建てた(買った)ため」の構成比が13.0%高い29.3%、「結婚や世帯独立のため」の構成比が7.4%低い19.3%となっています。

桜井西：全体に比べ、「就職・転勤のため」の構成比が2.1%高い7.5%、「結婚や世帯独立のため」の構成比が2.9%低い23.8%となっています。

大三輪：全体に比べ、「桜井市で生まれたため」の構成比が5.5%高い44.1%、「住宅を建てた(買った)ため」の構成比が5.7%低い10.6%となっています。

	調査数	① 桜井市で生まれたため	② 就職・転勤のため	③ 商売関係のため	④ 住宅を建てた(買った)ため	⑤ 親・親戚・知人が住んでいるため	⑥ こどもの教育のため	⑦ 結婚や世帯独立のため	⑧ 通学のため	⑨ その他	無回答
桜井	462	167	24	5	71	46	0	135	0	14	0
	100.0%	36.1%	5.2%	1.1%	15.4%	10.0%	0.0%	29.2%	0.0%	3.0%	0.0%
桜井東	150	55	9	1	44	10	0	29	0	1	1
	100.0%	36.7%	6.0%	0.7%	29.3%	6.7%	0.0%	19.3%	0.0%	0.7%	0.7%
桜井西	227	90	17	1	37	18	0	54	2	7	1
	100.0%	39.6%	7.5%	0.4%	16.3%	7.9%	0.0%	23.8%	0.9%	3.1%	0.4%
大三輪	236	104	8	1	25	23	1	70	2	2	0
	100.0%	44.1%	3.4%	0.4%	10.6%	9.7%	0.4%	29.7%	0.8%	0.8%	0.0%
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9	1	0	0	0	0	0	2	0	1	5
	100.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	55.6%
合計	1,085	418	58	8	177	97	1	290	4	25	7
	100.0%	38.5%	5.3%	0.7%	16.3%	8.9%	0.1%	26.7%	0.4%	2.3%	0.6%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

2.2 現在のお住まいの地域について

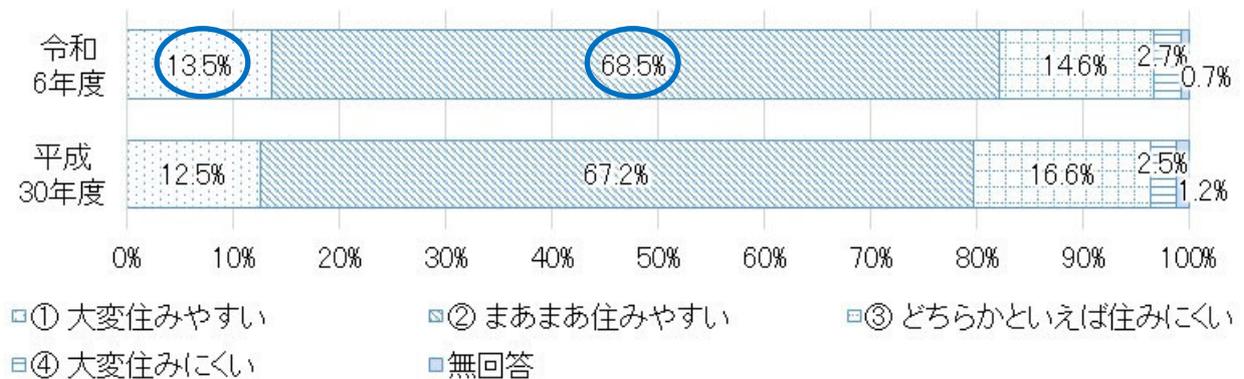
問2 あなたの現在お住まいの地域に対する考えをお聞きします。

(1) あなたが、現在お住まいの地域は、住みやすいところだと感じますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

(1) 全体

まちの住みやすさの構成比は、「大変住みやすい」が13.5%、「まあまあ住みやすい」が68.5%となっており、合計で82.0%の回答者が住みやすいと回答しています。

また、平成30年度調査と比べ、「大変住みやすい」が1.0%増加、「まあまあ住みやすい」が1.3%増加しており、両方で2.3%増加となっています。一方、「どちらかといえば住みにくい」が2.0%減少しています。



(2) 年齢別

19歳まで：全体に比べ、「まあまあ住みやすい」の構成比が3.6%低い64.9%となっています。

20歳代：全体に比べ、「どちらかといえば住みにくい」の構成比が6.3%高い20.8%となっています。

30歳代：全体に比べ、「まあまあ住みやすい」の構成比が7.2%高い75.7%となっています。

40歳代：全体に比べ、「まあまあ住みやすい」の構成比が2.8%低い65.7%となっています。

50歳代：全体に比べ、「まあまあ住みやすい」の構成比が2.6%高い71.1%となっています。

60歳代：全体に比べ、「どちらかといえば住みにくい」の構成比が4.1%高い18.6%となっています。

70歳以上：全体に比べ、大きな差異は見られません。

	調査数	① 大変住みやすい	② まあまあ住みやすい	③ どちらかといえば住みにくい	④ 大変住みにくい	無回答
① 19歳まで	37 100.0%	9 24.3%	24 64.9%	4 10.8%	0 0.0%	0 0.0%
② 20歳代	48 100.0%	4 8.3%	32 66.7%	10 20.8%	2 4.2%	0 0.0%
③ 30歳代	74 100.0%	11 14.9%	56 75.7%	7 9.5%	0 0.0%	0 0.0%
④ 40歳代	137 100.0%	18 13.1%	90 65.7%	23 16.8%	6 4.4%	0 0.0%
⑤ 50歳代	142 100.0%	20 14.1%	101 71.1%	20 14.1%	1 0.7%	0 0.0%
⑥ 60歳代	204 100.0%	27 13.2%	135 66.2%	38 18.6%	4 2.0%	0 0.0%
⑦ 70歳以上	426 100.0%	57 13.4%	297 69.7%	54 12.7%	14 3.3%	4 0.9%
無回答	17 100.0%	1 5.9%	8 47.1%	2 11.8%	2 11.8%	4 23.5%
合計	1,085 100.0%	147 13.5%	743 68.5%	158 14.6%	29 2.7%	8 0.7%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「まあまあ住みやすい」の構成比が3.6%高い72.1%となっています。

桜井東：全体に比べ、「どちらかといえば住みにくい」の構成比が6.8%高い21.3%、「まあまあ住みやすい」の構成比が9.1%低い59.3%となっています。

桜井西：全体に比べ、「大変住みやすい」の構成比が5.8%高い19.4%、「どちらかといえば住みにくい」の構成比が8.0%低い6.6%となっています。

大三輪：全体に比べ、「どちらかといえば住みにくい」の構成比が7.5%高い22.0%、「まあまあ住みやすい」の構成比が4.5%低い64.0%となっています。

	調査数	① 大変住みやすい	② まあまあ住みやすい	③ どちらかといえば住みにくい	④ 大変住みにくい	無回答
桜井	462 100.0%	61 13.2%	333 72.1%	57 12.3%	9 1.9%	2 0.4%
桜井東	150 100.0%	18 12.0%	89 59.3%	32 21.3%	10 6.7%	1 0.7%
桜井西	227 100.0%	44 19.4%	166 73.1%	15 6.6%	2 0.9%	0 0.0%
大三輪	236 100.0%	24 10.2%	151 64.0%	52 22.0%	8 3.4%	1 0.4%
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9 100.0%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	4 44.4%
合計	1,085 100.0%	147 13.5%	743 68.5%	158 14.6%	29 2.7%	8 0.7%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(2) 「住みやすい」又は「住みにくい」と考える理由（項目）は何ですか。最もお考えに近いものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

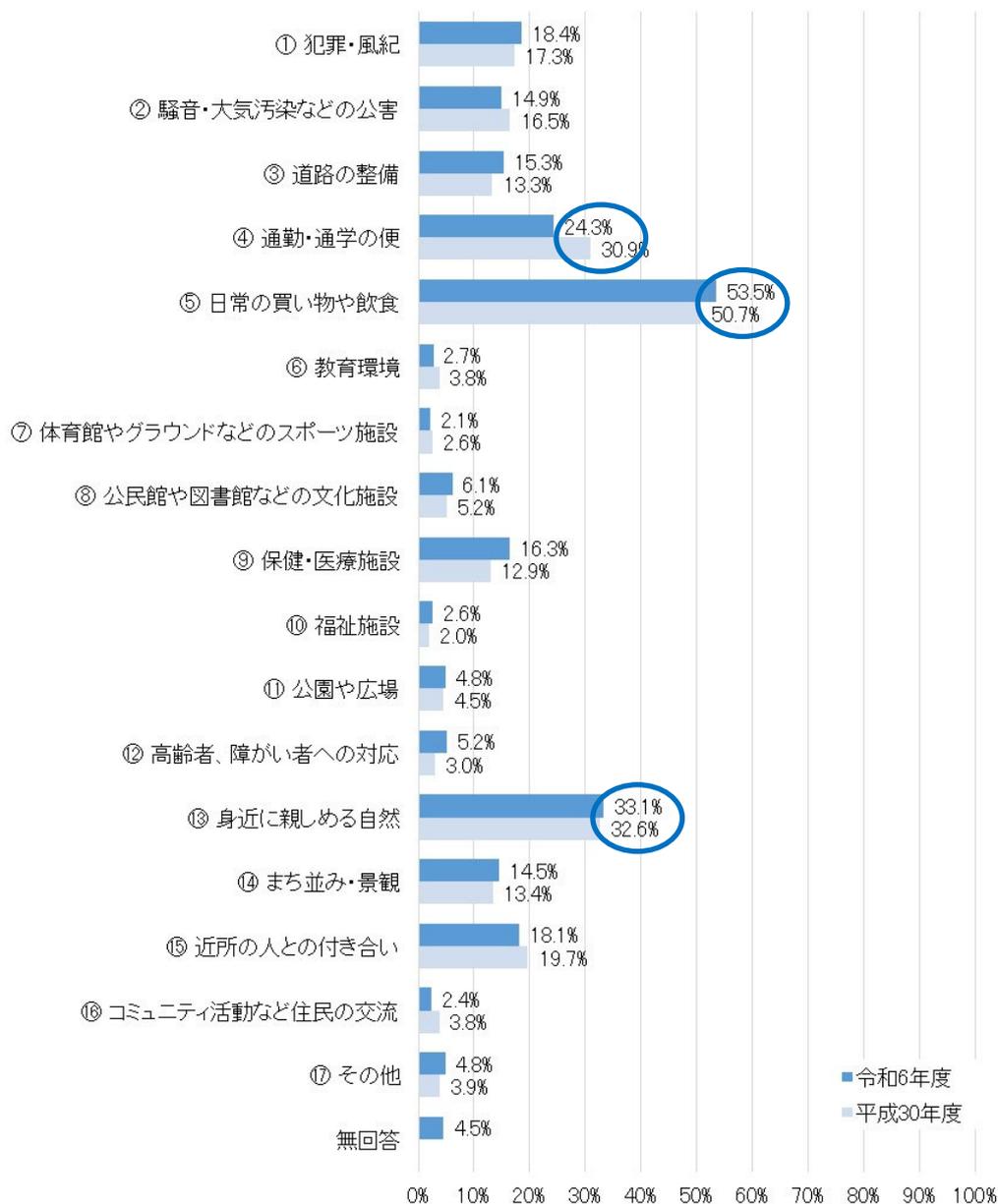
1) 住みやすい理由

(1) 全体

住みやすさを問う質問で「大変住みやすい」、「まあまあ住みやすい」を選択した回答者の回答結果を示します。

全体では「日常の買い物や飲食」が53.5%と最も高く、続いて「身近に親しめる自然」が33.1%、「通勤・通学の便」が24.3%と高くなっています。

また、平成30年度調査と比べ、「保健・医療施設」が3.4%、「日常の買い物や飲食」が2.8%増加しており、「通勤・通学の便」が6.6%減少しています。



(2) 年齢別

各年齢で最も回答が多かった選択肢は、

「日常の買い物や飲食」で「19歳まで」が51.5%、「20歳代」が55.6%、「30歳代」が71.6%、「40歳代」が61.1%、「50歳代」が50.4%、「60歳代」が55.6%、「70歳以上」が47.7%となっています。

次に、回答が多かった選択肢は、

「身近に親しめる自然」で「60歳代」が34.0%、「70歳以上」が41.0%、

「通勤・通学の便」で「19歳まで」が42.4%、「30歳代」が52.2%、「40歳代」が33.3%、「50歳代」が32.2%となっています。

	調査数	① 犯罪・風紀	② 騒音・大気汚染などの公害	③ 道路の整備	④ 通勤・通学の便	⑤ 日常の買い物や飲食	⑥ 教育環境	⑦ 体育館やグラウンドなどのスポーツ施設	⑧ 公民館や図書館などの文化施設	⑨ 保健・医療施設	⑩ 福祉施設	⑪ 公園や広場	⑫ 高齢者、障がい者への対応	⑬ 身近に親しめる自然	⑭ まち並み・景観	⑮ 近所の人の付き合い	⑯ コミュニティ活動など住民の交流	⑰ その他	無回答
① 19歳まで	33	9	5	4	14	17	1	1	2	3	0	4	0	6	5	1	0	3	1
	100.0%	27.3%	15.2%	12.1%	42.4%	51.5%	3.0%	3.0%	6.1%	9.1%	0.0%	12.1%	0.0%	18.2%	15.2%	3.0%	0.0%	9.1%	3.0%
② 20歳代	36	4	1	4	8	20	4	1	2	6	1	1	1	8	8	1	0	3	1
	100.0%	11.1%	2.8%	11.1%	22.2%	55.6%	11.1%	2.8%	5.6%	16.7%	2.8%	2.8%	2.8%	22.2%	22.2%	2.8%	0.0%	8.3%	2.8%
③ 30歳代	67	9	10	11	35	48	1	1	1	5	0	1	2	18	11	7	0	2	1
	100.0%	13.4%	14.9%	16.4%	52.2%	71.6%	1.5%	1.5%	1.5%	7.5%	0.0%	1.5%	3.0%	26.9%	16.4%	10.4%	0.0%	3.0%	1.5%
④ 40歳代	108	18	22	14	36	66	6	3	11	12	1	4	3	28	15	10	4	5	7
	100.0%	16.7%	20.4%	13.0%	33.3%	61.1%	5.6%	2.8%	10.2%	11.1%	0.9%	3.7%	2.8%	25.9%	13.9%	9.3%	3.7%	4.6%	6.5%
⑤ 50歳代	121	31	23	15	35	61	2	4	5	12	0	6	2	33	21	18	2	8	7
	100.0%	25.6%	19.0%	12.4%	32.2%	50.4%	1.7%	3.3%	4.1%	9.9%	0.0%	5.0%	1.7%	27.3%	17.4%	14.9%	1.7%	6.6%	5.8%
⑥ 60歳代	162	34	28	28	37	90	1	6	8	35	5	10	9	55	26	26	3	5	5
	100.0%	21.0%	17.3%	17.3%	22.8%	55.6%	0.6%	3.7%	4.9%	21.6%	3.1%	6.2%	5.6%	34.0%	16.0%	16.0%	1.9%	3.1%	3.1%
⑦ 70歳以上	354	59	44	59	44	169	9	3	24	70	15	15	29	145	42	94	12	17	18
	100.0%	16.7%	12.4%	16.7%	12.4%	47.7%	2.5%	0.8%	6.8%	19.8%	4.2%	4.2%	8.2%	41.0%	11.9%	26.6%	3.4%	4.8%	5.1%
無回答	9	0	0	1	3	5	0	0	1	2	1	2	0	2	1	4	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	890	164	133	136	216	476	24	19	54	145	23	43	46	295	129	161	21	43	40
	100.0%	18.4%	14.9%	15.3%	24.3%	53.5%	2.7%	2.1%	6.1%	16.3%	2.6%	4.8%	5.2%	33.1%	14.5%	18.1%	2.4%	4.8%	4.5%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

各中学校区で最も回答が多かった選択肢は、

「日常の買い物や飲食」で桜井 53.0%、桜井西 71.9%、大三輪 48.0%

「身近に親しめる自然」で桜井東 43.0%となっています。

	調査数	① 犯罪・風紀	② 騒音・大気汚染などの公害	③ 道路の整備	④ 通勤・通学の便	⑤ 日常の買い物や飲食	⑥ 教育環境	⑦ 体育館やグラウンドなどのスポーツ施設	⑧ 公民館や図書館などの文化施設	⑨ 保健・医療施設	⑩ 福祉施設	⑪ 公園や広場	⑫ 高齢者、障がい者への対応	⑬ 身近に親しめる自然	⑭ まち並み・景観	⑮ 近所の人の付き合い	⑯ コミュニティ活動など住民の交流	⑰ その他	無回答
桜井	394	90	64	44	96	205	13	6	36	70	8	16	21	127	51	65	4	22	17
	100.0%	22.8%	16.2%	11.2%	24.4%	53.0%	3.3%	1.5%	9.1%	17.8%	2.0%	4.1%	5.3%	32.2%	12.9%	16.5%	1.0%	5.6%	4.3%
桜井東	107	16	17	21	24	31	2	2	1	14	1	6	7	46	27	25	9	4	6
	100.0%	15.0%	15.9%	19.6%	22.4%	29.0%	1.9%	1.9%	0.9%	13.1%	0.9%	5.6%	6.5%	43.0%	25.2%	23.4%	8.4%	3.7%	5.6%
桜井西	210	25	27	45	70	151	4	5	9	41	9	12	11	43	18	27	2	9	11
	100.0%	11.9%	12.9%	21.4%	33.3%	71.9%	1.9%	2.4%	4.3%	19.5%	4.3%	5.7%	5.2%	20.5%	8.6%	12.9%	1.0%	4.3%	5.2%
大三輪	175	33	24	25	24	84	5	6	8	19	5	9	7	78	33	43	6	8	6
	100.0%	18.9%	13.7%	14.3%	13.7%	48.0%	2.9%	3.4%	4.6%	10.9%	2.9%	5.1%	4.0%	44.6%	18.9%	24.6%	3.4%	4.6%	3.4%
その他	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	3	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	890	164	133	136	216	476	24	19	54	145	23	43	46	295	129	161	21	43	40
	100.0%	18.4%	14.9%	15.3%	24.3%	53.5%	2.7%	2.1%	6.1%	16.3%	2.6%	4.8%	5.2%	33.1%	14.5%	18.1%	2.4%	4.8%	4.5%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

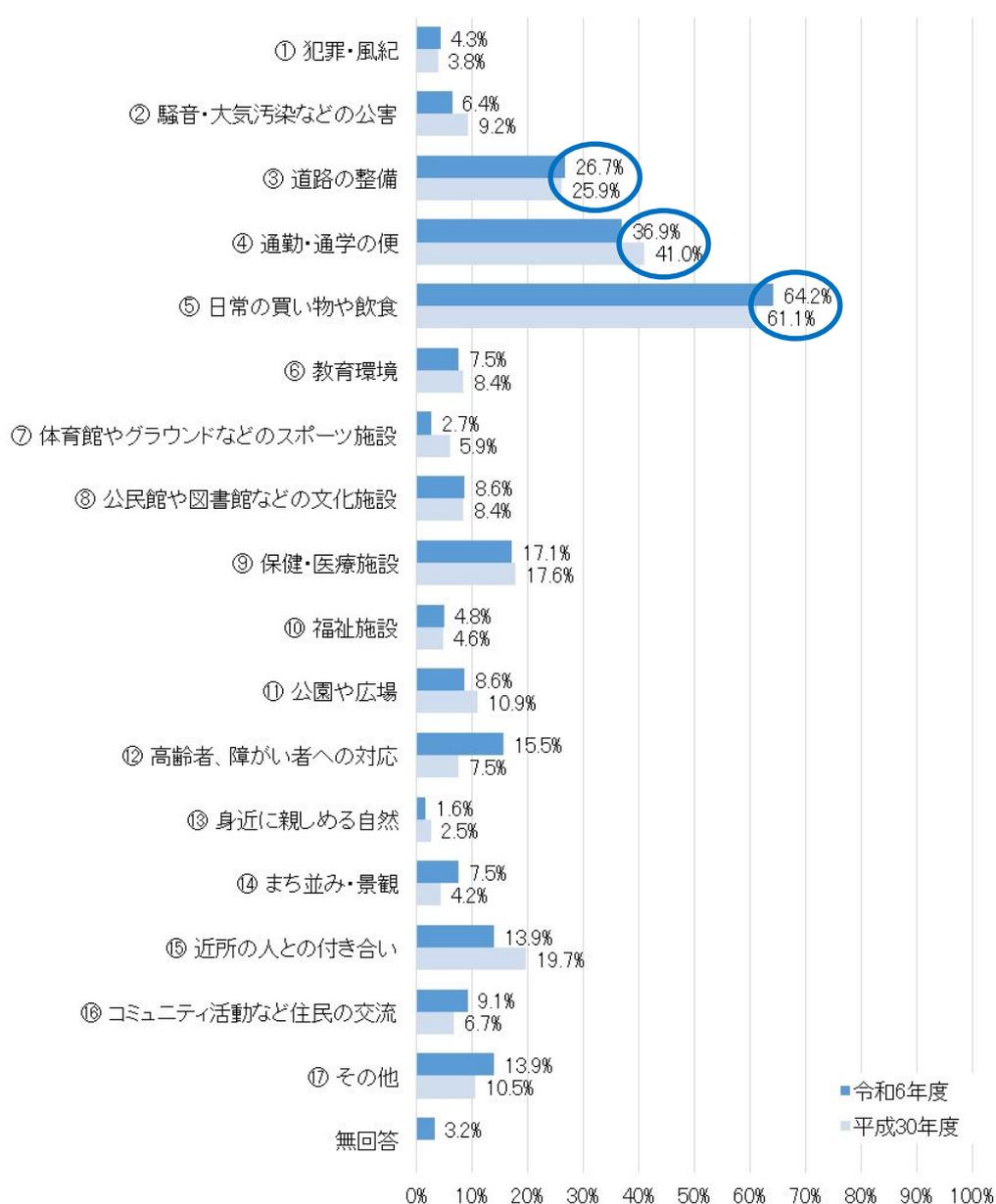
2) 住みにくい理由

(1) 全体

住みやすさを問う質問で「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」を選択した回答者の回答結果を示します。

全体では「日常の買い物や飲食」が64.2%と最も高く、続いて「通勤・通学の便」が36.9%、「道路の整備」が26.7%と高くなっています。

また、平成30年度調査と比べ、「高齢者、障がい者への対応」が8.0%、「まち並み・景観」が3.3%増加しており、「近所の人との付き合い」が5.8%、「通勤・通学の便」が4.1%減少しています。



(2) 年齢別

各年齢で最も回答が多かった選択肢は、

「日常の買い物や飲食」で「19歳まで」が75.0%、「30歳代」が57.1%、「40歳代」が58.6%、「50歳代」が57.1%、「60歳代」で64.3%、「70歳以上」で67.6%、「通勤・通学の便」で「19歳まで」が75.0%、「20歳代」が83.3%、「30歳代」が57.1%となっています。

	調査数	① 犯罪・風紀	② 騒音・大気汚染などの公害	③ 道路の整備	④ 通勤・通学の便	⑤ 日常の買い物や飲食	⑥ 教育環境	⑦ 体育館やグラウンドなどのスポーツ施設	⑧ 公民館や図書館などの文化施設	⑨ 保健・医療施設	⑩ 福祉施設	⑪ 公園や広場	⑫ 高齢者、障がい者への対応	⑬ 身近に親しめる自然	⑭ まち並み・景観	⑮ 近所の人との付き合い	⑯ コミュニティ活動など住民の交流	⑰ その他	無回答
① 19歳まで	4	0	0	25.0%	75.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
② 20歳代	12	0	2	25.0%	83.3%	66.7%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
③ 30歳代	7	1	0	14.3%	57.1%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
④ 40歳代	29	2	0	27.6%	37.9%	58.6%	24.1%	3.4%	6.9%	13.8%	3.4%	17.2%	10.3%	0.0%	3.4%	17.2%	6.9%	20.7%	0.0%
⑤ 50歳代	21	1	6	28.6%	42.9%	57.1%	9.5%	0.0%	4.8%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	9.5%	33.3%	7.1%	9.5%	14.3%	0.0%
⑥ 60歳代	42	4	1	31.0%	40.5%	64.3%	4.8%	2.4%	7.1%	21.4%	4.8%	2.4%	11.9%	2.4%	0.0%	11.9%	9.5%	9.5%	4.4%
⑦ 70歳以上	68	0	8	26.5%	22.1%	67.6%	1.5%	2.9%	11.8%	19.1%	8.8%	5.9%	27.9%	2.9%	6.6%	13.2%	11.8%	13.2%	2.9%
無回答	4	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
合計	187	8	12	26.7%	36.9%	64.2%	7.5%	2.7%	8.6%	17.1%	4.8%	8.6%	15.5%	1.6%	7.3%	13.9%	9.1%	13.9%	3.2%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

各中学校区で最も回答が多かった選択肢は、

「日常の買い物や飲食」で桜井 57.6%、桜井東 85.7%、桜井西 35.3%、大三輪 65.0%となっています。

	調査数	① 犯罪・風紀	② 騒音・大気汚染などの公害	③ 道路の整備	④ 通勤・通学の便	⑤ 日常の買い物や飲食	⑥ 教育環境	⑦ 体育館やグラウンドなどのスポーツ施設	⑧ 公民館や図書館などの文化施設	⑨ 保健・医療施設	⑩ 福祉施設	⑪ 公園や広場	⑫ 高齢者、障がい者への対応	⑬ 身近に親しめる自然	⑭ まち並み・景観	⑮ 近所の人との付き合い	⑯ コミュニティ活動など住民の交流	⑰ その他	無回答
桜井	66	0	4	22	30.3%	57.6%	4.5%	7.6%	7.6%	12.1%	7.6%	12.1%	15.2%	3.0%	12.1%	9	10.6%	10.6%	6.1%
桜井東	42	2	1	9	21.4%	85.7%	7.1%	0.0%	4.8%	20.0%	0.0%	2.4%	21.4%	2.4%	4.8%	4.8%	7.1%	11.9%	2.4%
桜井西	17	3	2	6	35.3%	35.3%	6.0%	0.0%	2.4%	4.4%	1.0%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	23.5%	11.8%	23.5%	0.0%
大三輪	60	3	5	12	27	65.0%	38	4.0%	7.7%	7.7%	3	7	17.6%	0.0%	0.0%	11	18.3%	16.7%	1.7%
その他	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	187	8	12	26.7%	36.9%	64.2%	7.5%	2.7%	8.6%	17.1%	4.8%	8.6%	15.5%	1.6%	7.3%	13.9%	9.1%	13.9%	3.2%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

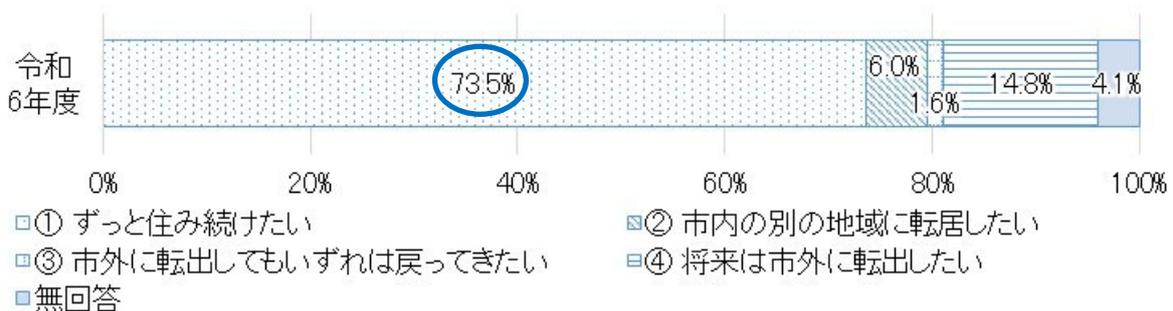
○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) あなたは、将来も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

(1) 全体

お住まいの地域に住み続けたいと思うの構成比は、「ずっと住み続けたい」が73.5%と7割を超えています。「市内の別の地域に転居したい」を含めた“桜井市内での居住継続意向”は79.5%、さらに「市外に転出してもいずれは戻ってきたい」を含めた“将来時点の居住意向”は81.1%となっています。

一方、「将来は市外に転出したい」は14.8%となっています。



(2) 年齢別

19歳まで：全体に比べ、「ずっと住み続けたい」の構成比が19.5%低い54.1%となっています。

20歳代：全体に比べ、「将来は市外に転出したい」の構成比が26.8%高い41.7%、「ずっと住み続けたい」の構成比が25.6%低い47.9%となっています。

30歳代：全体に比べ、「将来は市外に転出したい」の構成比が6.8%高い21.6%、「ずっと住み続けたい」の構成比が10.0%低い63.5%となっています。

40歳代：全体に比べ、「将来は市外に転出したい」の構成比が3.4%高い18.2%、「ずっと住み続けたい」の構成比が6.4%低い67.2%となっています。

50歳代：全体に比べ、「将来は市外に転出したい」の構成比が4.2%高い19.0%、「ずっと住み続けたい」の構成比が3.1%低い70.4%となっています。

60歳代：全体に比べ、「ずっと住み続けたい」の構成比が2.9%高い76.5%となっています。

70歳以上：全体に比べ、「ずっと住み続けたい」の構成比が8.8%高い82.4%、「将来は市外に転出したい」の構成比が6.9%低い8.0%となっています。

	調査数	① ずっと 住み続け たい	② 市内の 別の地域 に転居し たい	③ 市外に 転出して もいずれ は戻って きたい	④ 将来は 市外に転 出したい	無回答
① 19歳まで	37 100.0%	20 54.1%	1 2.7%	6 16.2%	9 24.3%	1 2.7%
② 20歳代	48 100.0%	23 47.9%	4 8.3%	0 0.0%	20 41.7%	1 2.1%
③ 30歳代	74 100.0%	47 63.5%	4 5.4%	4 5.4%	16 21.6%	3 4.1%
④ 40歳代	137 100.0%	92 67.2%	11 8.0%	3 2.2%	25 18.2%	6 4.4%
⑤ 50歳代	142 100.0%	100 70.4%	10 7.0%	3 2.1%	27 19.0%	2 1.4%
⑥ 60歳代	204 100.0%	156 76.5%	13 6.4%	0 0.0%	30 14.7%	5 2.5%
⑦ 70歳以上	426 100.0%	351 82.4%	22 5.2%	1 0.2%	34 8.0%	18 4.2%
無回答	17 100.0%	9 52.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 47.1%
合計	1,085 100.0%	798 73.5%	65 6.0%	17 1.6%	161 14.8%	44 4.1%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、大きな差異は見られません。

桜井東：全体に比べ、「市内の別の地域に転居したい」の構成比が7.3%高い13.3%、「ずっと住み続けたい」の構成比が7.5%低い66.0%となっています。

桜井西：全体に比べ、「ずっと住み続けたい」の構成比が6.6%高い80.2%となっています。

大三輪：全体に比べ、「ずっと住み続けたい」の構成比が4.0%高い77.5%、「将来は市外に転出したい」構成比が3.4%低い11.4%となっています。

	調査数	① ずっと 住み続け たい	② 市内の 別の地域 に転居し たい	③ 市外に 転出して もいずれ は戻って きたい	④ 将来は 市外に転 出したい	無回答
桜井	462 100.0%	332 71.9%	28 6.1%	12 2.6%	76 16.5%	14 3.0%
桜井東	150 100.0%	99 66.0%	20 13.3%	0 0.0%	25 16.7%	6 4.0%
桜井西	227 100.0%	182 80.2%	6 2.6%	2 0.9%	32 14.1%	5 2.2%
大三輪	236 100.0%	183 77.5%	11 4.7%	2 0.8%	27 11.4%	13 5.5%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9 100.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	6 66.7%
合計	1,085 100.0%	798 73.5%	65 6.0%	17 1.6%	161 14.8%	44 4.1%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

2.3 まちのイメージについて

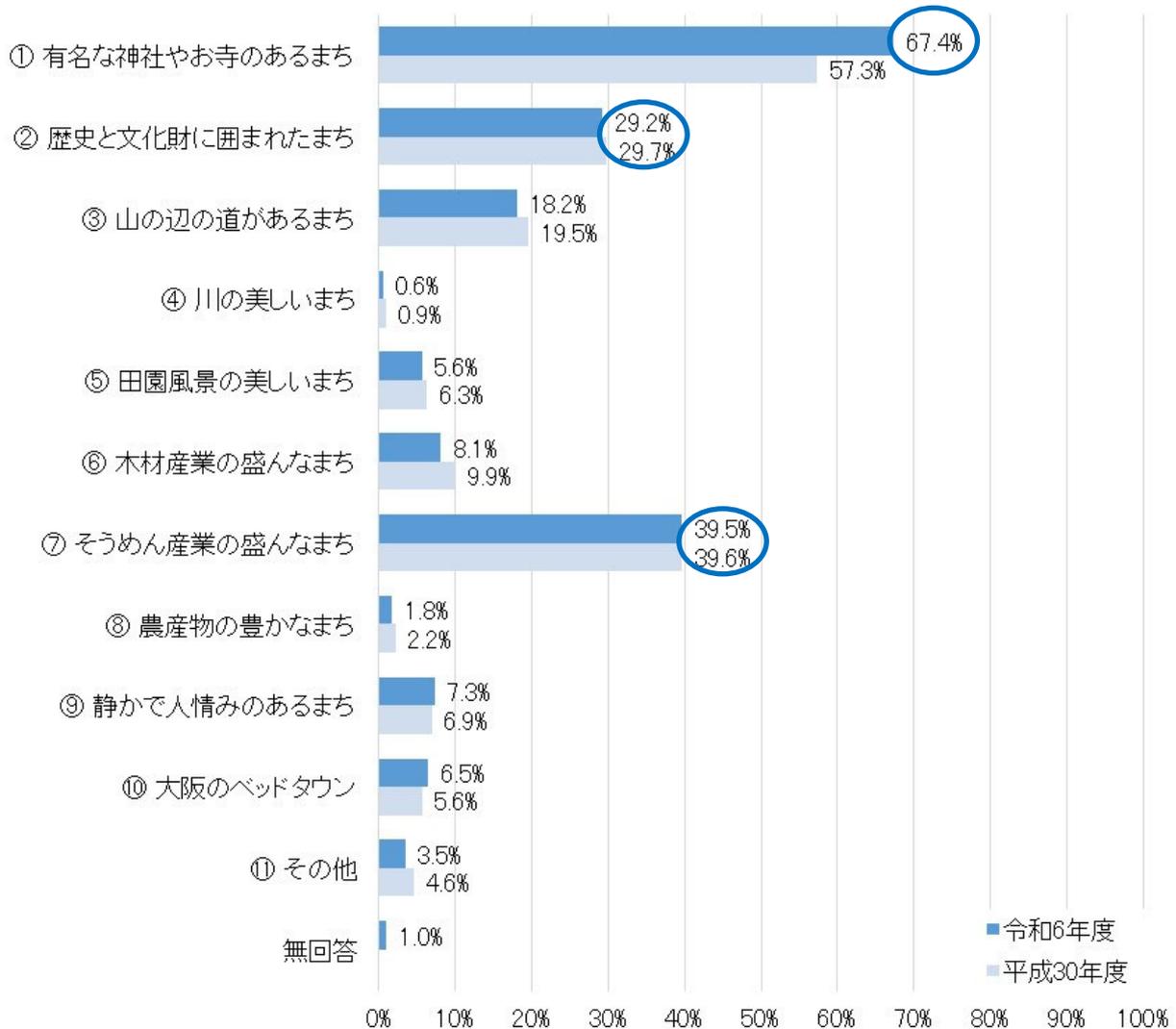
問3 桜井市のまちのイメージについてお聞きします。

(1) 現在の桜井市はどのようなイメージですか。あなたのイメージに近いものを次の中から 2 つまで選んで番号に○をつけてください。

(1) 全体

本市のイメージは、「有名な神社やお寺のあるまち」が 67.4%と最も高く、続いて「そうめん産業の盛んなまち」が 39.5%、「歴史と文化財に囲まれたまち」が 29.2%と高くなっています。

また、平成 30 年度調査と比べ、「有名な神社やお寺のあるまち」が 10.1%増加しており、「木材産業の盛んなまち」が 1.8%、「山の辺の道があるまち」が 1.3%減少しています。



(2) 年齢別

- 19歳まで：全体に比べ、「そうめん産業の盛んなまち」の構成比が19.9%高い59.5%となっています。
- 20歳代：全体に比べ、「そうめん産業の盛んなまち」の構成比が20.9%高い60.4%となっています。
- 30歳代：全体に比べ、「そうめん産業の盛んなまち」の構成比が15.9%高い55.4%となっています。
- 40歳代：全体に比べ、「有名な神社やお寺のあるまち」の構成比が9.3%高い76.6%、「歴史と文化財に囲まれたまち」の構成比が9.5%低い19.7%となっています。
- 50歳代：全体に比べ、「木材産業の盛んなまち」の構成比が4.6%高い12.7%、「歴史と文化財に囲まれたまち」の構成比が6.0%低い23.2%となっています。
- 60歳代：全体に比べ、「山の辺の道があるまち」の構成比が5.4%高い23.5%となっています。
- 70歳以上：全体に比べ、「歴史と文化財に囲まれたまち」の構成比が6.2%高い35.4%、「そうめん産業の盛んなまち」の構成比が11.8%低い27.7%となっています。

	調査数	① 有名な神社やお寺のあるまち	② 歴史と文化財に囲まれたまち	③ 山の辺の道があるまち	④ 川の美しいまち	⑤ 田園風景の美しいまち	⑥ 木材産業の盛んなまち	⑦ そうめん産業の盛んなまち	⑧ 農産物の豊かなまち	⑨ 静かで人情味のあるまち	⑩ 大阪のベッドタウン	⑪ その他	無回答
① 19歳まで	37	25	9	2	1	1	0	22	0	5	2	0	0
	100.0%	67.6%	24.3%	5.4%	2.7%	2.7%	0.0%	59.5%	0.0%	13.5%	5.4%	0.0%	0.0%
② 20歳代	48	31	15	5	0	3	2	29	0	1	3	1	0
	100.0%	64.6%	31.3%	10.4%	0.0%	6.3%	4.2%	60.4%	0.0%	2.1%	6.3%	2.1%	0.0%
③ 30歳代	74	50	21	9	0	5	7	41	0	4	3	0	0
	100.0%	67.6%	28.4%	12.2%	0.0%	6.8%	9.5%	55.4%	0.0%	5.4%	4.1%	0.0%	0.0%
④ 40歳代	137	105	27	19	0	4	23	65	0	4	5	9	0
	100.0%	76.6%	19.7%	13.9%	0.0%	2.9%	16.8%	47.4%	0.0%	2.9%	3.6%	6.6%	0.0%
⑤ 50歳代	142	95	33	32	0	3	18	62	4	4	8	7	0
	100.0%	66.9%	23.2%	22.5%	0.0%	2.1%	12.7%	43.7%	2.8%	2.8%	5.6%	4.9%	0.0%
⑥ 60歳代	204	137	59	48	1	11	13	87	1	12	12	6	1
	100.0%	67.2%	28.9%	23.5%	0.5%	5.4%	6.4%	42.6%	0.5%	5.9%	5.9%	2.9%	0.5%
⑦ 70歳以上	426	280	151	80	2	34	25	118	12	43	35	15	8
	100.0%	65.7%	35.4%	18.8%	0.5%	8.0%	5.9%	27.7%	2.8%	10.1%	8.2%	3.5%	1.9%
無回答	17	8	2	2	2	0	0	5	2	6	2	0	2
	100.0%	47.1%	11.8%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	29.4%	11.8%	35.3%	11.8%	0.0%	11.8%
合計	1,085	731	317	197	6	61	88	429	19	79	70	38	11
	100.0%	67.4%	29.2%	18.2%	0.6%	5.6%	8.1%	39.5%	1.8%	7.3%	6.5%	3.5%	1.0%

○% 全体と比べて +10%以上
 ○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
 ○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「木材産業の盛んなまち」の構成比が4.9%高い13.0%、「山の辺の道があるまち」の構成比が3.2%低い14.9%となっています。

桜井東：全体に比べ、「歴史と文化財に囲まれたまち」の構成比が7.5%高い36.7%、「そうめん産業の盛んなまち」の構成比が8.9%低い30.7%となっています。

桜井西：全体に比べ、「大阪のベッドタウン」の構成比が5.4%高い11.9%、「山の辺の道があるまち」の構成比が5.4%低い12.8%となっています。

大三輪：全体に比べ、「山の辺の道があるまち」の構成比が13.2%高い31.4%、「歴史と文化財に囲まれたまち」の構成比が9.3%低い19.9%となっています。

	調査数	① 有名な神社やお寺のあるまち	② 歴史と文化財に囲まれたまち	③ 山の辺の道があるまち	④ 川の美しいまち	⑤ 田園風景の美しいまち	⑥ 木材産業の盛んなまち	⑦ そうめん産業の盛んなまち	⑧ 農産物の豊かなまち	⑨ 静かで人情味のあるまち	⑩ 大阪のベッドタウン	⑪ その他	無回答
桜井	462	315 68.2%	145 31.4%	69 14.9%	5 1.1%	18 3.9%	60 13.0%	170 36.8%	8 1.7%	36 7.8%	26 5.6%	20 4.3%	4 0.9%
桜井東	150	102 68.0%	55 36.7%	25 16.7%	0 0.0%	13 8.7%	7 4.7%	46 30.7%	4 2.7%	11 7.3%	8 5.3%	6 4.0%	1 0.7%
桜井西	227	146 64.3%	69 30.4%	29 12.8%	0 0.0%	17 7.5%	15 6.6%	98 43.2%	2 0.9%	18 7.9%	27 11.9%	4 1.8%	2 0.9%
大三輪	236	161 68.2%	47 19.9%	74 31.4%	1 0.4%	13 5.5%	5 2.1%	112 47.5%	5 2.1%	13 5.5%	8 3.4%	7 3.0%	2 0.8%
その他	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9	6 66.7%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%
合計	1,085	731 67.4%	317 29.2%	197 18.2%	6 0.6%	61 5.6%	88 8.1%	429 39.5%	19 1.8%	79 7.3%	70 6.5%	38 3.5%	11 1.0%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

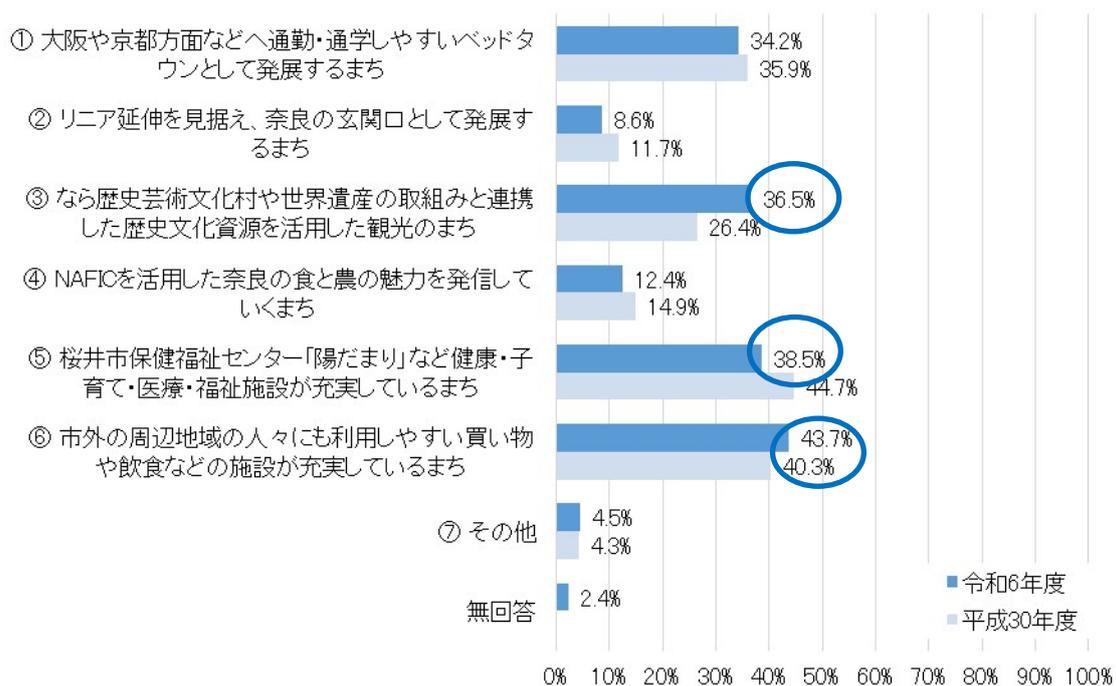
(2) 桜井市が将来に向けて目指すまちづくりは、どのような方向性がふさわしいと思いますか。
あなたのイメージに近いものを次の中からそれぞれ2つまで選んで番号に○をつけてください。

1) 広域的な視点からみた桜井市の姿

(1) 全体

本市の広域的な視点からみた桜井市の姿は、「市外の周辺地域の人々にも利用しやすい買い物や飲食などの施設が充実しているまち」が43.7%と最も高く、続いて「桜井市保健福祉センター「陽だまり」など健康・子育て・医療・福祉施設が充実しているまち」が38.5%、「なら歴史芸術文化村や世界遺産の取組みと連携した歴史文化資源を活用した観光のまち」が36.5%と高くなっています。

また、平成30年度調査と比べ、「なら歴史芸術文化村や世界遺産の取組みと連携した歴史文化資源を活用した観光のまち」が10.1%増加しており、「桜井市保健福祉センター「陽だまり」など健康・子育て・医療・福祉施設が充実しているまち」が6.2%減少しております。



(2) 年齢別

- 19歳まで：全体に比べ、「大阪や京都方面などへ通勤・通学しやすいベッドタウンとして発展するまち」の構成比が11.8%高い45.9%となっています。
- 20歳代：全体に比べ、「大阪や京都方面などへ通勤・通学しやすいベッドタウンとして発展するまち」の構成比が22.1%高い56.3%、「なら歴史芸術文化村や世界遺産の取組みと連携した歴史文化資源を活用した観光のまち」の構成比が13.6%低い22.9%となっています。
- 30歳代：全体に比べ、「桜井市保健福祉センター「陽だまり」など健康・子育て・医療・福祉施設が充実しているまち」の構成比が14.2%高い52.7%となっています。
- 40歳代：全体に比べ、「市外の周辺地域の人々にも利用しやすい買い物や飲食などの施設が充実しているまち」の構成比が8.1%高い51.8%、「NAFICを活用した奈良の食と農の魅力を発信していくまち」の構成比が3.0%低い9.5%となっています。
- 50歳代：全体に比べ、「NAFICを活用した奈良の食と農の魅力を発信していくまち」の構成比が3.1%高い15.5%、「桜井市保健福祉センター「陽だまり」など健康・子育て・医療・福祉施設が充実しているまち」の構成比が8.9%低い29.6%となっています。
- 60歳代：全体に比べ、「NAFICを活用した奈良の食と農の魅力を発信していくまち」の構成比が6.7%高い19.1%、「大阪や京都方面などへ通勤・通学しやすいベッドタウンとして発展するまち」の構成比が5.8%低い28.4%となっています。
- 70歳以上：全体に比べ、「なら歴史芸術文化村や世界遺産の取組みと連携した歴史文化資源を活用した観光のまち」の構成比が4.1%高い40.6%、「市外の周辺地域の人々にも利用しやすい買い物や飲食などの施設が充実しているまち」の構成比が4.5%低い39.2%となっています。

	調査数	① 大阪や京都方面などへ通勤・通学しやすいベッドタウンとして発展するまち	② リニア延伸を見据え、奈良の玄関口として発展するまち	③ なら歴史芸術文化村や世界遺産の取組みと連携した歴史文化資源を活用した観光のまち	④ NAFICを活用した奈良の食と農の魅力を発信していくまち	⑤ 桜井市保健福祉センター「陽だまり」など健康・子育て・医療・福祉施設が充実しているまち	⑥ 市外の周辺地域の人々にも利用しやすい買い物や飲食などの施設が充実しているまち	⑦ その他	無回答
① 19歳まで	37 100.0%	17 45.9%	2 5.4%	13 35.1%	2 5.4%	12 32.4%	19 51.4%	2 5.4%	0 0.0%
② 20歳代	48 100.0%	27 56.3%	5 10.4%	11 22.9%	4 8.3%	19 39.6%	22 45.8%	0 0.0%	0 0.0%
③ 30歳代	74 100.0%	24 32.4%	5 6.8%	25 33.8%	6 8.1%	39 52.7%	34 45.9%	3 4.1%	1 1.4%
④ 40歳代	137 100.0%	43 31.4%	16 11.7%	48 35.0%	13 9.5%	50 36.5%	71 51.8%	9 6.6%	1 0.7%
⑤ 50歳代	142 100.0%	49 34.5%	13 9.2%	48 33.8%	22 15.5%	42 29.6%	66 46.5%	8 5.6%	2 1.4%
⑥ 60歳代	204 100.0%	58 28.4%	15 7.4%	74 36.3%	39 19.1%	82 40.2%	91 44.6%	9 4.4%	3 1.5%
⑦ 70歳以上	426 100.0%	151 35.4%	36 8.5%	173 40.6%	49 11.5%	163 38.3%	167 39.2%	17 4.0%	15 3.5%
無回答	17 100.0%	2 11.8%	1 5.9%	4 23.5%	0 0.0%	11 64.7%	4 23.5%	1 5.9%	4 23.5%
合計	1,085 100.0%	371 34.2%	93 8.6%	396 36.5%	135 12.4%	418 38.5%	474 43.7%	49 4.5%	26 2.4%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「大阪や京都方面などへ通勤・通学しやすいベッドタウンとして発展するまち」の構成比が2.2%高い36.4%、「市外の周辺地域の人々にも利用しやすい買い物や飲食などの施設が充実しているまち」の構成比が2.2%高い45.9%、「なら歴史芸術文化村や世界遺産の取組みと連携した歴史文化資源を活用した観光のまち」の構成比が2.3%低い34.2%となっています。

桜井東：全体に比べ、「NAFICを活用した奈良の食と農の魅力を発信していくまち」の構成比が2.2%高い14.7%、「大阪や京都方面などへ通勤・通学しやすいベッドタウンとして発展するまち」の構成比が6.2%低い28.0%となっています。

桜井西：全体に比べ、「大阪や京都方面などへ通勤・通学しやすいベッドタウンとして発展するまち」の構成比が4.1%高い38.3%、「なら歴史芸術文化村や世界遺産の取組みと連携した歴史文化資源を活用した観光のまち」の構成比が2.1%低い34.4%となっています。

大三輪：全体に比べ、「なら歴史芸術文化村や世界遺産の取組みと連携した歴史文化資源を活用した観光のまち」の構成比が5.9%高い42.4%、「市外の周辺地域の人々にも利用しやすい買い物や飲食などの施設が充実しているまち」の構成比が4.7%低い39.0%となっています。

	調査数	① 大阪や京都方面などへ通勤・通学しやすいベッドタウンとして発展するまち	② リニア延伸を見据え、奈良の玄関口として発展するまち	③ なら歴史芸術文化村や世界遺産の取組みと連携した歴史文化資源を活用した観光のまち	④ NAFICを活用した奈良の食と農の魅力を発信していくまち	⑤ 桜井市保健福祉センター「陽だまり」など健康・子育て・医療・福祉施設が充実しているまち	⑥ 市外の周辺地域の人々にも利用しやすい買い物や飲食などの施設が充実しているまち	⑦ その他	無回答
桜井	462 100.0%	168 36.4%	43 9.3%	158 34.2%	55 11.9%	173 37.4%	212 45.9%	20 4.3%	7 1.5%
桜井東	150 100.0%	42 28.0%	12 8.0%	57 38.0%	22 14.7%	59 39.3%	63 42.0%	6 4.0%	6 4.0%
桜井西	227 100.0%	87 38.3%	24 10.6%	78 34.4%	24 10.6%	87 38.3%	103 45.4%	7 3.1%	5 2.2%
大三輪	236 100.0%	73 30.9%	13 5.5%	100 42.4%	34 14.4%	94 39.8%	92 39.0%	15 6.4%	6 2.5%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	4 44.4%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%
合計	1,085 100.0%	371 34.2%	93 8.6%	396 36.5%	135 12.4%	418 38.5%	474 43.7%	49 4.5%	26 2.4%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

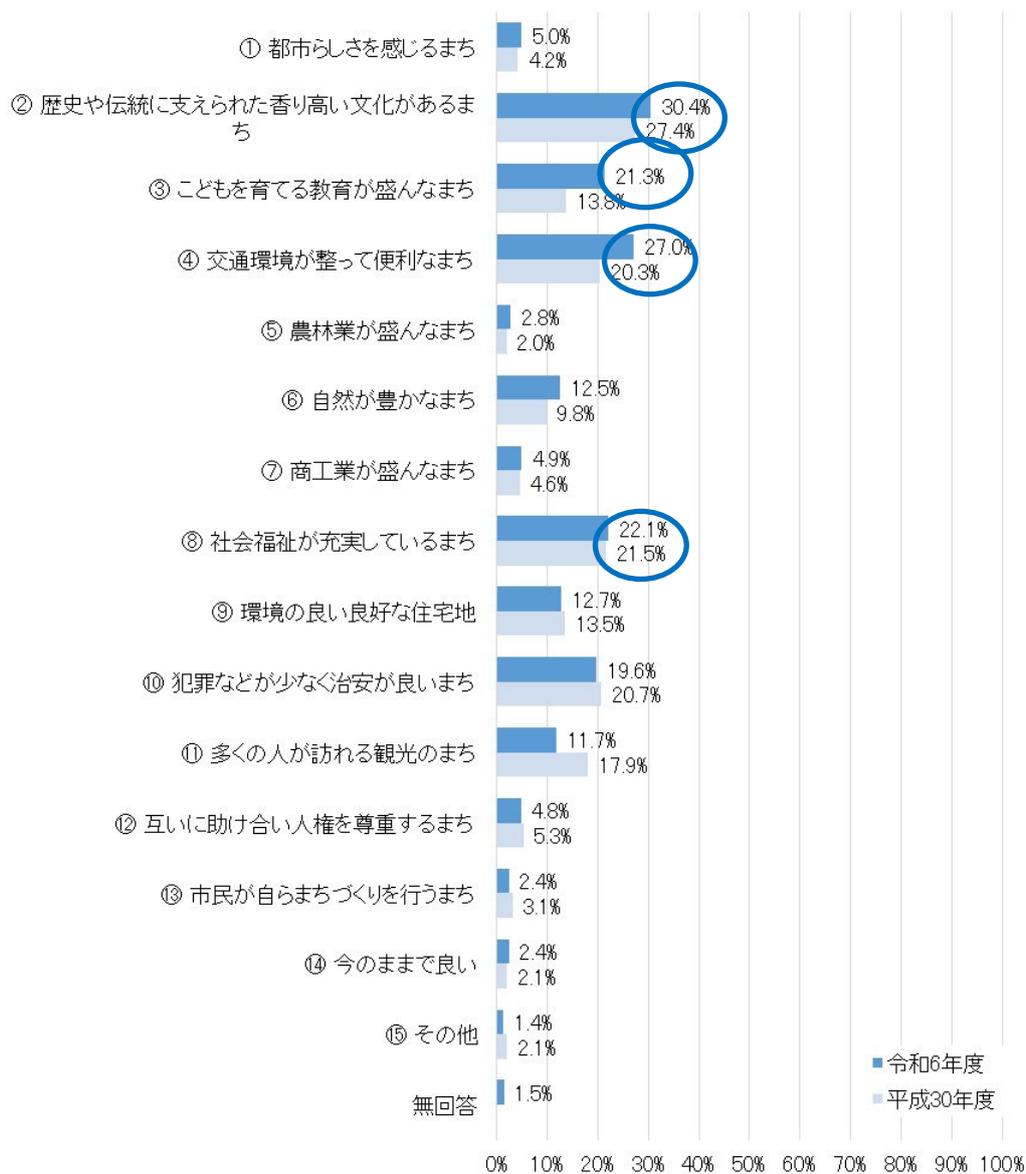
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

2) 桜井市がめざすべきまちの姿

(1) 全体

本市がめざすべきまちの姿は、「歴史や伝統に支えられた香り高い文化があるまち」が30.4%と最も高く、続いて「交通環境が整って便利なまち」が27.0%、「社会福祉が充実しているまち」が22.1%、「子どもを育てる教育が盛んなまち」が21.3%と高くなっています。

また、平成30年度調査と比べ、「子どもを育てる教育が盛んなまち」が7.5%、「交通環境が整って便利なまち」が6.7%増加しており、「多くの人が訪れる観光のまち」が6.2%減少しております。



(2) 年齢別

- 19歳まで：全体に比べ、「都市らしさを感じるまち」の構成比が19.3%高い24.3%、「社会福祉が充実しているまち」の構成比が19.4%低い2.7%となっています。
- 20歳代：全体に比べ、「交通環境が整って便利なまち」の構成比が18.8%高い45.8%、「自然が豊かなまち」の構成比が6.3%低い6.3%となっています。
- 30歳代：全体に比べ、「子どもを育てる教育が盛んなまち」の構成比が20.6%高い41.9%、「交通環境が整って便利なまち」の構成比が9.4%低い17.6%となっています。
- 40歳代：全体に比べ、「子どもを育てる教育が盛んなまち」の構成比が10.8%高い32.1%、「社会福祉が充実しているまち」の構成比が7.5%低い14.6%となっています。
- 50歳代：全体に比べ、「歴史や伝統に支えられた香り高い文化があるまち」の構成比が3.4%高い33.8%、「社会福祉が充実しているまち」の構成比が5.2%低い16.9%となっています。
- 60歳代：全体に比べ、「社会福祉が充実しているまち」の構成比が8.3%高い30.4%、「子どもを育てる教育が盛んなまち」の構成比が3.2%低い18.1%となっています。
- 70歳以上：全体に比べ、「自然が豊かなまち」の構成比が4.8%高い17.4%、「子どもを育てる教育が盛んなまち」の構成比が8.8%低い12.4%となっています。

	調査数	① 都市らしさを感じるまち	② 歴史や伝統に支えられた香り高い文化があるまち	③ 子どもを育てる教育が盛んなまち	④ 交通環境が整って便利なまち	⑤ 農林業が盛んなまち	⑥ 自然が豊かなまち	⑦ 商工業が盛んなまち	⑧ 社会福祉が充実しているまち	⑨ 環境の良い良好な住宅地	⑩ 犯罪などが少なく治安が良いまち	⑪ 多くの人が訪れる観光のまち	⑫ 互いに助け合い人権を尊重するまち	⑬ 市民が自らまちづくりを行うまち	⑭ 今のままで良い	⑮ その他	無回答
① 19歳まで	37	24.3%	24.3%	29.7%	37.8%	0.0%	10.8%	0.0%	2.7%	16.2%	13.5%	10.8%	5.4%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%
② 20歳代	48	4.2%	27.1%	33.3%	45.8%	2.1%	6.3%	6.3%	18.8%	8.3%	22.9%	10.4%	2.1%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
③ 30歳代	74	5.4%	21.6%	41.9%	17.6%	1.4%	14.9%	6.8%	16.2%	13.5%	23.0%	12.2%	4.1%	2.7%	1.4%	1.4%	0.0%
④ 40歳代	137	5.1%	35.0%	32.1%	28.5%	2.2%	5.1%	7.3%	14.6%	16.1%	20.4%	13.9%	0.7%	0.7%	1.5%	1.5%	0.7%
⑤ 50歳代	142	3.5%	33.8%	24.6%	28.9%	5.6%	8.5%	4.2%	16.9%	13.4%	22.5%	12.0%	2.1%	2.1%	1.4%	2.8%	0.0%
⑥ 60歳代	204	3.9%	31.9%	18.1%	26.5%	2.0%	11.8%	4.9%	30.4%	12.3%	19.6%	10.3%	5.4%	2.5%	2.9%	1.5%	1.0%
⑦ 70歳以上	426	4.2%	30.3%	12.4%	25.4%	2.8%	17.4%	4.5%	25.4%	12.0%	18.5%	11.5%	7.0%	3.5%	2.8%	1.2%	2.3%
無回答	17	1.0%	5.9%	11.8%	23.5%	11.8%	5.9%	0.0%	23.5%	5.9%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	17.6%
合計	1,085	5.0%	30.4%	21.3%	27.0%	2.8%	12.5%	4.9%	22.1%	13.8%	21.3%	12.7%	4.8%	2.4%	2.4%	1.4%	1.5%

○% 全体と比べて +10%以上
 ○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
 ○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「社会福祉が充実しているまち」の構成比が 2.1%高い 24.2%、「環境の良い良好な住宅地」の構成比が 1.7%低い 11.0%となっています。

桜井東：全体に比べ、「交通環境が整って便利なまち」の構成比が 9.0%高い 36.0%、「都市らしさを感じるまち」の構成比が 3.6%低い 1.3%となっています。

桜井西：全体に比べ、「環境の良い良好な住宅地」の構成比が 2.7%高い 15.4%、「自然が豊かなまち」の構成比が 3.3%低い 9.3%となっています。

大三輪：全体に比べ、「自然が豊かなまち」の構成比が 3.6%高い 16.1%、「交通環境が整って便利なまち」の構成比が 3.7%低い 23.3%となっています。

	調査数	① 都市らしさを感じるまち	② 歴史や伝統に支えられた香り高い文化があるまち	③ こどもを育てる教育が盛んなまち	④ 交通環境が整って便利なまち	⑤ 農林業が盛んなまち	⑥ 自然が豊かなまち	⑦ 商工業が盛んなまち	⑧ 社会福祉が充実しているまち	⑨ 環境の良い良好な住宅地	⑩ 犯罪などが少なく治安が良いまち	⑪ 多くの人が訪れる観光のまち	⑫ 互いに助け合い人権を尊重するまち	⑬ 市民が自らまちづくりを行うまち	⑭ 今のままで良い	⑮ その他	無回答
桜井	462	28 6.1%	133 28.8%	96 20.8%	125 27.1%	15 3.2%	59 12.8%	22 4.8%	112 24.2%	51 11.0%	91 19.7%	51 11.0%	28 6.1%	10 2.2%	11 2.4%	7 1.5%	4 0.9%
桜井東	150	2 1.3%	45 30.0%	28 18.7%	54 36.0%	2 1.3%	18 12.0%	5 3.3%	33 22.0%	22 14.7%	32 21.3%	15 10.0%	7 4.7%	5 3.3%	1 0.7%	3 2.0%	2 1.3%
桜井西	227	11 4.8%	70 30.8%	52 22.9%	58 25.6%	7 3.1%	21 9.3%	14 6.2%	48 21.1%	35 15.4%	46 20.3%	31 13.7%	6 2.6%	5 2.2%	7 3.1%	2 0.9%	3 1.3%
大三輪	236	11 4.7%	90 33.9%	53 22.5%	55 23.3%	5 2.1%	38 16.1%	12 5.1%	46 19.5%	29 12.3%	44 18.6%	27 11.4%	10 4.2%	6 2.5%	6 2.5%	3 1.3%	5 2.1%
その他	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%
合計	1,085	54 5.0%	330 30.4%	231 21.3%	293 27.0%	30 2.8%	136 12.5%	53 4.9%	240 22.1%	138 12.7%	213 19.6%	127 11.7%	52 4.8%	26 2.4%	26 2.4%	15 1.4%	16 1.5%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

2.4 本市における生活の状態(生活像)について

問4 桜井市の現状と今後の施策に関するご意見をお聞きします。

- (1) あなたは、次のそれぞれの項目について、現状がどのくらい充足し、今後取組むことがどのくらい重要だとお考えですか。項目ごとの現在の達成度（実現しているかどうか）と今後の重要度について、あなたのお考えに最も近い番号を「1～5」の中からそれぞれ1つ選んで、番号に○をつけてください。

本市における47項目の生活の状態（生活像）が達成されているか、またそれはどれくらい重要かについて調査した結果です。

ここでは、以下の構成で説明します。

1) 生活像の達成度

47項目の生活像についての「達成度」の評価結果として、「回答の構成比」と「達成度指数」を示します。

「達成度指数」とは、47の生活像の達成状況を比べられるように、それぞれの生活像の達成度を点数化（指数化）したものです。点数の計算方法は以下に示すとおりです。

「達成している」を5点、「どちらかといえば達成している」を4点、「ふつう」を3点、「あまり達成できていない」を2点、「達成できていない」を1点とし、各回答数を乗じたものを合計し、総回答数（無回答を除く）で除する

2) 生活像の重要度

47項目の生活像についての「重要度」の評価結果として、「回答の構成比」と「重要度指数」を示します。

「重要度指数」とは、47の生活像の重要度を比べられるように、それぞれの生活像の重要度を点数化（指数化）したものです。点数の計算方法は以下に示すとおりです。

「重要である」を5点、「やや重要である」を4点、「ふつう」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点とし、各回答数を乗じたものを合計し、総回答数（無回答を除く）で除する

3) ポートフォリオ分析

ポートフォリオ分析とは、アンケートでうかがった47の生活像について「重要度指数」や「達成度指数」をもとに散布図に表すことで、それぞれの生活像の実現に向けた取組みの方向性や必要性、優先度などを分析するものです。

1) 生活像の達成度

(1) 達成度の回答構成比

「達成度指数」の上位3位は、「いつでも、安全でおいしい水が飲める」(3.56)、「消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている」(3.55)、「市民は、自然災害による影響が少なく快適で安心な環境で暮らしている」(3.45)と続いています。

一方「達成度指数」の下位3位は、「人が集まりにぎわい、商店街が活気にあふれている」(1.64)、「空き家の利活用が進み、移住してきた方の受け皿となっている」(2.22)、「地場産業とともに新たな産業が根付き、他の産業とも連携した地域の産業の振興が図られ、人材が確保されている」(2.26)と続いています。

NO	設問内容	達成度指数
37	いつでも、安全でおいしい水が飲める	3.56
43	消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている	3.55
39	市民は、自然災害による影響が少なく快適で安心な環境で暮らしている	3.45
38	水質汚濁が防止され、市民は衛生的な生活を送っている	3.42
42	犯罪がなく、こどもから大人まで安心して生活できる	3.24
13	市民自らが健康に関心を持ち、自己の健康維持に努め、健康で長生きしている	3.21
22	こどもたち一人一人が、安心・安全で充実した学校教育が受けられる	3.19
21	市民が、その人にあった適切な医療を受けられる	3.15
26	文化財等が、適切に保存され、歴史を学ぶ市民の財産として活用されている	3.15
41	交通事故防止の取り組みが充実し、市民が安全に生活している	3.05
20	未就学年齢児が、それぞれのこどもにあった保育・教育が受けられる	3.01
5	市民は行政事務の改善と効率化及び適正な職員の対応により、早く行政サービスを受けている	2.95
27	人権を尊重し、一人一人の立場や価値観を認め合って生活している	2.94
40	自然及び人為的災害に対する施設や情報、活動体制が充実している	2.94
14	市民が地域のなかでともに支え合って安心して暮らしている	2.93
19	子育てに関する相談や支援が受けられ、安心して子育てができる	2.93
33	市民はそれぞれの暮らしに必要な住環境のもと、安心して快適に生活している	2.90
34	市民は自分のまちの良さを自覚しており、良好な景観が守られている	2.90
15	障がいを持つ人が安心して、地域とともに生活している	2.85
24	市民がスポーツに積極的に参加し、生きがいを持って暮らしている	2.79
6	市民や行政が多様な情報手段を有効に活用し、情報の受発信を積極的に行っている	2.78

NO	設問内容	達成度 指数
30	市・市民・事業者・滞在者が協働し、廃棄物やエネルギーなどの資源が無駄なく活用されている	2.78
1	市民・事業者・市役所が協力し合ってより良い地域づくりに取り組んでいる	2.78
35	日常的にみどりとふれあい、屋外で余暇を楽しんでいる	2.76
46	中山間地域で誰もが安心・安全に暮らしている	2.76
18	高齢者が健康面でも精神面でも安心して暮らしている	2.75
23	生涯を通して様々な学習機会が用意されており、そこで得た学習成果をまちづくりの活動に活かしている	2.74
4	市民は、公平な負担のもとに税金が適切に活用されることにより、必要な行政サービスを受けている	2.73
28	多様な交流が行われ相互理解がなされた中で市民が暮らしている	2.73
29	市民一人一人に環境を守る意識が浸透している	2.73
2	市民が協力しあいながら、積極的に地域の活動に取り組み、活気のあるまちづくり活動をしている	2.73
16	誰もが各自の能力を活かしながら、経済的にも精神的にも自立して生活している	2.70
7	周辺市町村と連携し、効率的な行政活動が行われている	2.68
25	青少年が地域のなかでいきいきと学び、活動している	2.64
3	市民にとって最適な行政経営が行われ、社会情勢の変化や地域課題に柔軟に対応している	2.64
8	市民が桜井市の歴史・食・文化を理解し、その魅力を発信することで、来訪者は観光しながら地域との交流を楽しんでいる	2.62
36	適正な土地利用がなされ、暮らしの環境も自然環境も良好に保たれている	2.61
45	中心市街地と地域拠点が相互に補完しあうコンパクトな都市が形成されている	2.59
12	市民が良好な労働環境を得て、安心して働くことができる	2.54
44	大都市圏から「U・I・Jターン」など移住・定住してきている	2.52
31	道路の環境整備が行き届き誰もがどんな状況においても移動に問題がない	2.52
17	老後も無理なく社会参加しながら、経済的な不安を感じることなく暮らしている	2.51
9	農林業がいきいきと営まれ、新たな魅力（ブランド）が生まれ、職業として選択できる魅力ある農業が実現されている	2.31
32	公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる	2.31
10	地場産業とともに新たな産業が根付き、他の産業とも連携した地域の産業の振興が図られ、人材が確保されている	2.26
47	空き家の利活用が進み、移住してきた方の受け皿となっている	2.22
11	人が集まりにぎわい、商店街が活気にあふれている	1.64

2) 生活像の重要度

「重要度指数」の上位3位は、「いつでも、安全でおいしい水が飲める」「こどもたち一人一人が、安心・安全で充実した学校教育が受けられる」(4.36)が同位1位で並び、続いて「公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる」(4.35)と続いています。

一方「重要度指数」の下位3位は、「大都市圏から「U・I・Jターン」など移住・定住してきている」(3.62)、「市民がスポーツに積極的に参加し、生きがいを持って暮らしている」(3.66)、「日常的にみどりとふれあい、屋外で余暇を楽しんでいる」(3.69)と続いています。

NO	設問内容	重要度指数
37	いつでも、安全でおいしい水が飲める	4.36
22	こどもたち一人一人が、安心・安全で充実した学校教育が受けられる	4.36
32	公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる	4.35
42	犯罪がなく、こどもから大人まで安心して生活できる	4.34
43	消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている	4.34
21	市民が、その人にあった適切な医療を受けられる	4.34
39	市民は、自然災害による影響が少なく快適で安心な環境で暮らしている	4.33
31	道路の環境整備が行き届き誰もがどんな状況においても移動に問題がない	4.31
38	水質汚濁が防止され、市民は衛生的な生活を送っている	4.29
4	市民は、公平な負担のもとに税金が適切に活用されることにより、必要な行政サービスを受けている	4.29
17	老後も無理なく社会参加しながら、経済的な不安を感じることなく暮らしている	4.25
40	自然及び人為的災害に対する施設や情報、活動体制が充実している	4.24
19	子育てに関する相談や支援が受けられ、安心して子育てができる	4.24
18	高齢者が健康面でも精神面でも安心して暮らしている	4.22
20	未就学年齢児が、それぞれのこどもにあった保育・教育が受けられる	4.21
12	市民が良好な労働環境を得て、安心して働くことができる	4.20
1	市民・事業者・市役所が協力し合ってより良い地域づくりに取り組んでいる	4.17
29	市民一人一人に環境を守る意識が浸透している	4.15
30	市・市民・事業者・滞在者が協働し、廃棄物やエネルギーなどの資源が無駄なく活用されている	4.13
3	市民にとって最適な行政経営が行われ、社会情勢の変化や地域課題に柔軟に対応している	4.13
33	市民はそれぞれの暮らしに必要な住環境のもと、安心して快適に生活してい	4.12

NO	設問内容	重要度 指数
	る	
41	交通事故防止の取り組みが充実し、市民が安全に生活している	4.10
15	障がいを持つ人が安心して、地域でともに生活している	4.08
5	市民は行政事務の改善と効率化及び適正な職員の対応により、快く行政サービスを受けている	4.08
16	誰もが各自の能力を活かしながら、経済的にも精神的にも自立して生活している	4.04
11	人が集まりにぎわい、商店街が活気にあふれている	4.04
13	市民自らが健康に関心を持ち、自己の健康維持に努め、健康で長生きしている	4.04
10	地場産業とともに新たな産業が根付き、他の産業とも連携した地域の産業の振興が図られ、人材が確保されている	4.03
6	市民や行政が多様な情報手段を有効に活用し、情報の受発信を積極的に行っている	3.97
2	市民が協力しあいながら、積極的に地域の活動に取り組み、活気のあるまちづくり活動をしている	3.95
23	生涯を通して様々な学習機会が用意されており、そこで得た学習成果をまちづくりの活動に活かしている	3.95
27	人権を尊重し、一人一人の立場や価値観を認め合って生活している	3.94
26	文化財等が、適切に保存され、歴史を学ぶ市民の財産として活用されている	3.93
8	市民が桜井市の歴史・食・文化を理解し、その魅力を発信することで、来訪者は観光しながら地域との交流を楽しんでいる	3.91
14	市民が地域のなかでともに支え合って安心してくらしている	3.91
7	周辺市町村と連携し、効率的な行政活動が行われている	3.90
36	適正な土地利用がなされ、暮らしの環境も自然環境も良好に保たれている	3.89
34	市民は自分のまちの良さを自覚しており、良好な景観が守られている	3.89
25	青少年が地域のなかでいきいきと学び、活動している	3.89
9	農林業がいきいきと営まれ、新たな魅力（ブランド）が生まれ、職業として選択できる魅力ある農業が実現されている	3.88
46	中山間地域で誰もが安心・安全に暮らしている	3.82
47	空き家の利活用が進み、移住してきた方の受け皿となっている	3.79
28	多様な交流が行われ相互理解がなされた中で市民が暮らしている	3.76
45	中心市街地と地域拠点が相互に補完しあうコンパクトな都市が形成されている	3.72
35	日常的にみどりとふれあい、屋外で余暇を楽しんでいる	3.69
24	市民がスポーツに積極的に参加し、生きがいを持って暮らしている	3.66
44	大都市圏から「U・I・Jターン」など移住・定住してきている	3.62

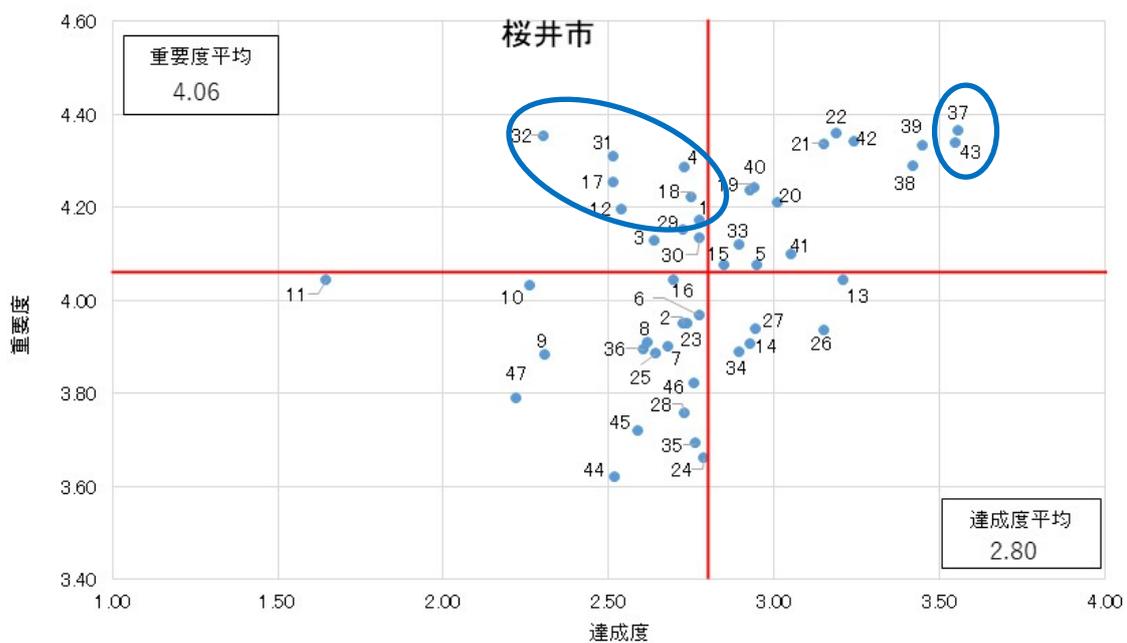
3) ポートフォリオ分析

(1) 全体

生活像の達成度と重要度ともに高い評価となったのは、「37 いつでも、安全でおいしい水が飲める」「43 消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている」です。

逆に、重要度が高いものの達成度が低くなったもの上位7つは、重要度が高い順に、以下の項目となっています。

- ・「32 公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる」
- ・「31 道路の環境整備が行き届き誰もがどんな状況においても移動に問題がない」
- ・「4 市民は、公平な負担のもとに税金が適切に活用されることにより、必要な行政サービスを受けている」
- ・「17 老後も無理なく社会参加しながら、経済的な不安を感じることなく暮らしている」
- ・「18 高齢者が健康面でも精神面でも安心して暮らしている」
- ・「12 市民が良好な労働環境を得て、安心して働くことができる」
- ・「1 市民・事業者・市役所が協力し合ってより良い地域づくりに取り組んでいる」



1.地域経営 について	1 市民・事業者・市役所が協力し合ってより良い地域づくりに取り組んでいる
	2 市民が協力しあいながら、積極的に地域の活動に取り組み、活気のあるまちづくり活動をしている
	3 市民にとって最適な行政経営が行われ、社会情勢の変化や地域課題に柔軟に対応している
	4 市民は、公平な負担のもとに税金が適切に活用されることにより、必要な行政サービスを受けている
	5 市民は行政事務の改善と効率化及び適正な職員の対応により、早く行政サービスを受けている
	6 市民や行政が多様な情報手段を有効に活用し、情報の受発信を積極的に行っている
	7 周辺市町村と連携し、効率的な行政活動が行われている
2.産業 について	8 市民が桜井市の歴史・食・文化を理解し、その魅力を発信することで、来訪者は観光しながら地域との交流を楽しんでいる
	9 農林業がいきいきと営まれ、新たな魅力（ブランド）が生まれ、職業として選択できる魅力ある農業が実現されている
	10 地場産業とともに新たな産業が根付き、他の産業とも連携した地域の産業の振興が図られ、人材が確保されている
	11 人が集まりにぎわい、商店街が活気にあふれている
	12 市民が良好な労働環境を得て、安心して働くことができる
3.健康・福祉 について	13 市民自らが健康に関心を持ち、自己の健康維持に努め、健康で長生きしている
	14 市民が地域のなかでともに支え合って安心してくらしている
	15 障がいを持つ人が安心して、地域とともに生活している
	16 誰もが各自の能力を活かしながら、経済的にも精神的にも自立して生活している
	17 老後も無理なく社会参加しながら、経済的な不安を感じることなく暮らしている
	18 高齢者が健康面でも精神面でも安心して暮らしている
	19 子育てに関する相談や支援が受けられ、安心して子育てが出来る
	20 未就学年齢児が、それぞれのこどもにあった保育・教育が受けられる
	21 市民が、その人にあった適切な医療を受けられる
	22 こどもたち一人一人が、安心・安全で充実した学校教育が受けられる
4.教育・ 生涯学習・ 交流について	23 生涯を通して様々な学習機会が用意されており、そこで得た学習成果をまちづくりの活動に活かしている
	24 市民がスポーツに積極的に参加し、生きがいを持って暮らしている
	25 青少年が地域のなかでいきいきと学び、活動している
	26 文化財等が、適切に保存され、歴史を学ぶ市民の財産として活用されている
	27 人権を尊重し、一人一人の立場や価値観を認め合って生活している
	28 多様な交流が行われ相互理解がなされた中で市民が暮らしている
	29 市民一人一人に環境を守る意識が浸透している
	30 市・市民・事業者・滞在者が協働し、廃棄物やエネルギーなどの資源が無駄なく活用されている
5.環境 について	31 道路の環境整備が行き届き誰もがどんな状況においても移動に問題がない
	32 公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる
	33 市民はそれぞれの暮らしに必要な住環境のもと、安心して快適に生活している
	34 市民は自分のまちの良さを自覚しており、良好な景観が守られている
	35 日常的にみどりとふれあい、屋外で余暇を楽しんでいる
	36 適正な土地利用がなされ、暮らしの環境も自然環境も良好に保たれている
	37 いつでも、安全でおいしい水が飲める
	38 水質汚濁が防止され、市民は衛生的な生活を送っている
	39 市民は、自然災害による影響が少なく快適で安心な環境で暮らしている
	40 自然及び人為的災害に対する施設や情報、活動体制が充実している
	41 交通事故防止の取り組みが充実し、市民が安全に生活している
	42 犯罪がなく、こどもから大人まで安心して生活できる
	43 消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている
	44 大都市圏から「U・I・Jターン」など移住・定住してきている
	45 中心市街地と地域拠点が相互に補完しあうコンパクトな都市が形成されている
	46 中山間地域で誰もが安心・安全に暮らしている
	47 空き家の利活用が進み、移住してきた方の受け皿となっている
	6.生活・都市 について

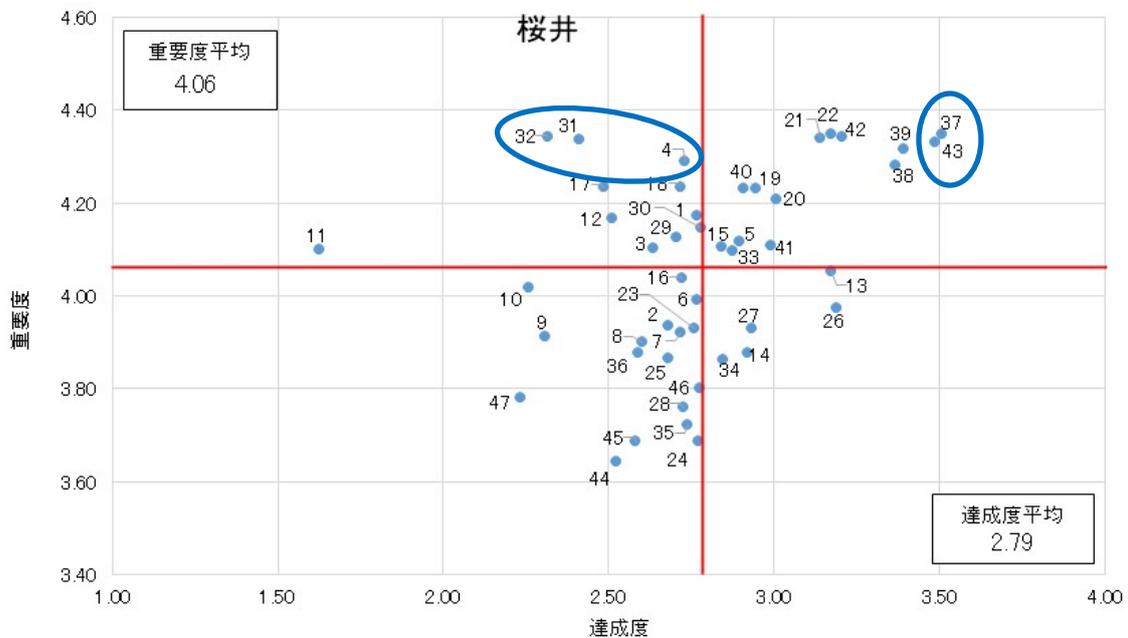
(2) 中学校区別

a) 桜井中学校区

桜井中学校区で、生活像の達成度と重要度ともに高い評価となったのは、全体と同様に「37 いつでも、安全でおいしい水が飲める」「43 消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている」です。

逆に、重要度が高いものの達成度が低くなったもの上位3つは、重要度が高い順に、全体と同様に以下の項目となっています。

- ・「32 公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる」
- ・「31 道路の環境整備が行き届き誰もがどんな状況においても移動に問題がない」
- ・「4 市民は、公平な負担のもとに税金が適切に活用されることにより、必要な行政サービスを受けている」

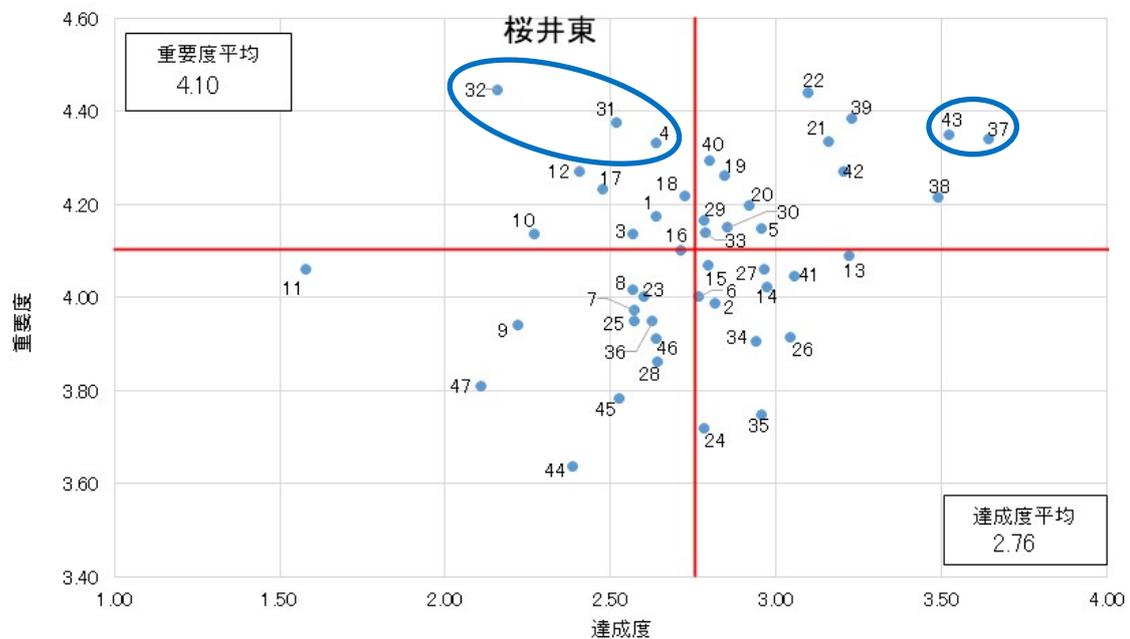


b) 桜井東中学校区

桜井東中学校区で、生活像の達成度と重要度ともに高い評価となったのは、全体と同様に「37 いつでも、安全でおいしい水が飲める」「43 消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている」です。

逆に、重要度が高いものの達成度が低くなったもの上位3つは、重要度が高い順に、全体と同様に以下の項目となっています。

- ・「32 公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる」
- ・「31 道路の環境整備が行き届き誰もがどんな状況においても移動に問題がない」
- ・「4 市民は、公平な負担のもとに税金が適切に活用されることにより、必要な行政サービスを受けている」

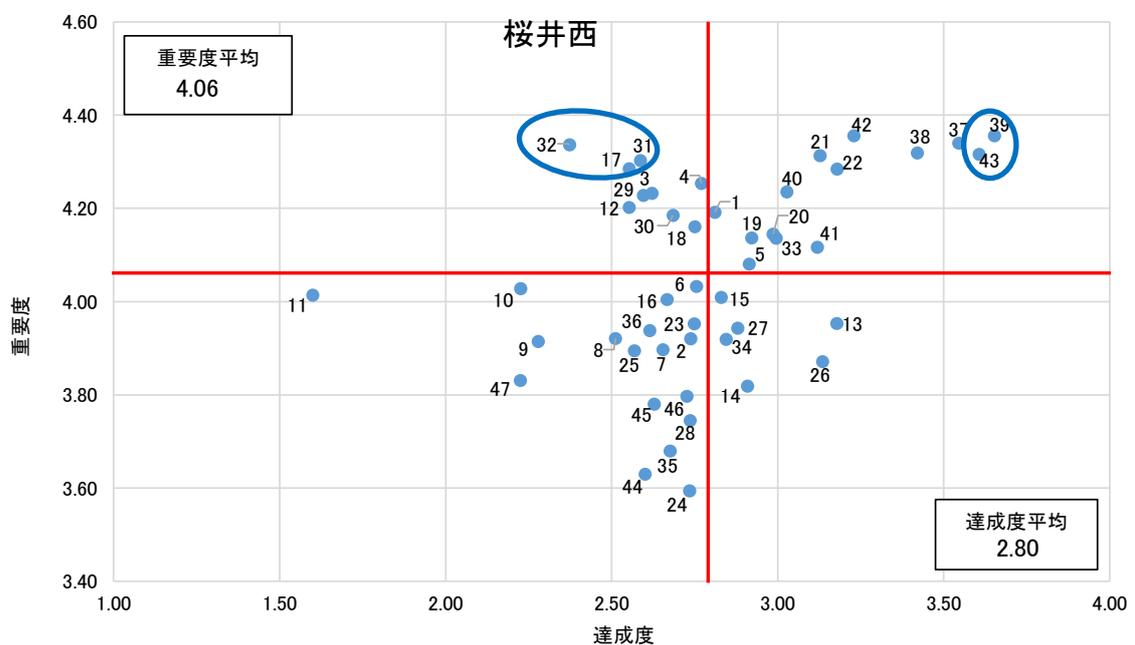


c) 桜井西中学校区

桜井西中学校区で、生活像の達成度と重要度ともに高い評価となったのは、「39 市民は、自然災害による影響が少なく快適で安心な環境で暮らしている」「43 消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている」です。

逆に、重要度が高いものの達成度が低くなったもの上位3つは、重要度が高い順に、以下の項目となっています。

- ・「32 公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる」
- ・「31 道路の環境整備が行き届き誰もがどんな状況においても移動に問題がない」
- ・「17 老後も無理なく社会参加しながら、経済的な不安を感じることなく暮らしている」

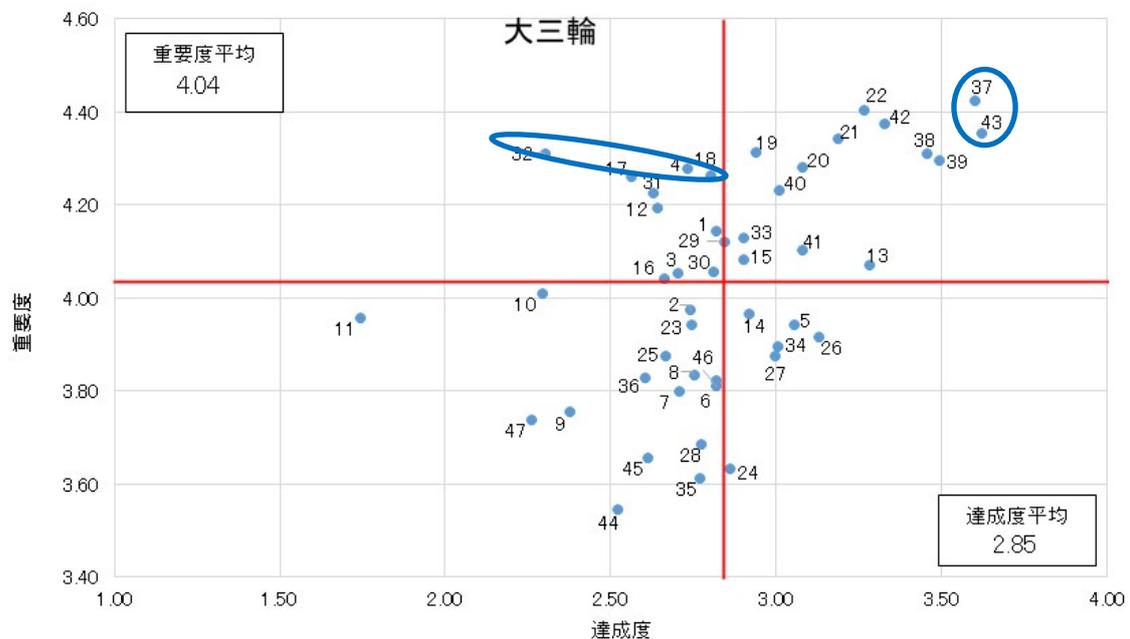


d) 大三輪中学校区

大三輪中学校区で、生活像の達成度と重要度ともに高い評価となったのは、全体と同様に「37 いつでも、安全でおいしい水が飲める」「43 消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている」です。

逆に、重要度が高いものの達成度が低くなったもの上位3つは、重要度が高い順に、以下の項目となっています。

- ・「32 公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる」
- ・「4 市民は、公平な負担のもとに税金が適切に活用されることにより、必要な行政サービスを受けている」
- ・「18 高齢者が健康面でも精神面でも安心して暮らしている」



2.5 これからのまちづくりについて

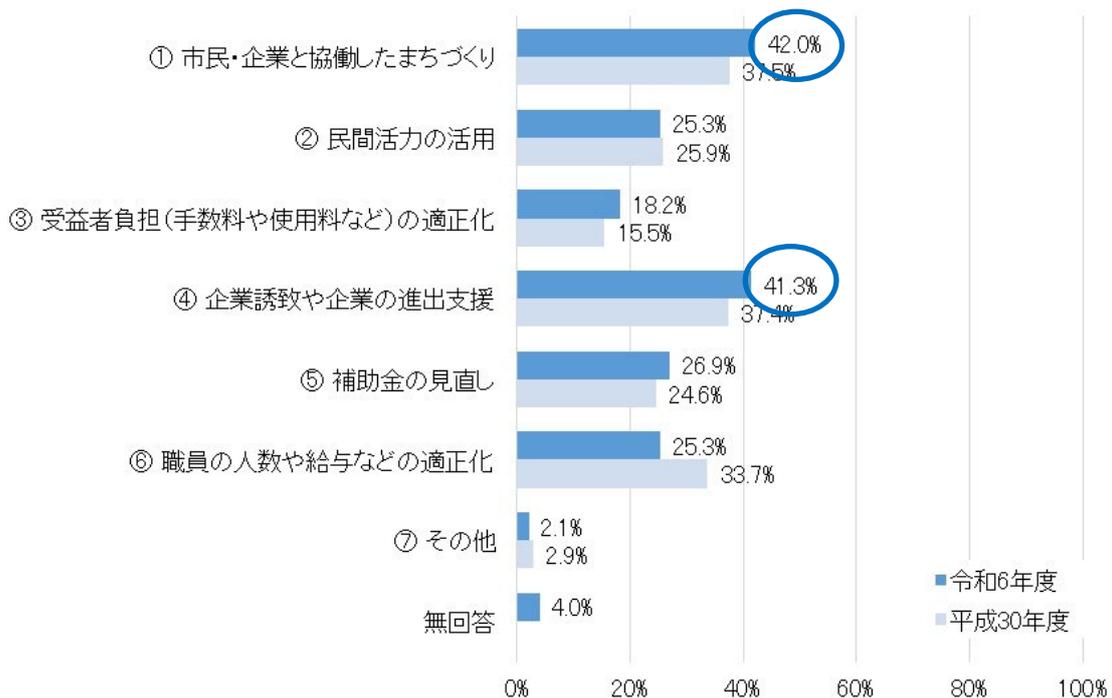
問5 これからのまちづくりについてお聞きします。

(1) 桜井市では、「行財政改革アクションプラン」に基づき、今後も安定した財政運営を行っていくために、経営資源（人・物・金・情報）の有効な活用などの取組みを進めています。今後の行政改革について、優先的に取組むべき項目のうちあなたの考えに最も近いものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

(1) 全体

本市が優先的に取組むべき項目は、「市民・企業と協働したまちづくり」が42.0%と最も高く、続いて「企業誘致や企業の進出支援」が41.3%と高くなっています。

また、平成30年度調査と比べ、「市民・企業と協働したまちづくり」が4.5%、「企業誘致や企業の進出支援」が3.9%増加しており、「職員の人数や給与などの適正化」が8.4%減少しております。



(2) 年齢別

- 19歳まで：全体に比べ、「職員の人数や給与などの適正化」の構成比が12.6%高い37.8%となっています。
- 20歳代：全体に比べ、「職員の人数や給与などの適正化」の構成比が10.2%高い35.4%、「民間活力の活用」の構成比が4.5%低い20.8%となっています。
- 30歳代：全体に比べ、「補助金の見直し」の構成比が10.9%高い37.8%、「企業誘致や企業の進出支援」の構成比が6.2%低い35.1%となっています。
- 40歳代：全体に比べ、「補助金の見直し」の構成比が7.4%高い34.3%、「市民・企業と協働したまちづくり」の構成比が7.0%低い35.0%となっています。
- 50歳代：全体に比べ、「補助金の見直し」の構成比が2.7%高い29.6%、「受益者負担（手数料や使用料など）の適正化」の構成比が3.5%低い14.8%となっています。
- 60歳代：全体に比べ、「市民・企業と協働したまちづくり」の構成比が6.5%高い48.5%、「補助金の見直し」の構成比が4.4%低い22.5%となっています。
- 70歳以上：全体に比べ、「企業誘致や企業の進出支援」の構成比が3.5%高い44.8%、「補助金の見直し」の構成比が3.7%低い23.2%となっています。

	調査数	① 市民・企業と協働したまちづくり	② 民間活力の活用	③ 受益者負担（手数料や使用料など）の適正化	④ 企業誘致や企業の進出支援	⑤ 補助金の見直し	⑥ 職員の人数や給与などの適正化	⑦ その他	無回答
① 19歳まで	37 100.0%	11 29.7%	5 13.5%	10 27.0%	9 24.3%	13 35.1%	14 37.8%	2 5.4%	0 0.0%
② 20歳代	48 100.0%	20 41.7%	10 20.8%	9 18.8%	18 37.5%	14 29.2%	17 35.4%	1 2.1%	0 0.0%
③ 30歳代	74 100.0%	28 37.8%	15 20.3%	20 27.0%	26 35.1%	28 37.8%	22 29.7%	1 1.4%	0 0.0%
④ 40歳代	137 100.0%	48 35.0%	40 29.2%	26 19.0%	50 36.5%	47 34.3%	32 23.4%	5 3.6%	3 2.2%
⑤ 50歳代	142 100.0%	57 40.1%	35 24.6%	21 14.8%	58 40.8%	42 29.6%	34 23.9%	5 3.5%	3 2.1%
⑥ 60歳代	204 100.0%	99 48.5%	64 31.4%	34 16.7%	92 45.1%	46 22.5%	47 23.0%	5 2.5%	3 1.5%
⑦ 70歳以上	426 100.0%	185 43.4%	104 24.4%	74 17.4%	191 44.8%	99 23.2%	106 24.9%	4 0.9%	29 6.8%
無回答	17 100.0%	8 47.1%	2 11.8%	4 23.5%	4 23.5%	3 17.6%	2 11.8%	0 0.0%	5 29.4%
合計	1,085 100.0%	456 42.0%	275 25.3%	198 18.2%	448 41.3%	292 26.9%	274 25.3%	23 2.1%	43 4.0%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「補助金の見直し」の構成比が4.0%高い31.0%、「市民・企業と協働したまちづくり」の構成比が3.9%低い38.1%となっています。

桜井東：全体に比べ、「市民・企業と協働したまちづくり」の構成比が14.0%高い56.0%、「補助金の見直し」の構成比が10.2%低い16.7%となっています。

桜井西：全体に比べ、「企業誘致や企業の進出支援」の構成比が4.1%高い45.4%、「補助金の見直し」の構成比が4.4%低い22.5%となっています。

大三輪：全体に比べ、「補助金の見直し」の構成比が3.6%高い30.5%、「企業誘致や企業の進出支援」の構成比が4.4%低い36.9%となっています。

	調査数	① 市民・企業と協働したまちづくり	② 民間活力の活用	③ 受益者負担(手数料や使用料などの適正化)	④ 企業誘致や企業の進出支援	⑤ 補助金の見直し	⑥ 職員の人数や給与などの適正化	⑦ その他	無回答
桜井	462 100.0%	176 38.1%	107 23.2%	99 21.4%	186 40.3%	143 31.0%	128 27.7%	10 2.2%	14 3.0%
桜井東	150 100.0%	84 56.0%	46 30.7%	14 9.3%	68 45.3%	25 16.7%	24 16.0%	4 2.7%	10 6.7%
桜井西	227 100.0%	94 41.4%	59 26.0%	39 17.2%	103 45.4%	51 22.5%	55 24.2%	4 1.8%	12 5.3%
大三輪	236 100.0%	98 41.5%	61 25.8%	44 18.6%	87 36.9%	72 30.5%	64 27.1%	5 2.1%	6 2.5%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	4 44.4%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%
合計	1,085 100.0%	456 42.0%	275 25.3%	198 18.2%	448 41.3%	292 26.9%	274 25.3%	23 2.1%	43 4.0%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

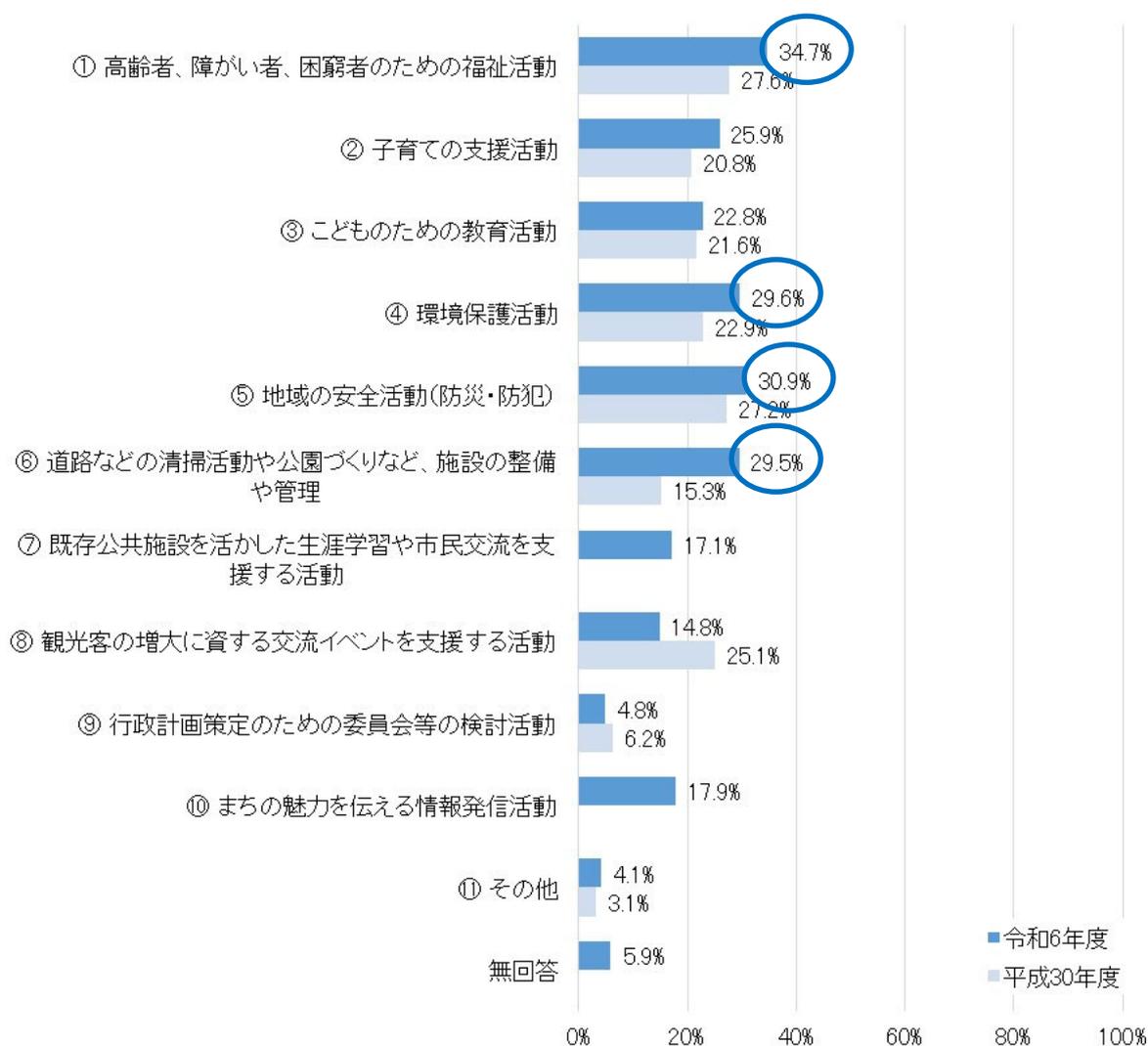
(2) あなたは今後どのようなまちづくりの取組みに参加したいと思いますか。あなたが参加してみたいと思う活動分野を以下の中から3つまで選び○をつけてください。

(1) 全体

参加してみたいと思う活動分野は、「高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動」が34.7%と最も高く、続いて「地域の安全活動(防災・防犯)」が30.9%、「環境保護活動」が29.6%、「道路などの清掃活動や公園づくりなど、施設の整備や管理」が29.5%と高くなっています。

5位以下の項目も、「子育ての支援活動」「こどものための境域活動」「まちの魅力を伝える情報発信活動」「既存公共施設を活かした生涯学習や市民交流を支援する活動」が17.1～25.9%と続いています。

また、平成30年度調査と比べ、「道路などの清掃活動や公園づくりなど、施設の整備や管理」が14.2%、「高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動」が7.1%、「環境保護活動」が6.7%増加しており、「観光客の増大に資する交流イベントを支援する活動」が10.3%減少しています。



(2) 年齢別

- 19歳まで：全体に比べ、「まちの魅力を伝える情報発信活動」の構成比が17.3%高い35.1%となっています。
- 20歳代：全体に比べ、「観光客の増大に資する交流イベントを支援する活動」の構成比が16.4%高い31.3%、「地域の安全活動（防災・防犯）」の構成比が10.0%低い20.8%となっています。
- 30歳代：全体に比べ、「こどものための教育活動」の構成比が21.8%高い44.6%となっています。
- 40歳代：全体に比べ、「子育ての支援活動」の構成比が12.1%高い38.0%、「高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動」の構成比が8.4%低い26.3%となっています。
- 50歳代：全体に比べ、「観光客の増大に資する交流イベントを支援する活動」の構成比が5.6%高い20.4%、「高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動」の構成比が7.9%低い26.8%となっています。
- 60歳代：全体に比べ、「高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動」の構成比が6.0%高い40.7%、「こどものための教育活動」の構成比が5.1%低い17.6%となっています。
- 70歳以上：全体に比べ、「高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動」の構成比が7.4%高い42.0%、「子育ての支援活動」の構成比が10.4%低い15.5%となっています。

	調査数	① 高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動	② 子育ての支援活動	③ こどものための教育活動	④ 環境保護活動	⑤ 地域の安全活動（防災・防犯）	⑥ 道路などの清掃活動や公園づくりなど、施設の整備や管理	⑦ 既存公共施設を活かした生涯学習や市民交流を支援する活動	⑧ 観光客の増大に資する交流イベントを支援する活動	⑨ 行政計画策定のための委員会等の検討活動	⑩ まちの魅力を伝える情報発信活動	⑪ その他	無回答
① 19歳まで	37	8	15	14	10	9	8	1	7	2	13	2	0
	100.0%	21.6%	40.5%	37.8%	27.0%	24.3%	21.6%	2.7%	18.9%	5.4%	35.1%	5.4%	0.0%
② 20歳代	48	13	20	15	10	10	12	5	15	2	11	3	0
	100.0%	27.1%	41.7%	31.3%	20.8%	20.8%	25.0%	10.4%	31.3%	4.2%	22.9%	6.3%	0.0%
③ 30歳代	74	9	31	33	22	16	25	8	13	5	14	4	2
	100.0%	12.2%	41.9%	44.6%	29.7%	21.6%	33.8%	10.8%	17.6%	6.8%	18.9%	5.4%	2.7%
④ 40歳代	137	36	52	46	33	41	40	24	28	5	26	3	4
	100.0%	26.3%	38.0%	33.6%	24.1%	29.9%	29.2%	17.5%	20.4%	3.6%	19.0%	2.2%	2.9%
⑤ 50歳代	142	38	41	37	41	39	36	25	29	5	28	4	3
	100.0%	26.8%	28.9%	26.1%	28.9%	27.5%	25.4%	17.6%	20.4%	3.5%	19.7%	2.8%	2.1%
⑥ 60歳代	204	83	53	36	71	63	61	40	24	10	31	6	11
	100.0%	40.7%	26.0%	17.6%	34.8%	30.9%	29.9%	19.6%	11.8%	4.9%	15.2%	2.9%	5.4%
⑦ 70歳以上	426	179	66	65	127	154	136	81	45	23	68	23	40
	100.0%	42.0%	15.5%	15.3%	29.8%	36.2%	31.9%	19.0%	10.6%	5.4%	16.0%	5.4%	9.4%
無回答	17	10	3	1	7	3	2	2	0	0	3	0	4
	100.0%	58.8%	17.6%	5.9%	41.2%	17.6%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	23.5%
合計	1,085	376	281	247	321	335	320	186	161	52	194	45	64
	100.0%	34.7%	25.9%	22.8%	29.6%	30.9%	29.5%	17.1%	14.8%	4.8%	17.9%	4.1%	5.9%

○% 全体と比べて +10%以上
 ○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
 ○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「観光客の増大に資する交流イベントを支援する活動」の構成比が3.8%高い18.6%、「道路などの清掃活動や公園づくりなど、施設の整備や管理」の構成比が2.4%低い27.1%となっています。

桜井東：全体に比べ、「地域の安全活動（防災・防犯）」の構成比が5.8%高い36.7%、「観光客の増大に資する交流イベントを支援する活動」の構成比が2.8%低い12.0%となっています。

桜井西：全体に比べ、「子育ての支援活動」の構成比が4.9%高い30.8%、「地域の安全活動（防災・防犯）」の構成比が3.6%低い27.3%となっています。

大三輪：全体に比べ、「道路などの清掃活動や公園づくりなど、施設の整備や管理」の構成比が5.3%高い34.7%、「高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動」の構成比が5.8%低い28.8%となっています。

	調査数	① 高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動	② 子育ての支援活動	③ こどものための教育活動	④ 環境保護活動	⑤ 地域の安全活動（防災・防犯）	⑥ 道路などの清掃活動や公園づくりなど、施設の整備や管理	⑦ 既存公共施設を活かした生涯学習や市民交流を支援する活動	⑧ 観光客の増大に資する交流イベントを支援する活動	⑨ 行政計画策定のための委員会等の検討活動	⑩ まちの魅力を伝える情報発信活動	⑪ その他	無回答
桜井	462	167	116	99	135	146	125	86	86	21	92	21	25
	100.0%	36.1%	25.1%	21.4%	29.2%	31.6%	27.1%	18.6%	18.6%	4.5%	19.9%	4.5%	5.4%
桜井東	150	56	38	31	48	55	43	25	18	5	25	5	10
	100.0%	37.3%	25.3%	20.7%	32.0%	36.7%	28.7%	16.7%	12.0%	3.3%	16.7%	3.3%	6.7%
桜井西	227	80	70	56	68	62	70	34	26	9	34	10	14
	100.0%	35.2%	30.8%	24.7%	30.0%	27.3%	30.8%	15.0%	11.5%	4.0%	15.0%	4.4%	6.2%
大三輪	236	68	57	59	66	71	82	39	29	16	41	9	14
	100.0%	28.8%	24.2%	25.0%	28.0%	30.1%	34.7%	16.5%	12.3%	6.8%	17.4%	3.8%	5.9%
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9	5	0	2	4	1	0	2	1	0	2	0	1
	100.0%	55.6%	0.0%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%
合計	1,085	376	281	247	321	335	320	186	161	52	194	45	64
	100.0%	34.7%	25.9%	22.8%	29.6%	30.9%	29.5%	17.1%	14.8%	4.8%	17.9%	4.1%	5.9%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

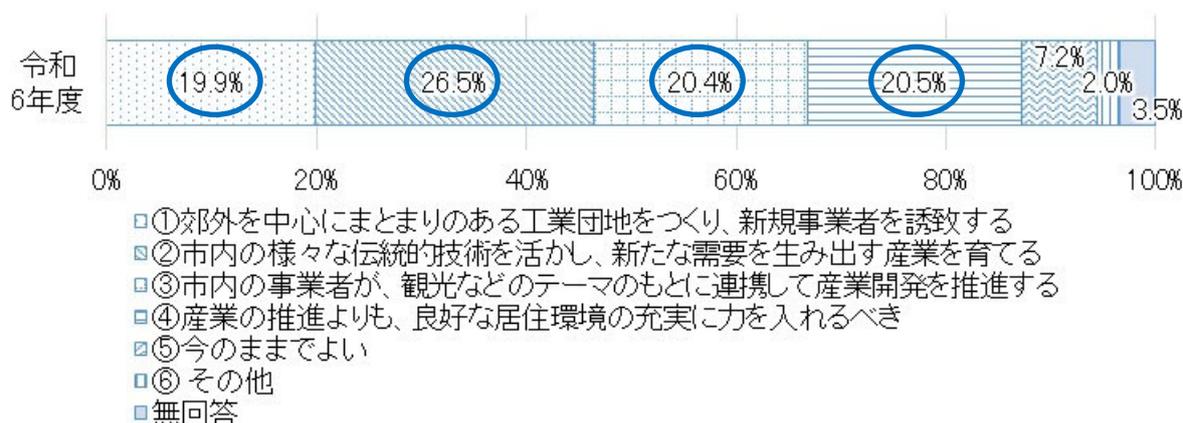
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 産業振興や雇用の確保、市域の活性化について、あなたが最も重要と考えるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

(1) 全体

今後の産業振興等の対策については、「市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる」が26.5%と最も高く、続いて「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」が20.5%、「市内の事業者が、観光などのテーマのもとに連携して産業開発を推進する」が20.4%、「郊外を中心にまとまりのある工業団地をつくり、新規事業者を誘致する」が19.9%と高くなっています。

産業振興について、なんらかの産業振興の対策が必要とする①②③は合計66.8%と7割近くを占めています。一方では、「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」が20.5%、「今のままでよい」が7.2%となっています。



(2) 年齢別

19歳まで：全体に比べ、「今のままでよい」の構成比が9.0%高い16.2%、「市内の事業者が、観光などのテーマのもとに連携して産業開発を推進する」の構成比が9.6%低い10.8%となっています。

20歳代：全体に比べ、「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」の構成比が21.2%高い41.7%、「市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる」の構成比が7.8%低い18.8%となっています。

30歳代：全体に比べ、「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」の構成比が9.3%高い29.7%、「郊外を中心にまとまりのある工業団地をつくり、新規事業者を誘致する」の構成比が9.1%低い10.8%となっています。

40歳代：全体に比べ、「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」の構成比が5.8%高い26.3%、「市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる」の構成比が9.8%低い16.8%となっています。

50 歳代 : 全体に比べ、「市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる」の構成比が 3.0%高い 29.6%、「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」の構成比が 3.6%低い 16.9%となっています。

60 歳代 : 全体に比べ、「市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる」の構成比が 7.8%高い 34.3%、「郊外を中心にまとまりのある工業団地をつくり、新規事業者を誘致する」の構成比が 3.7%低い 16.2%となっています。

70 歳以上 : 全体に比べ、「郊外を中心にまとまりのある工業団地をつくり、新規事業者を誘致する」の構成比が 3.8%高い 23.7%、「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」の構成比が 5.2%低い 15.3%となっています。

	調査数	①郊外を中心にまとまりのある工業団地をつくり、新規事業者を誘致する	②市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる	③市内の事業者が、観光などのテーマのもとに連携して産業開発を推進する	④産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき	⑤今のままでよい	⑥ その他	無回答
① 19歳まで	37 100.0%	7 18.9%	10 27.0%	4 10.8%	10 27.0%	6 16.2%	0 0.0%	0 0.0%
② 20歳代	48 100.0%	6 12.5%	9 18.8%	12 25.0%	20 41.7%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%
③ 30歳代	74 100.0%	8 10.8%	18 24.3%	16 21.6%	22 29.7%	10 13.5%	0 0.0%	0 0.0%
④ 40歳代	137 100.0%	29 21.2%	23 16.8%	35 25.5%	36 26.3%	7 5.1%	4 2.9%	3 2.2%
⑤ 50歳代	142 100.0%	28 19.7%	42 29.6%	33 23.2%	24 16.9%	6 4.2%	8 5.6%	1 0.7%
⑥ 60歳代	204 100.0%	33 16.2%	70 34.3%	38 18.6%	41 20.1%	13 6.4%	5 2.5%	4 2.0%
⑦ 70歳以上	426 100.0%	101 23.7%	113 26.5%	81 19.0%	65 15.3%	35 8.2%	4 0.9%	27 6.3%
無回答	17 100.0%	4 23.5%	3 17.6%	2 11.8%	4 23.5%	0 0.0%	1 5.9%	3 17.6%
合計	1,085 100.0%	216 19.9%	288 26.5%	221 20.4%	222 20.5%	78 7.2%	22 2.0%	38 3.5%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」の構成比が3.6%高い24.0%、「市内の事業者が、観光などのテーマのもとに連携して産業開発を推進する」の構成比が2.2%低い18.2%となっています。

桜井東：全体に比べ、「市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる」の構成比が4.1%高い30.7%、「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」の構成比が3.8%低い16.7%となっています。

桜井西：全体に比べ、「市内の事業者が、観光などのテーマのもとに連携して産業開発を推進する」の構成比が6.5%高い26.9%、「市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる」の構成比が5.8%低い20.7%となっています。

大三輪：全体に比べ、「市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる」の構成比が4.8%高い31.4%、「産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき」の構成比が5.6%低い14.8%となっています。

	調査数	①郊外を中心にまとまりのある工業団地をつくり、新規事業者を誘致する	②市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる	③市内の事業者が、観光などのテーマのもとに連携して産業開発を推進する	④産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき	⑤今のままでよい	⑥ その他	無回答
桜井	462 100.0%	91 19.7%	120 26.0%	84 18.2%	111 24.0%	30 6.5%	13 2.8%	13 2.8%
桜井東	150 100.0%	31 20.7%	46 30.7%	29 19.3%	25 16.7%	7 4.7%	3 2.0%	9 6.0%
桜井西	227 100.0%	46 20.3%	47 20.7%	61 26.9%	47 20.7%	19 8.4%	1 0.4%	6 2.6%
大三輪	236 100.0%	46 19.5%	74 31.4%	46 19.5%	35 14.8%	21 8.9%	5 2.1%	9 3.8%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
合計	1,085 100.0%	216 19.9%	288 26.5%	221 20.4%	222 20.5%	78 7.2%	22 2.0%	38 3.5%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

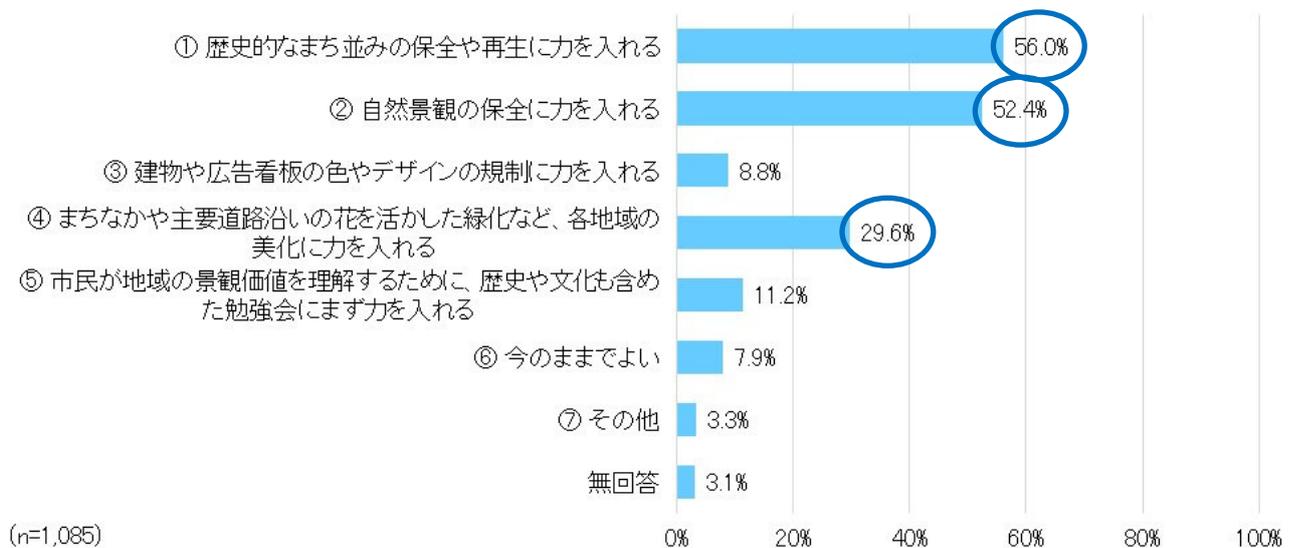
○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(4) 桜井市の景観を良くし、守っていくためには、今後どのような取組みが必要だと思いますか。あなたのイメージに最も近いものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。

(1) 全体

桜井市の景観に必要な取組みは、「歴史的なまち並みの保全や再生に力を入れる」が56.0%と最も高く、「自然景観の保全に力を入れる」も52.4%と高くなっています。また、3位に「まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる」が29.6%と続いています。



(2) 年齢別

- 19歳まで:全体に比べ、「歴史的なまち並みの保全や再生に力を入れる」の構成比が11.5%高い67.6%、「自然景観の保全に力を入れる」の構成比が14.5%低い37.8%となっています。
- 20歳代 :全体に比べ、「まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる」の構成比が12.1%高い41.7%、「自然景観の保全に力を入れる」の構成比が8.6%低い43.8%となっています。
- 30歳代 :全体に比べ、「まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる」の構成比が9.6%高い39.2%、「自然景観の保全に力を入れる」の構成比が5.1%低い47.3%となっています。
- 40歳代 :全体に比べ、「まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる」の構成比が9.8%高い39.4%、「自然景観の保全に力を入れる」の構成比が12.9%低い39.4%となっています。
- 50歳代 :全体に比べ、「市民が地域の景観価値を理解するために、歴史や文化も含めた勉強会にまず力を入れる」の構成比が2.1%高い13.4%、「まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる」の構成比が4.2%低い25.4%となっています。
- 60歳代 :全体に比べ、「歴史的なまち並みの保全や再生に力を入れる」の構成比が2.8%高い58.8%、「今のままでよい」の構成比が1.6%低い6.4%となっています。
- 70歳以上 :全体に比べ、「自然景観の保全に力を入れる」の構成比が6.6%高い58.9%、「歴史的なまち並みの保全や再生に力を入れる」の構成比が4.6%低い51.4%となっています。

	調査数	① 歴史的なまち並みの保全や再生に力を入れる	② 自然景観の保全に力を入れる	③ 建物や広告看板の色やデザインに力を入れる	④ まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる	⑤ 市民が地域の景観価値を理解するために、歴史や文化も含めた勉強会にまず力を入れる	⑥ 今のままでよい	⑦ その他	無回答
① 19歳まで	37	25 67.6%	14 37.8%	5 13.5%	9 24.3%	4 10.8%	4 10.8%	0 0.0%	
② 20歳代	48	28 58.3%	21 43.8%	2 4.2%	20 41.7%	3 6.3%	5 10.4%	1 2.1%	
③ 30歳代	74	38 51.4%	35 47.3%	7 9.5%	29 39.2%	8 10.8%	6 8.1%	3 4.1%	
④ 40歳代	137	90 65.7%	54 39.4%	18 13.1%	54 39.4%	6 4.4%	11 8.0%	8 5.8%	
⑤ 50歳代	142	82 57.7%	70 49.3%	10 7.0%	36 25.4%	19 13.4%	8 5.6%	7 4.9%	
⑥ 60歳代	204	120 58.8%	111 54.4%	17 8.3%	58 28.4%	23 11.3%	13 6.4%	6 2.9%	
⑦ 70歳以上	426	219 51.4%	251 58.9%	36 8.5%	110 25.8%	59 13.8%	37 8.7%	9 2.1%	
無回答	17	6 35.3%	12 70.6%	1 5.9%	5 29.4%	0 0.0%	2 11.8%	2 11.8%	
合計	1,085	608 56.0%	568 52.4%	96 8.8%	321 29.6%	122 11.2%	86 7.9%	36 3.3%	

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「自然景観の保全に力を入れる」の構成比が 2.4%低い 50.0%となっています。

桜井東：全体に比べ、「市民が地域の景観価値を理解するために、歴史や文化も含めた勉強会にまず力を入れる」の構成比が 6.8%高い 18.0%、「まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる」の構成比が 8.9%低い 20.7%となっています。

桜井西：全体に比べ、「まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる」の構成比が 3.5%高い 33.0%、「市民が地域の景観価値を理解するために、歴史や文化も含めた勉強会にまず力を入れる」の構成比が 2.9%低い 8.4%となっています。

大三輪：全体に比べ、「自然景観の保全に力を入れる」の構成比が 5.3%高い 57.6%、「市民が地域の景観価値を理解するために、歴史や文化も含めた勉強会にまず力を入れる」の構成比が 3.2%低い 8.1%となっています。

	調査数	① 歴史的なまち並みの保全や再生に力を入れる	② 自然景観の保全に力を入れる	③ 建物や広告看板の色やデザインの規制に力を入れる	④ まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる	⑤ 市民が地域の景観価値を理解するために、歴史や文化も含めた勉強会にまず力を入れる	⑥ 今のままでよい	⑦ その他	無回答
桜井	462	252 54.5%	231 50.0%	34 7.4%	140 30.3%	55 11.9%	39 8.4%	16 3.5%	18 3.9%
桜井東	150	87 58.0%	78 52.0%	15 10.0%	31 20.7%	27 18.0%	16 10.7%	6 4.0%	3 2.0%
桜井西	227	128 56.4%	117 51.5%	25 11.0%	75 33.0%	19 8.4%	16 7.0%	9 4.0%	6 2.6%
大三輪	236	137 58.1%	136 57.6%	22 9.3%	72 30.5%	19 8.1%	15 6.4%	4 1.7%	6 2.5%
その他	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9	3 33.3%	6 66.7%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%
合計	1,085	608 56.0%	568 52.4%	96 8.8%	321 29.6%	122 11.2%	86 7.9%	36 3.3%	34 3.1%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

2.6 総合計画に基づく取組みについて

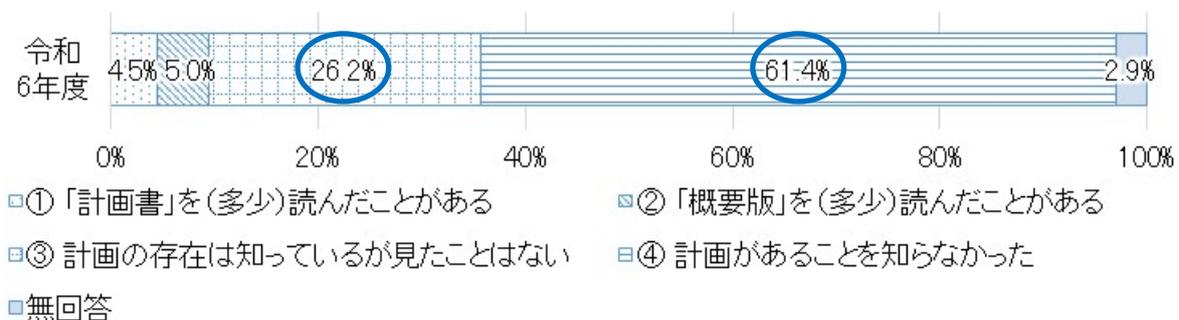
問 6 第6次桜井市総合計画に基づく取組みについてお聞きします。

(1) 令和3年4月に策定された「第6次桜井市総合計画」の内容についてご存じですか。
次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

(1) 全体

第6次桜井市総合計画の内容について、「計画があることを知らなかった」が61.4%と過半数を超えています。続いて「計画の存在は知っているが見たことはない」が26.2%と高くなっています。

“計画版または概要版を（多少）読んだことがある”のは9.5%にとどまっています。



(2) 年齢別

- 19歳まで：全体に比べ、「計画があることを知らなかった」の構成比が30.5%高い91.9%、となっています。
- 20歳代：全体に比べ、「計画があることを知らなかった」の構成比が19.9%高い81.3%となっています。
- 30歳代：全体に比べ、「計画があることを知らなかった」の構成比が10.2%高い71.6%、「計画の存在は知っているが見たことはない」の構成比が4.6%低い21.6%となっています。
- 40歳代：全体に比べ、「計画の存在は知っているが見たことはない」の構成比が5.2%高い31.4%、「計画があることを知らなかった」の構成比が2.3%低い59.1%となっています。
- 50歳代：全体に比べ、「「概要版」を（多少）読んだことがある」の構成比が2.8%高い7.7%となっています。
- 60歳代：全体に比べ、大きな差異は見られません。
- 70歳以上：全体に比べ、「計画の存在は知っているが見たことはない」の構成比が2.7%高い28.9%、「計画があることを知らなかった」の構成比が6.5%低い54.9%となっています。

	調査数	①「計画書」を(多少)読んだことがある	②「概要版」を(多少)読んだことがある	③ 計画の存在は知っているが見たことはない	④ 計画があることを知らなかった	無回答
① 19歳まで	37 100.0%	1 2.7%	0 0.0%	2 5.4%	34 91.9%	0 0.0%
② 20歳代	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 18.8%	39 81.3%	0 0.0%
③ 30歳代	74 100.0%	3 4.1%	2 2.7%	16 21.6%	53 71.6%	0 0.0%
④ 40歳代	137 100.0%	4 2.9%	9 6.6%	43 31.4%	81 59.1%	0 0.0%
⑤ 50歳代	142 100.0%	5 3.5%	11 7.7%	38 26.8%	87 61.3%	1 0.7%
⑥ 60歳代	204 100.0%	10 4.9%	11 5.4%	50 24.5%	128 62.7%	5 2.5%
⑦ 70歳以上	426 100.0%	26 6.1%	20 4.7%	123 28.9%	234 54.9%	23 5.4%
無回答	17 100.0%	0 0.0%	1 5.9%	3 17.6%	10 58.8%	3 17.6%
合計	1,085 100.0%	49 4.5%	54 5.0%	284 26.2%	666 61.4%	32 2.9%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、大きな差異は見られません。

桜井東：全体に比べ、「「概要版」を(多少)読んだことがある」の構成比が4.4%高い9.3%、「計画があることを知らなかった」の構成比が5.4%低い56.0%となっています。

桜井西：全体に比べ、「計画があることを知らなかった」の構成比が6.0%高い67.4%、「計画の存在は知っているが見たことはない」の構成比が3.3%低い22.9%となっています。

大三輪：全体に比べ、大きな差異は見られません。

	調査数	①「計画書」を(多少)読んだことがある	②「概要版」を(多少)読んだことがある	③ 計画の存在は知っているが見たことはない	④ 計画があることを知らなかった	無回答
桜井	462 100.0%	24 5.2%	16 3.5%	129 27.9%	280 60.6%	13 2.8%
桜井東	150 100.0%	5 3.3%	14 9.3%	43 28.7%	84 56.0%	4 2.7%
桜井西	227 100.0%	6 2.6%	12 5.3%	52 22.9%	153 67.4%	4 1.8%
大三輪	236 100.0%	14 5.9%	12 5.1%	58 24.6%	142 60.2%	10 4.2%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%
合計	1,085 100.0%	49 4.5%	54 5.0%	284 26.2%	666 61.4%	32 2.9%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

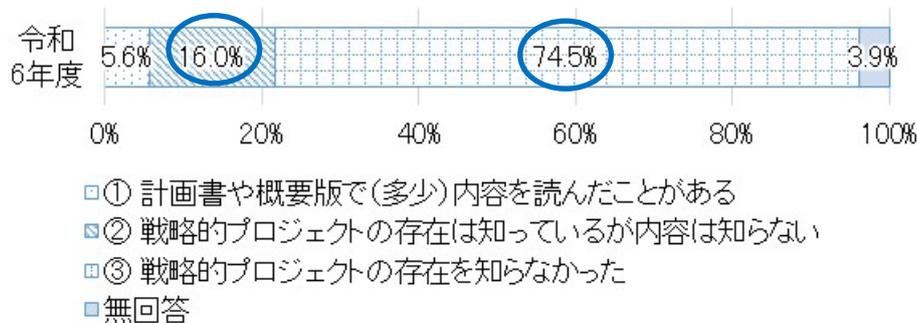
(2) 同計画では、重点的に取り組む事業を「戦略的プロジェクト(※)」として位置づけていますが、その内容についてご存じですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

※「戦略的プロジェクト」として、「魅力的な働く場を創出する」「地域資源を活用し来訪を促進する」「子育て世代に選ばれるまちづくり」「誰もが安心して快適に暮らせるコンパクトなまちづくり」の4つを位置付けています。

(1) 全体

第6次桜井市総合計画の戦略的プロジェクトについて、「戦略的プロジェクトの存在を知らなかった」が74.5%と過半数を超えています。続いて「戦略的プロジェクトの存在は知っているが内容は知らない」が16.0%と高くなっています。

「計画書や概要版で(多少)内容を読んだことがある」は5.6%にとどまっています。



(2) 年齢別

- 19歳まで：全体に比べ、「戦略的プロジェクトの存在を知らなかった」の構成比が17.4%高い91.9%となっています。
- 20歳代：全体に比べ、「戦略的プロジェクトの存在を知らなかった」の構成比が15.1%高い89.6%となっています。
- 30歳代：全体に比べ、「戦略的プロジェクトの存在を知らなかった」の構成比が10.7%高い85.1%となっています。
- 40歳代：全体に比べ、「戦略的プロジェクトの存在を知らなかった」の構成比が3.6%高い48.1%となっています。
- 50歳代：全体に比べ、「戦略的プロジェクトの存在を知らなかった」の構成比が3.7%高い78.2%となっています。
- 60歳代：全体に比べ、大きな差異は見られません。
- 70歳以上：全体に比べ、「戦略的プロジェクトの存在は知っているが内容は知らない」の構成比が2.5%高い18.5%、「戦略的プロジェクトの存在を知らなかった」の構成比が7.3%低い67.1%となっています。

	調査数	① 計画書 や概要版 で(多少) 内容を読 んだこと がある	② 戦略的 プロジェ クトの存 在は知っ ているが 内容は 知らない	③ 戦略的 プロジェ クトの存 在を知ら なかった	無回答
① 19歳まで	37 100.0%	1 2.7%	2 5.4%	34 91.9%	0 0.0%
② 20歳代	48 100.0%	0 0.0%	5 10.4%	43 89.6%	0 0.0%
③ 30歳代	74 100.0%	4 5.4%	7 9.5%	63 85.1%	0 0.0%
④ 40歳代	137 100.0%	7 5.1%	23 16.8%	107 78.1%	0 0.0%
⑤ 50歳代	142 100.0%	8 5.6%	21 14.8%	111 78.2%	2 1.4%
⑥ 60歳代	204 100.0%	11 5.4%	36 17.6%	152 74.5%	5 2.5%
⑦ 70歳以上	426 100.0%	30 7.0%	79 18.5%	286 67.1%	31 7.3%
無回答	17 100.0%	0 0.0%	1 5.9%	12 70.6%	4 23.5%
合計	1,085 100.0%	61 5.6%	174 16.0%	808 74.5%	42 3.9%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「戦略的プロジェクトの存在は知っているが内容は知らない」の構成比が3.0%高い19.0%、「戦略的プロジェクトの存在を知らなかった」の構成比が2.2%低い72.3%となっています。

桜井東：全体に比べ、大きな差異は見られません。

桜井西：全体に比べ、「戦略的プロジェクトの存在を知らなかった」の構成比が5.7%高い80.2%、「戦略的プロジェクトの存在は知っているが内容は知らない」の構成比が5.0%低い11.0%となっています。

大三輪：全体に比べ、大きな差異は見られません。

	調査数	① 計画書 や概要版 で(多少) 内容を読 んだこと がある	② 戦略的 プロジェ クトの存 在は知っ ているが 内容は 知らない	③ 戦略的 プロジェ クトの存 在を知ら なかった	無回答
桜井	462 100.0%	21 4.5%	88 19.0%	334 72.3%	19 4.1%
桜井東	150 100.0%	9 6.0%	24 16.0%	112 74.7%	5 3.3%
桜井西	227 100.0%	13 5.7%	25 11.0%	182 80.2%	7 3.1%
大三輪	236 100.0%	18 7.6%	36 15.3%	172 72.9%	10 4.2%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
無回答	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	7 77.8%	1 11.1%
合計	1,085 100.0%	61 5.6%	174 16.0%	808 74.5%	42 3.9%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

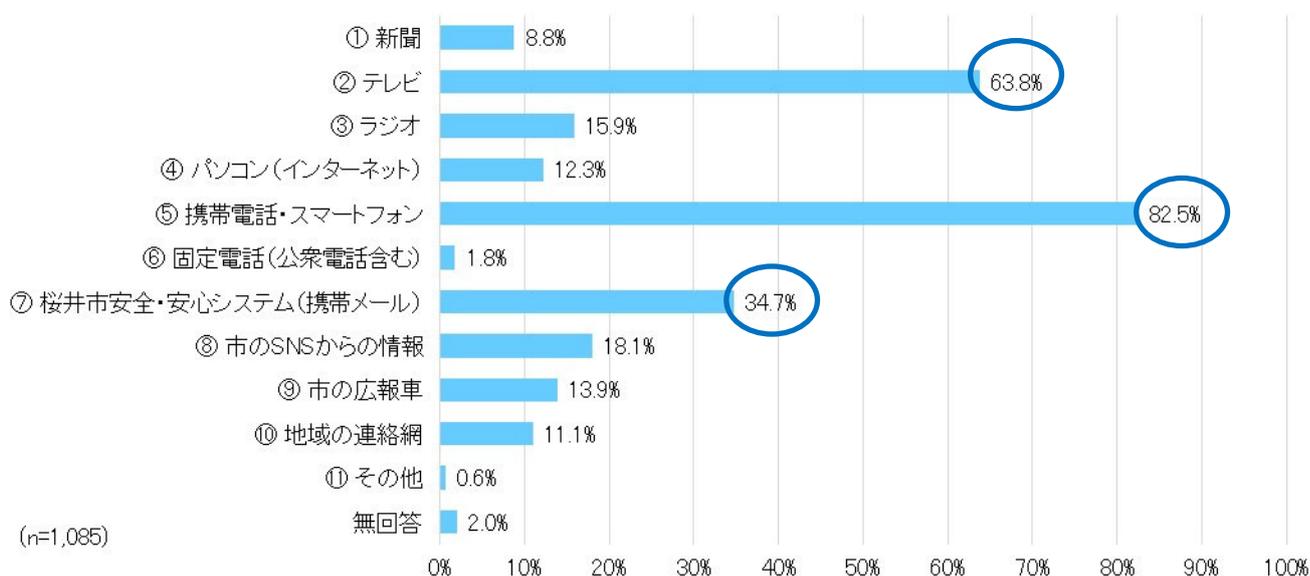
2.7 情報の伝達手段や利活用について

問7 情報の伝達手段や利活用についてお聞きします。

(1) 地震など災害時に緊急情報を得るのに利用、または期待する手段は何ですか。該当するものを3つまで選んで○をつけてください。

(1) 全体

災害時に緊急情報を得る手段は、「携帯電話・スマートフォン」が82.5%と最も高く、続いて「テレビ」が63.8%となっています。3位は「桜井市安全・安心システム(携帯メール)」が34.7%となっています。



(2) 年齢別

19歳まで：全体に比べ、「携帯電話・スマートフォン」の構成比が12.1%高い94.6%となっています。

20歳代：全体に比べ、「携帯電話・スマートフォン」の構成比が7.1%高い89.6%、「テレビ」の構成比が20.0%低い43.8%となっています。

30歳代：全体に比べ、「市のSNSからの情報」の構成比が11.7%高い29.7%となっています。

40歳代：全体に比べ、「携帯電話・スマートフォン」の構成比が11.7%高い94.2%となっています。

50歳代：全体に比べ、「携帯電話・スマートフォン」の構成比が10.5%高い93.0%となっています。

60歳代：全体に比べ、「桜井市安全・安心システム(携帯メール)」の構成比が8.9%高い43.6%、「新聞」の構成比が2.9%低い5.9%となっています。

70歳以上：全体に比べ、「地域の連絡網」の構成比が6.5%高い17.6%、「携帯電話・スマートフォン」の構成比が11.6%低い70.9%となっています。

	調査数	① 新聞	② テレビ	③ ラジオ	④ パソコン(インターネット)	⑤ 携帯電話・スマートフォン	⑥ 固定電話(公衆電話含む)	⑦ 桜井市安全・安心システム(携帯メール)	⑧ 市のSNSからの情報	⑨ 市の広報車	⑩ 地域の連絡網	⑪ その他	無回答
① 19歳まで	37	0	26	9	2	35	0	9	11	0	3	0	0
	-	0.0%	70.3%	24.3%	5.4%	94.6%	0.0%	24.3%	29.7%	0.0%	8.1%	0.0%	0.0%
② 20歳代	48	2	21	6	6	43	0	13	12	6	5	1	1
	-	4.2%	43.8%	12.5%	12.5%	89.6%	0.0%	27.1%	25.0%	12.5%	10.4%	2.1%	2.1%
③ 30歳代	74	3	48	9	12	68	0	24	22	9	2	0	0
	-	4.1%	64.9%	12.2%	16.2%	91.9%	0.0%	27.0%	29.7%	12.2%	2.7%	0.0%	0.0%
④ 40歳代	137	4	86	16	32	129	0	41	31	18	7	4	0
	-	2.9%	62.8%	11.7%	23.4%	94.2%	0.0%	29.9%	22.6%	13.1%	5.1%	2.9%	0.0%
⑤ 50歳代	142	8	82	11	27	132	0	48	34	8	9	0	0
	-	5.6%	57.7%	7.7%	19.0%	93.0%	0.0%	33.8%	23.9%	5.6%	6.3%	0.0%	0.0%
⑥ 60歳代	204	12	131	32	26	176	4	89	37	25	17	1	3
	-	5.9%	64.2%	15.7%	12.7%	86.3%	2.0%	43.6%	18.1%	12.3%	8.3%	0.5%	1.5%
⑦ 70歳以上	426	64	287	88	28	302	14	151	46	83	75	1	16
	-	15.0%	67.4%	20.7%	6.6%	70.9%	3.3%	35.4%	10.8%	19.5%	17.6%	0.2%	3.8%
無回答	17	2	11	1	0	10	1	6	3	2	2	0	2
	-	11.8%	64.7%	5.9%	0.0%	58.8%	5.9%	35.3%	17.6%	11.8%	11.8%	0.0%	11.8%
合計	1,085	95	692	172	133	895	19	377	196	151	120	7	22
	-	8.8%	63.8%	15.9%	12.3%	82.5%	1.8%	34.7%	18.1%	13.9%	11.1%	0.6%	2.0%

○% 全体と比べて +10%以上
 ○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
 ○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「桜井市安全・安心システム（携帯メール）」の構成比が 2.5%高い 37.2%となっています。

桜井東：全体に比べ、「ラジオ」の構成比が 6.8%高い 22.7%、「携帯電話・スマートフォン」の構成比が 5.2%低い 77.3%となっています。

桜井西：全体に比べ、「携帯電話・スマートフォン」の構成比が 5.2%高い 87.7%、「桜井市安全・安心システム（携帯メール）」の構成比が 5.2%低い 29.5%となっています。

大三輪：全体に比べ、「テレビ」の構成比が 3.2%高い 66.9%、「市の広報車」の構成比が 3.3%低い 10.6%となっています。

	調査数	① 新聞	② テレビ	③ ラジオ	④ パソコン(インターネット)	⑤ 携帯電話・スマートフォン	⑥ 固定電話(公衆電話含む)	⑦ 桜井市安全・安心システム(携帯メール)	⑧ 市のSNSからの情報	⑨ 市の広報車	⑩ 地域の連絡網	⑪ その他	無回答
桜井	462	39	293	78	53	380	9	172	82	70	46	2	10
	-	8.4%	63.4%	16.9%	11.5%	82.3%	1.9%	37.2%	17.7%	15.2%	10.0%	0.4%	2.2%
桜井東	150	14	88	34	15	116	2	57	25	25	19	1	4
	-	9.3%	58.7%	22.7%	10.0%	77.3%	1.3%	38.0%	16.7%	16.7%	12.7%	0.7%	2.7%
桜井西	227	20	148	26	35	199	4	67	45	30	26	2	4
	-	8.8%	65.2%	11.5%	15.4%	87.7%	1.8%	29.5%	19.8%	13.2%	11.5%	0.9%	1.8%
大三輪	236	21	158	34	29	192	4	77	43	25	29	2	3
	-	8.9%	66.9%	14.4%	12.3%	81.4%	1.7%	32.6%	18.2%	10.6%	12.3%	0.8%	1.3%
その他	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	-	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9	1	4	0	1	7	0	3	1	1	0	0	1
	-	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%	77.8%	0.0%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
合計	1,085	95	692	172	133	895	19	377	196	151	120	7	22
	-	8.8%	63.8%	15.9%	12.3%	82.5%	1.8%	34.7%	18.1%	13.9%	11.1%	0.6%	2.0%

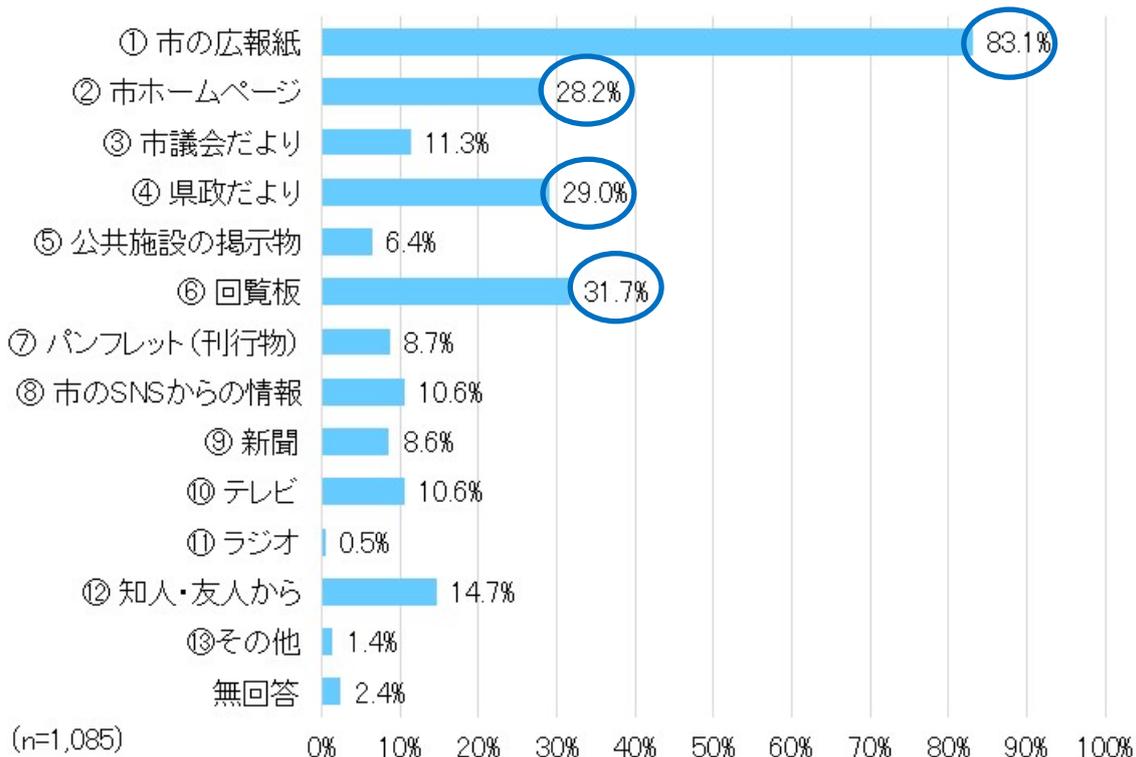
○% 全体と比べて +10%以上
 ○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
 ○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(2) 桜井市に関する情報を得るのに、あなたがよく利用する手段は何ですか。該当するものを3つまで選んで○をつけてください。

(1) 全体

桜井市に関する情報を得るのによく利用する手段は、「市の広報紙」が83.1%と突出しています。続いて「回覧板」が31.7%、「県政だより」が29.0%、「市ホームページ」が28.2%と高くなっています。



(2) 年齢別

19歳まで：全体に比べ、「テレビ」の構成比が16.4%高い27.0%、「市の広報紙」の構成比が29.1%低い54.1%となっています。

20歳代：全体に比べ、「市のSNSからの情報」の構成比が12.3%高い22.9%、「市の広報紙」の構成比が22.7%低い60.4%となっています。

30歳代：全体に比べ、「市ホームページ」の構成比が11.0%高い39.2%、「回覧板」の構成比が14.1%低い17.6%となっています。

40歳代：全体に比べ、「市ホームページ」の構成比が16.3%高い44.5%となっています。

50歳代：全体に比べ、「市ホームページ」の構成比が10.5%高い38.7%、「回覧板」の構成比が9.2%低い22.5%となっています。

60歳代：全体に比べ、「回覧板」の構成比が6.0%高い37.7%、「市議会だより」の構成比が3.0%低い8.3%となっています。

70歳以上：全体に比べ、「市議会だより」の構成比が7.4%高い18.8%、「市ホームページ」の構成比が11.8%低い16.4%となっています。

	調査数	①市の広報紙	②市ホームページ	③市議会だより	④県政だより	⑤公共施設の掲示物	⑥回覧板	⑦パンフレット(刊行物)	⑧市のSNSからの情報	⑨新聞	⑩テレビ	⑪ラジオ	⑫知人・友人から	⑬その他	無回答
① 19歳まで	37	20 54.1%	13 35.1%	2 5.4%	5 13.5%	1 2.7%	15 40.5%	3 8.1%	8 21.6%	3 8.1%	10 27.0%	0 0.0%	9 24.3%	1 2.7%	0 0.0%
② 20歳代	48	29 60.4%	18 37.5%	1 2.1%	12 25.0%	3 6.3%	6 12.5%	5 10.4%	11 22.9%	2 4.2%	9 18.8%	0 0.0%	8 16.7%	0 0.0%	1 2.1%
③ 30歳代	74	60 81.1%	25 39.2%	1 1.4%	12 16.2%	6 8.1%	13 17.6%	3 4.1%	13 17.6%	2 2.7%	6 8.1%	0 0.0%	17 23.0%	4 5.4%	2 2.7%
④ 40歳代	137	109 79.6%	61 44.5%	8 5.8%	35 25.5%	6 4.4%	37 27.0%	16 11.7%	21 15.3%	5 3.6%	9 6.6%	0 0.0%	22 16.1%	4 2.9%	0 0.0%
⑤ 50歳代	142	120 84.5%	55 39.7%	12 8.5%	30 21.1%	10 7.0%	32 22.5%	8 5.6%	20 14.1%	5 3.5%	7 4.9%	0 0.0%	18 12.7%	0 0.0%	1 0.7%
⑥ 60歳代	204	177 86.8%	57 27.9%	17 8.3%	67 32.8%	13 6.4%	77 37.7%	18 8.8%	21 10.3%	13 6.4%	18 8.8%	2 1.0%	29 14.2%	4 2.0%	3 1.5%
⑦ 70歳以上	426	376 88.3%	70 16.4%	80 18.8%	149 35.0%	27 6.3%	154 36.2%	39 9.2%	19 4.5%	61 14.3%	51 12.0%	2 0.5%	55 12.9%	2 0.5%	18 4.2%
無回答	17	11 64.7%	3 17.6%	2 11.8%	5 29.4%	1 5.9%	10 58.8%	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	5 29.4%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%
合計	1,085	902 83.1%	306 28.2%	123 11.3%	315 29.0%	69 6.4%	344 31.7%	94 8.7%	115 10.6%	93 8.6%	115 10.6%	5 0.5%	159 14.7%	15 1.4%	26 2.4%

○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「市の広報紙」の構成比が2.8%低い80.3%となっています。

桜井東：全体に比べ、「市議会だより」の構成比が6.7%高い18.0%となっています。

桜井西：全体に比べ、「パンフレット（刊行物）」の構成比が2.3%高い11.0%、「回覧板」の構成比が4.8%低い26.9%となっています。

大三輪：全体に比べ、「回覧板」の構成比が6.4%高い38.1%、「市議会だより」の構成比が3.7%低い7.6%となっています。

	調査数	①市の広報紙	②市ホームページ	③市議会だより	④県政だより	⑤公共施設の掲示物	⑥回覧板	⑦パンフレット(刊行物)	⑧市のSNSからの情報	⑨新聞	⑩テレビ	⑪ラジオ	⑫知人・友人から	⑬その他	無回答
桜井	462	371 80.3%	133 28.8%	50 10.8%	140 30.3%	34 7.4%	135 29.2%	36 7.8%	47 10.2%	41 8.9%	56 12.1%	2 0.4%	72 15.6%	7 1.5%	13 2.8%
桜井東	150	132 88.0%	39 26.0%	27 18.0%	43 28.7%	6 4.0%	55 36.7%	11 7.3%	14 9.3%	16 10.7%	11 7.3%	1 0.7%	19 12.7%	3 2.0%	4 2.7%
桜井西	227	194 85.5%	62 27.3%	28 12.3%	68 30.0%	13 5.7%	61 26.9%	25 11.0%	24 10.6%	20 8.8%	18 7.9%	0 0.0%	32 14.1%	2 0.9%	4 1.8%
大三輪	236	199 84.3%	68 28.8%	18 7.6%	60 25.4%	16 6.8%	90 38.1%	19 8.1%	29 12.3%	16 6.8%	28 11.9%	2 0.8%	36 15.3%	3 1.3%	4 1.7%
その他	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9	6 66.7%	3 33.3%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
合計	1,085	902 83.1%	306 28.2%	123 11.3%	315 29.0%	69 6.4%	344 31.7%	94 8.7%	115 10.6%	93 8.6%	115 10.6%	5 0.5%	159 14.7%	15 1.4%	26 2.4%

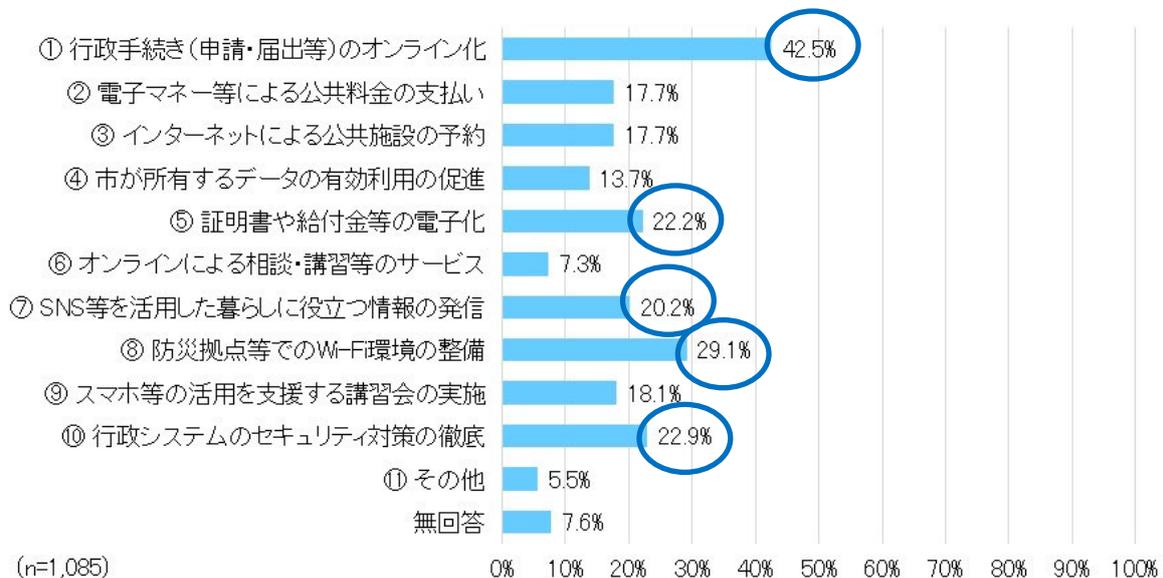
○% 全体と比べて +10%以上
○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満
○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 各種行政情報の利活用（デジタル化の取組み）について、今後どのような取組みを強化していくべきと思われますか。あなたのイメージに最も近いものを3つ以内で選んで、番号に○をつけてください。

(1) 全体

強化していくべきデジタル化についての取組みは、「行政手続き（申請・届出等）のオンライン化」が42.5%と最も高く、続いて「防災拠点等でのWi-Fi環境の整備」が29.1%、「行政システムのセキュリティ対策の徹底」が22.9%、「証明書や給付金等の電子化」が22.2%、「SNS等を活用した暮らしに役立つ情報の発信」が20.2%と高くなっています。



(2) 年齢別

19歳まで：全体に比べ、「防災拠点等でのWi-Fi環境の整備」の構成比が27.6%高い56.8%となっています。

20歳代：全体に比べ、「電子マネー等による公共料金の支払い」の構成比が28.1%高い45.8%となっています。

30歳代：全体に比べ、「行政手続き（申請・届出等）のオンライン化」の構成比が25.1%高い67.6%となっています。

40歳代：全体に比べ、「行政手続き（申請・届出等）のオンライン化」の構成比が12.3%高い54.7%となっています。

50歳代：全体に比べ、「行政手続き（申請・届出等）のオンライン化」の構成比が13.1%高い55.6%、「スマホ等の活用を支援する講習会の実施」の構成比が6.1%低い12.0%となっています。

60歳代：全体に比べ、「防災拠点等でのWi-Fi環境の整備」の構成比が11.6%高い40.7%、「インターネットによる公共施設の予約」の構成比が5.0%低い12.7%

となっています。

70歳以上：全体に比べ、「スマホ等の活用を支援する講習会の実施」の構成比が7.1%高い25.1%、「行政手続き（申請・届出等）のオンライン化」の構成比が10.6%低い31.9%となっています。

	調査数	① 行政手続き(申請・届出等)のオンライン化	② 電子マネー等による公共料金の支払い	③ インターネットによる公共施設の予約	④ 市が所有するデータの有効利用の促進	⑤ 証明書や給付金等の電子化	⑥ オンラインによる相談・講習等のサービス	⑦ SNS等を活用した暮らしに役立つ情報の発信	⑧ 防災拠点等でのWi-Fi環境の整備	⑨ スマホ等の活用を支援する講習会の実施	⑩ 行政システムのセキュリティ対策の徹底	⑪ その他	無回答
① 19歳まで	37	17 45.9%	8 21.6%	11 29.7%	2 5.4%	5 13.5%	2 5.4%	12 32.4%	21 56.8%	2 5.4%	9 24.3%	0 0.0%	0 0.0%
② 20歳代	48	23 47.9%	22 45.8%	12 25.0%	3 6.3%	9 18.8%	2 4.2%	7 14.6%	16 33.3%	9 18.8%	10 20.8%	1 2.1%	0 0.0%
③ 30歳代	74	50 67.6%	25 33.8%	22 29.7%	8 10.8%	17 23.0%	4 5.4%	16 21.6%	23 31.1%	2 2.7%	10 13.5%	3 4.1%	2 2.7%
④ 40歳代	137	75 54.7%	41 29.9%	37 27.0%	8 5.8%	41 29.9%	12 8.8%	31 22.6%	36 26.3%	8 5.8%	29 21.2%	9 6.6%	2 1.5%
⑤ 50歳代	142	79 55.6%	27 19.0%	34 23.9%	12 8.5%	37 26.1%	12 8.5%	33 23.2%	35 24.6%	17 12.0%	33 23.2%	3 2.1%	1 0.7%
⑥ 60歳代	204	77 37.7%	30 14.7%	26 12.7%	26 12.7%	39 19.1%	19 9.3%	39 19.1%	83 40.7%	48 23.5%	66 32.4%	12 5.9%	7 3.4%
⑦ 70歳以上	426	136 31.9%	35 8.2%	48 11.3%	87 20.4%	90 21.1%	28 6.6%	78 18.3%	100 23.5%	107 25.1%	88 20.7%	30 7.0%	66 15.5%
無回答	17	4 23.5%	4 23.5%	2 11.8%	3 17.6%	3 17.6%	0 0.0%	3 17.6%	2 11.8%	3 17.6%	3 17.6%	2 11.8%	5 29.4%
合計	1,085	461 42.5%	192 17.7%	192 17.7%	149 13.7%	241 22.2%	79 7.3%	219 20.2%	316 29.1%	196 18.1%	248 22.9%	60 5.5%	83 7.6%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

(3) 中学校区別

桜井：全体に比べ、「インターネットによる公共施設の予約」の構成比が2.2%高い19.9%となっています。

桜井東：全体に比べ、「NS等を活用した暮らしに役立つ情報の発信」の構成比が3.1%高い23.3%、「電子マネー等による公共料金の支払い」の構成比が7.0%低い10.7%となっています。

桜井西：全体に比べ、「行政手続き（申請・届出等）のオンライン化」の構成比が3.3%高い45.8%となっています。

大三輪：全体に比べ、「証明書や給付金等の電子化」の構成比が3.2%高い25.4%、「行政システムのセキュリティ対策の徹底」の構成比が4.6%低い18.2%となっています。

	調査数	① 行政手続き(申請・届出等)のオンライン化	② 電子マネー等による公共料金の支払い	③ インターネットによる公共施設の予約	④ 市が所有するデータの有効利用の促進	⑤ 証明書や給付金等の電子化	⑥ オンラインによる相談・講習等のサービス	⑦ SNS等を活用した暮らしに役立つ情報の発信	⑧ 防災拠点等でのWi-Fi環境の整備	⑨ スマホ等の活用を支援する講習会の実施	⑩ 行政システムのセキュリティ対策の徹底	⑪ その他	無回答
桜井	462	188 40.7%	89 19.3%	92 19.9%	62 13.4%	97 21.0%	33 7.1%	92 19.9%	137 29.7%	81 17.5%	110 23.8%	26 5.6%	33 7.1%
桜井東	150	65 43.3%	16 10.7%	24 16.0%	18 12.0%	31 20.7%	12 8.0%	34 23.3%	43 28.7%	26 17.3%	39 26.0%	12 8.0%	13 8.7%
桜井西	227	104 45.8%	39 17.2%	39 17.2%	33 14.5%	51 22.5%	19 8.4%	45 19.8%	69 30.4%	39 17.2%	54 23.8%	10 4.4%	16 7.0%
大三輪	236	101 42.8%	45 19.1%	34 14.4%	35 14.8%	60 25.4%	15 6.4%	45 19.1%	65 27.5%	49 20.8%	43 18.2%	11 4.7%	19 8.1%
その他	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9	3 33.3%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%
合計	1,085	461 42.5%	192 17.7%	192 17.7%	149 13.7%	241 22.2%	79 7.3%	219 20.2%	316 29.1%	196 18.1%	248 22.9%	60 5.5%	83 7.6%

○% 全体と比べて +10%以上

○% 全体と比べて -10%以上

○% 全体と比べて +5%以上10%未満

○% 全体と比べて -5%以上10%未満

2.8 自由意見について

まちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の空欄にご自由にお書きください。

(1) キーワード集計

意見が多かったキーワードとしては、「道路整備」が 57 件、「交通手段」が 56 件、「にぎわい・活性化」が 55 件、「商業」が 52 件となっています。

分類	キーワード	件数
地域経営分野	市民協働	6
	行政事務の効率化	2
	行政サービス	30
	無駄のない行政活動	8
	少子化	6
	その他	46
	小計	98
観光・産業分野	農業・林業	13
	地場産業	9
	商業	52
	観光	28
	働く場	18
	労働環境	5
	小計	125
健康・福祉分野	健康づくり	3
	医療	16
	高齢者生活	19
	子育て	38
	障がい者生活	5
	地域コミュニティ	4
	福祉	13
	小計	98
教育・文化分野	文化財	17
	生涯学習	1
	スポーツ	7
	レクリエーション	6
	図書館	8
	市民会館・ホール・センター	25
	教育全般	12
	小計	76
環境分野	環境意識	12
	リサイクル	1
	公園	22
	自然	18
	小計	52

分類	キーワード	件数	
生活・都市分野	消防	1	
	救急	1	
	交通安全対策	13	
	防犯対策	11	
	空き家・空き地・休耕田	18	
	公共施設跡地活用	3	
	防災対策	24	
	交通手段	56	
	道路整備	57	
	人権	2	
	交流	4	
	にぎわい・活性化	55	
	住環境	33	
	上下水	12	
	景観	14	
	情報発信	27	
		小計	331
	その他		46
	総計	827	

※複数回答

3【参考資料】調査票

総合計画のための 市民アンケートのお願い

市民の皆さんには、日頃より市政にご協力いただき、ありがとうございます。

現在桜井市では、令和8年度よりスタートする第6次桜井市総合計画（後期基本計画）の策定に向けた準備を進めております。

今回、お願いするアンケート調査では、市民の皆さんの市政に対するご意見などをお聞きし、計画づくりに反映してまいりたいと考えております。

なお、対象者につきましては、16歳以上の市民の方々の中から無作為に3,000人を選ばせていただきました。この調査票は無記名でご回答いただくものであり、回答内容は全てを統計処理し、プライバシーの保護に配慮することはもちろん、他の目的に使用することは一切ございません。

この調査は、今後の市政運営のために必要なものですので、ご多忙とは存じますが、調査にご協力くださるよう、重ねてよろしくお願い申し上げます。

令和6年9月

桜井市長 松井 正剛

<ご回答にあたってのお願い>

- ご回答は、ご本人（アンケートのあて名の方）がご記入ください。もし何かの都合で回答できない場合は、家族のどなたが回答いただいてもかまいませんが、その場合は、ご本人の立場でお答えください。
- 回答は、ボールペンまたは濃い鉛筆などではっきりとお書きください。
- 「その他」を選択した場合は、具体的な内容をお書きください。
- ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にお入れいただき、そのまま切手を貼らずに9月23日（月）までに郵便ポストへご投函ください。
- 右の二次元コード・URLから、パソコン・スマートフォンで回答することもできます。その場合は、次ページ右上のIDナンバーを入力してご回答ください。
なお、パソコン・スマートフォンから回答する場合、調査票および返信用封筒の返送は不要です。 https://questant.jp/q/sakurai_shimin_R6
- このアンケートについてのお問い合わせは、以下までお願いいたします。



桜井市役所 市長公室 行政経営課 TEL 0744-42-9111（内線 1261）
FAX 0744-42-2656

I Dナンバー：99999

問1 はじめに、あなた自身のことについてお聞きします。

各設問について、選択肢の中からあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。
 (9月1日現在でお答えください。)

(1) あなたの性別はどちらですか。

①男性	②女性	③その他(※)
-----	-----	---------

※「どちらでもない」、「わからない」を含みます。

(2) あなたの年齢は次のどれですか。

①19歳まで	②20歳代	③30歳代	④40歳代
⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳以上	

(3) お住まいの地区はどこですか(小学校区でお答えください。分からない場合は、お住まいの大字をご記入ください)。

①桜井	②桜井南	③城島	④安倍	⑤朝倉	⑥初瀬	⑦桜井西
⑧大福	⑨三輪	⑩織田	⑪纏向	※大字()		

(4) あなたの主な職業は何ですか。

①勤め人(常勤)	②自営業(農業、商工業、サービス業など)
③自由業(医師、弁護士、芸術家など)	④パート・アルバイト
⑤専業主婦・専業主夫	⑥学生
⑦無職	⑧その他(具体的に)

(5) 桜井市にお住まいになって通算何年になりますか。

①1年未満	②1年～5年未満	③5年～10年未満
④10年～20年未満	⑤20年～30年未満	⑥30年以上

(6) ご家族構成は次のどれですか。

①単身世帯	②一世代世帯(夫婦だけ)	③二世世代世帯(親と子)
④三世世代世帯(親と子と孫)	⑤その他(具体的に)	

(7) あなたはどういうきっかけで桜井市にお住まいになりましたか。最も大きな理由を1つ選んでください。

①桜井市で生まれたため	②就職・転勤のため
③商売関係のため	④住宅を建てた(買った)ため
⑤親・親戚・知人が住んでいるため	⑥こどもの教育のため
⑦結婚や世帯独立のため	⑧通学のため
⑨その他(具体的に)	

問2 あなたの現在お住まいの地域に対する考えをお聞きします。

- (1) あなたが、現在お住まいの地域は、住みやすいところだと感じますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

①大変住みやすい	②まあまあ住みやすい
③どちらかといえば住みにくい	④大変住みにくい

- (2) 「住みやすい」又は「住みにくい」と考える理由（項目）は何ですか。最もお考えに近いものを**3つまで**選んで番号に○をつけてください。

①犯罪・風紀	②騒音・大気汚染などの公害
③道路の整備	④通勤・通学の便
⑤日常の買い物や飲食	⑥教育環境
⑦体育館やグラウンドなどのスポーツ施設	⑧公民館や図書館などの文化施設
⑨保健・医療施設	⑩福祉施設
⑪公園や広場	⑫高齢者、障がい者への対応
⑬身近に親しめる自然	⑭まち並み・景観
⑮近所の人との付き合い	⑯コミュニティ活動など住民の交流
⑰その他（具体的に	）

- (3) あなたは、将来も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

①ずっと住み続けたい
②市内の別の地域に転居したい
③市外に転出してもいずれは戻ってきたい
④将来は市外に転出したい

上記②③④を選ばれた方は、転居・転出の理由を具体的にお答えください。

問3 桜井市のまちのイメージについてお聞きします。

- (1) 現在の桜井市はどのようなイメージですか。あなたのイメージに近いものを次の中から **2つまで**選んで番号に○をつけてください

①有名な神社やお寺のあるまち	②歴史と文化財に囲まれたまち
③山の辺の道があるまち	④川の美しいまち
⑤田園風景の美しいまち	⑥木材産業の盛んなまち
⑦そうめん産業の盛んなまち	⑧農産物の豊かなまち
⑨静かで人情みのあるまち	⑩大阪のベッドタウン
⑪その他（具体的に _____)	

- (2) 桜井市が将来に向けて目指すまちづくりは、どのような方向性がふさわしいと思いますか。あなたのイメージに近いものを次の中から**それぞれ2つまで**選んで番号に○をつけてください。

1) 広域的な視点からみた桜井市の姿

①大阪や京都方面などへ通勤・通学しやすいベッドタウンとして発展するまち
②リニア延伸を見据え、奈良の玄関口として発展するまち
③なら歴史芸術文化村 ^{※1} や世界遺産の取組み ^{※2} と連携した歴史文化資源を活用した観光のまち
④NAFIC ^{※3} を活用した奈良の食と農の魅力を発信していくまち
⑤桜井市保健福祉センター「陽だまり」など健康・子育て・医療・福祉施設が充実しているまち
⑥市外の周辺地域の人々にも利用しやすい買い物や飲食などの施設が充実しているまち
⑦その他（具体的に _____)

※1) なら歴史芸術文化村：歴史・芸術・食と農など奈良県の誇る文化に触れることができる拠点施設として令和3年度に奈良県が天理市に開設

※2) 世界遺産：奈良県では、橿原市、桜井市、明日香村にある20の遺跡について「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」として世界文化遺産の登録を目指しています

※3) NAFIC：平成28年度に奈良県農業大学校を改編し「なら食と農の魅力創造国際大学校」として桜井市に開設

2) 桜井市がめざすべきまちの姿

①都市らしさを感じるまち	②歴史や伝統に支えられた香り高い文化があるまち
③こどもを育てる教育が盛んなまち	④交通環境が整って便利なまち
⑤農林業が盛んなまち	⑥自然が豊かなまち
⑦商工業が盛んなまち	⑧社会福祉が充実しているまち
⑨環境の良い良好な住宅地	⑩犯罪などが少なく治安が良いまち
⑪多くの人を訪れる観光のまち	⑫互いに助け合い人権を尊重するまち
⑬市民が自らまちづくりを行うまち	⑭今のままで良い
⑮その他（具体的に _____)	

問4 桜井市の現状と今後の施策に関するご意見をお聞きします。

- (1) あなたは、次のそれぞれの項目について、現状がどのくらい充足し、今後取組むことがどのくらい重要だとお考えですか。項目ごとの現在の達成度（実現しているかどうか）と今後の重要度について、あなたのお考えに最も近い番号を「1～5」の中からそれぞれ1つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 地域経営について

		現在の達成度					今後の重要度				
		達成している	達成しきらかといえ	ふつう	いあまり達成できて	達成できていない	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要でない	重要ではない
例	(記入例) ○○が△△されている	1	2	3	④	5	1	②	3	4	5
	(記入例) △△が○△している	①	2	3	4	5	1	2	3	④	5
1	市民・事業者・市役所が協力し合ってより良い地域づくりに取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	市民が協力しあいながら、積極的に地域の活動に取り組み、活気のあるまちづくり活動をしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	市民にとって最適な行政経営が行われ、社会情勢の変化や地域課題に柔軟に対応している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	市民は、公平な負担のもとに税金が適切に活用されることにより、必要な行政サービスを受けている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	市民は行政事務の改善と効率化及び適正な職員の対応により、快く行政サービスを受けている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	市民や行政が多様な情報手段を有効に活用し、情報の受発信を積極的に行っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	周辺市町村と連携し、効率的な行政活動が行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

2. 産業について

		現在の達成度					今後の重要度				
		達成している	達成している どちらかといえば	ふつう	い あまり 達成できて いない	達成できていない	重要である	やや重要である	ふつう	い あまり 重要ではな い	重要ではない
8	市民が桜井市の歴史・食・文化を理解し、その魅力を発信することで、来訪者は観光しながら地域との交流を楽しんでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	農林業がいまきと営まれ、新たな魅力（ブランド）が生まれ、職業として選択できる魅力ある農業が実現されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10	地場産業とともに新たな産業が根付き、他の産業とも連携した地域の産業の振興が図られ、人材が確保されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11	人が集まりにぎわい、商店街が活気にあふれている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12	市民が良好な労働環境を得て、安心して働くことができる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3. 健康・福祉について

		現在の達成度					今後の重要度				
		達成している	達成している どちらかといえば	ふつう	い あまり 達成できて いない	達成できていない	重要である	やや重要である	ふつう	い あまり 重要ではな い	重要ではない
13	市民自らが健康に関心を持ち、自己の健康維持に努め、健康で長生きている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14	市民が地域のなかでともに支え合って安心してくらししている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15	障がいを持つ人が安心して、地域でともに生活している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16	誰もが各自の能力を活かしながら、経済的にも精神的にも自立して生活している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17	老後も無理なく社会参加しながら、経済的な不安を感じることなく暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18	高齢者が健康面でも精神面でも安心して暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19	子育てに関する相談や支援が受けられ、安心して子育てが出来る	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20	未就学年齢児が、それぞれのこどもにあった保育・教育が受けられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21	市民が、その人にあった適切な医療を受けられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4. 教育・生涯学習・交流について

		現在の達成度					今後の重要度				
		達成している	達成し ていない かとい えば	ふ つ う	い あ ま り 達 成 で き て	達 成 で き て い な い	重 要 で あ る	や や 重 要 で あ る	ふ つ う	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で は な い
22	子どもたち一人一人が、安心・安全で充実した学校教育が受けられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23	生涯を通して様々な学習機会が用意されており、そこで得た学習成果をまちづくりの活動に活かしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24	市民がスポーツに積極的に参加し、生きがいを持って暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25	青少年が地域のなかでいきいきと学び、活動している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26	文化財等が、適切に保存され、歴史を学ぶ市民の財産として活用されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27	人権を尊重し、一人一人の立場や価値観を認め合って生活している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28	多様な交流が行われ相互理解がなされた中で市民が暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

5. 環境について

		現在の達成度					今後の重要度				
		達成している	達成し ていない かとい えば	ふ つ う	い あ ま り 達 成 で き て	達 成 で き て い な い	重 要 で あ る	や や 重 要 で あ る	ふ つ う	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で は な い
29	市民一人一人に環境を守る意識が浸透している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30	市・市民・事業者・滞在者が協働し、廃棄物やエネルギーなどの資源が無駄なく活用されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

6. 生活・都市について

		現在の達成度					今後の重要度				
		達成している	達成し ていない かとい えば	ふ つ う	い あ ま り 達 成 で き て い な い	達 成 で き て い な い	重 要 で あ る	や や 重 要 で あ る	ふ つ う	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で は な い
31	道路の環境整備が行き届き誰もがどんな状況においても移動に問題がない	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32	公共交通手段の確保により誰もが問題なく市内を移動することができる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33	市民はそれぞれの暮らしに必要な住環境のもと、安心して快適に生活している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34	市民は自分のまちの良さを自覚しており、良好な景観が守られている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35	日常的にみどりとふれあい、屋外で余暇を楽しんでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36	適正な土地利用がなされ、暮らしの環境も自然環境も良好に保たれている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37	いつでも、安全でおいしい水が飲める	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38	水質汚濁が防止され、市民は衛生的な生活を送っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39	市民は、自然災害による影響が少なく快適で安心な環境で暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40	自然及び人為的災害に対する施設や情報、活動体制が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
41	交通事故防止の取り組みが充実し、市民が安全に生活している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
42	犯罪がなく、子どもから大人まで安心して生活できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
43	消防、救急が充実し、市民が安心して暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
44	大都市圏から「U・I・J ターン」など移住・定住してきている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
45	中心市街地と地域拠点が相互に補完しあうコンパクトな都市が形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
46	中山間地域で誰もが安心・安全に暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
47	空き家の利活用が進み、移住してきた方の受け皿となっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問5 これからのまちづくりについてお聞きします。

- (1) 桜井市では、「行財政改革アクションプラン」に基づき、今後も安定した行財政運営を行っていくために、経営資源（人・物・金・情報）の有効な活用などの取組みを進めています。今後の行財政改革について、優先的に取組むべき項目のうちあなたの考えに最も近いものを**2つまで**選び、番号に○をつけてください。

①市民・企業と協働したまちづくり	②民間活力の活用
③受益者負担（手数料や使用料など）の適正化	④企業誘致や企業の進出支援
⑤補助金の見直し	⑥職員の人数や給与などの適正化
⑦その他（具体的に)	

- (2) あなたは今後どのようなまちづくりの取組みに参加したいと思いますか。あなたが参加してみたいと思う活動分野を以下の中から**3つまで**選び○をつけてください。

①高齢者、障がい者、困窮者のための福祉活動
②子育ての支援活動
③こどものための教育活動
④環境保護活動
⑤地域の安全活動（防災・防犯）
⑥道路などの清掃活動や公園づくりなど、施設の整備や管理
⑦既存公共施設を活かした生涯学習や市民交流を支援する活動
⑧観光客の増大に資する交流イベントを支援する活動
⑨行政計画策定のための委員会等の検討活動
⑩まちの魅力を伝える情報発信活動
⑪その他（具体的に)

- (3) 産業振興や雇用の確保、市域の活性化について、あなたが最も重要と考えるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

①郊外を中心にまとまりのある工業団地をつくり、新規事業者を誘致する
②市内の様々な伝統的技術を活かし、新たな需要を生み出す産業を育てる
③市内の事業者が、観光などのテーマのもとに連携して産業開発を推進する
④産業の推進よりも、良好な居住環境の充実に力を入れるべき
⑤今のままでよい
⑥その他（具体的に)

- (4) 桜井市の景観を良くし、守っていくためには、今後どのような取組みが必要だと思われますか。あなたのイメージに最も近いものを**2つまで**選んで、番号に○をつけてください。

- | |
|--|
| ①歴史的なまち並みの保全や再生に力を入れる |
| ②自然景観の保全に力を入れる |
| ③建物や広告看板の色やデザインの規制に力を入れる |
| ④まちなかや主要道路沿いの花を活かした緑化など、各地域の美化に力を入れる |
| ⑤市民が地域の景観価値を理解するために、歴史や文化も含めた勉強会にまず力を入れる |
| ⑥今のままでよい |
| ⑦その他（具体的に _____) |

問6 第6次桜井市総合計画に基づく取組みについてお聞きします。

- (1) 令和3年4月に策定された「第6次桜井市総合計画」の内容についてご存じですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| ①「計画書」を（多少）読んだことがある |
| ②「概要版」を（多少）読んだことがある |
| ③ 計画の存在は知っているが見たことはない |
| ④ 計画があることを知らなかった |

- (2) 同計画では、重点的に取組む事業を「戦略的プロジェクト（※）」として位置づけていますが、その内容についてご存じですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

※「戦略的プロジェクト」として、「魅力的な働く場を創出する」「地域資源を活用し来訪を促進する」「子育て世代に選ばれるまちづくり」「誰もが安心して快適に暮らせるコンパクトなまちづくり」の4つを位置付けています。

- | |
|-----------------------------|
| ①計画書や概要版で（多少）内容を読んだことがある |
| ②戦略的プロジェクトの存在は知っているが内容は知らない |
| ③戦略的プロジェクトの存在を知らなかった |

問7 情報の伝達手段や利活用についてお聞きします。

- (1) 地震など災害時に緊急情報を得るのに利用、または期待する手段は何ですか。該当するものを**3つまで**選んで○をつけてください。

①新聞	②テレビ
③ラジオ	④パソコン（インターネット）
⑤携帯電話・スマートフォン	⑥固定電話（公衆電話含む）
⑦桜井市安全・安心システム（携帯メール）	⑧市の SNS からの情報
⑨市の広報車	⑩地域の連絡網
⑪その他（具体的に _____)	

- (2) 桜井市に関する情報を得るのに、あなたがよく利用する手段は何ですか。該当するものを**3つまで**選んで○をつけてください。

①市の広報紙	②市ホームページ	③市議会だより
④県政だより	⑤公共施設の掲示物	⑥回覧板
⑦パンフレット（刊行物）	⑧市の SNS からの情報	⑨新聞
⑩テレビ	⑪ラジオ	⑫知人・友人から
⑬その他（具体的に _____)		

- (3) 各種行政情報の利活用（デジタル化の取組み）について、今後どのような取組みを強化していくべきと思われますか。あなたのイメージに最も近いものを**3つ以内**で選んで、番号に○をつけてください。

①行政手続き（申請・届出等）のオンライン化	②電子マネー等による公共料金の支払い
③インターネットによる公共施設の予約	④市が所有するデータの有効利用の促進
⑤証明書や給付金等の電子化	⑥オンラインによる相談・講習等のサービス
⑦SNS 等を活用した暮らしに役立つ情報の発信	⑧防災拠点等での Wi-Fi 環境の整備
⑨スマホ等の活用を支援する講習会の実施	⑩行政システムのセキュリティ対策の徹底
⑪その他（具体的に _____)	

